

令和元年度 東京都 **スポーツ推進企業取組事例集**

SPORTS PROMOTION COMPANY



問合せ先: 東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課
 〒163-8001 新宿区西新宿二丁目8番1号
 TEL 03-5320-7723

はじめに

東京都は平成30(2018)年3月に「東京都スポーツ推進総合計画」を策定し、その中で「スポーツの力で東京の未来を創る」という基本理念のもと、2020年までに都民のスポーツ実施率*70%を達成し、誰もがいつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツ都市東京」の実現を掲げています。
*週1回以上スポーツを実施する18歳以上の人の割合

平成30(2018)年度に東京都が実施した世論調査では、都民のスポーツ実施率は全体で57.2%ですが、20歳代から40歳代までの「働き盛り世代」を平均すると、直近10年においても連続で50%に満たない状況にあります。

スポーツ・運動を実施した頻度が週1回に満たなかった理由として、仕事や家事・育児により時間がないことを挙げる人が多く、この世代が1日の大半の時間を過ごす企業での取組が重要です。

また、いよいよ今年開催する東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、企業のスポーツに対する関心がますます高まり、スポーツを推進する担い手としての存在感が増す中、企業と連携し、スポーツの裾野を拡大していくことが重要です。

そこで、東京都では、スポーツに対する社内外への積極的な取組をしている企業を都が認定し、取組事例集としてとりまとめ広く都民に周知することで、働き盛り世代のスポーツ活動を推進する「東京都スポーツ推進企業認定制度」を平成27年度に創設いたしました。

特に、社会的な影響や波及効果の大きい取組をしている「東京都スポーツ推進モデル企業」の選定に当たっては、社員が行うスポーツ活動の支援や促進に向けた取組を実施している「スポーツの実践」部門、アスリートの雇用や社有スポーツ施設の地域開放などスポーツを支援している「スポーツの支援」部門の2つの部門に分け、企業の取組をより明確に示しております。

本事例集では、令和元(2019)年度に認定した東京都スポーツ推進企業374社の取組事例を紹介しております。令和元(2019)年12月に発表した『「未来の東京」戦略ビジョン』には、「スポーツフィールド東京戦略」の政策目標の一つとして「2030年までにスポーツ活動を推進する企業を1,000社に」と掲げました。是非、本事例集に掲載の取組を参考に、より多くの企業においてスポーツの実践・支援に取組んでいただければと思います。

令和2(2020)年3月

東京都オリンピック・パラリンピック準備局

東京都のスポーツをめぐる現状

目次

東京都のスポーツをめぐる現状	3
令和元年度東京都スポーツ推進企業認定制度の概要	5
令和元年度東京都スポーツ推進モデル企業取組事例	
○殿堂入り:支援	
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	6
○実践(50音順)	
①株式会社朝日新聞社	8
②株式会社サニーサイドアップ	10
③株式会社THINKフィットネス	12
④フリービット株式会社	14
⑤一般財団法人 明治安田健康開発財団	16
⑥株式会社ライフイ	18
○支援(50音順)	
①NTTクラリティ株式会社	20
②中外製薬株式会社	22
③野村不動産ライフ&スポーツ株式会社	24
④明治安田生命保険相互会社	26
令和元年度東京都スポーツ推進企業取組事例(50音順)	28
令和元年度東京都スポーツ推進企業一覧(50音順)	120
令和元年度東京都スポーツ推進モデル企業選定委員会	122

東京都の目標

2020年までに、都民のスポーツ実施率(週1回以上スポーツを実施する18歳以上の人の割合)70%を達成し、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しみ、スポーツの力で人と都市が活性化する「スポーツ都市東京」を実現します。

ここでいうスポーツとは

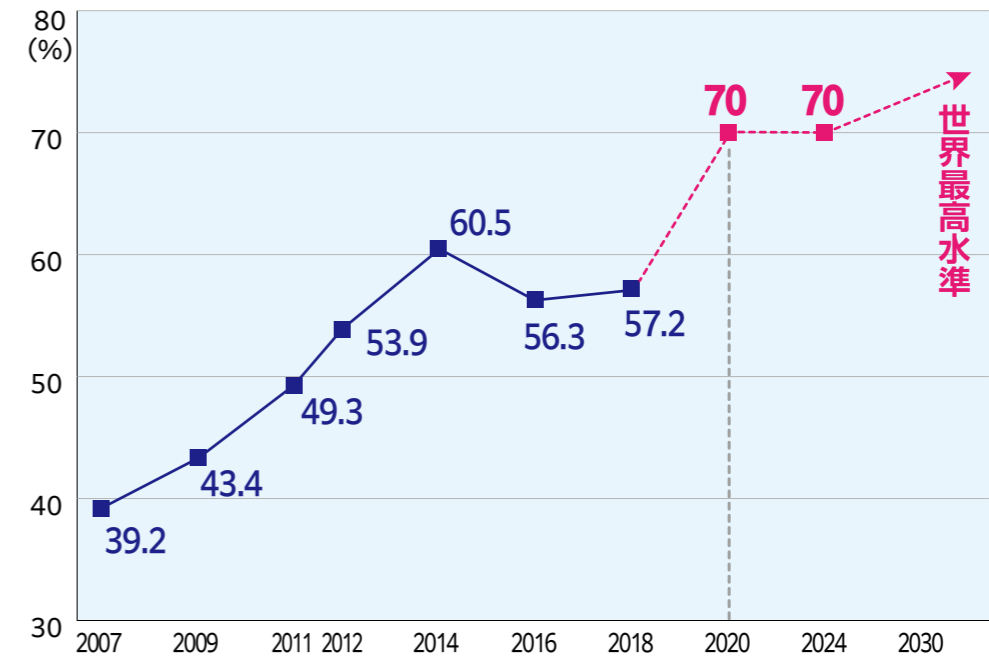
ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツだけではなく、健康や遊び、楽しみを目的とした身体活動まで幅広く含むものとして捉えています。

スポーツをより身近なものとし、これまでスポーツに縁のなかった方にも気軽に楽しんでいただくため、スポーツの概念を幅広く捉えています。

スポーツ実施率に関する現状分析

東京都におけるスポーツ実施率の推移と目標値

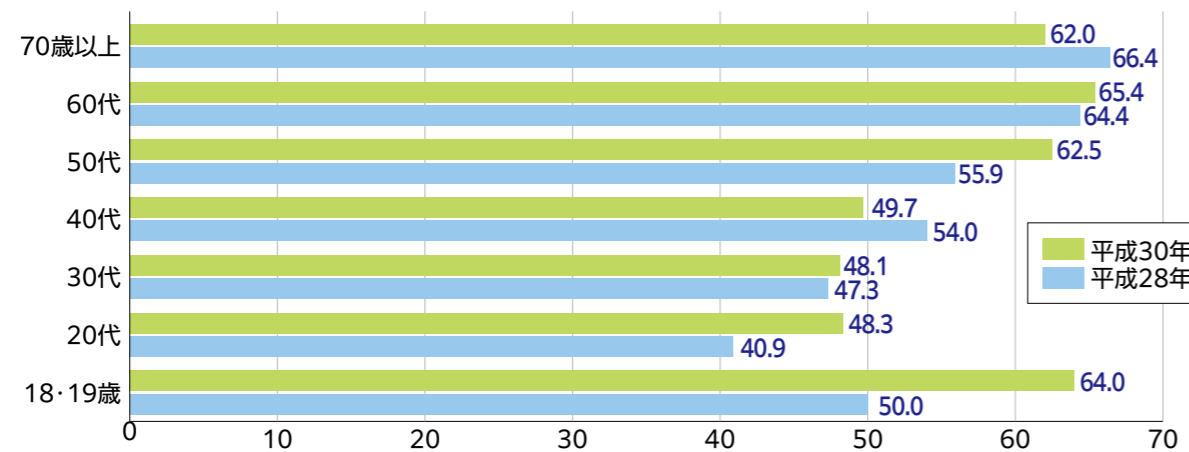
『「未来の東京」戦略ビジョン』2020年の目標はスポーツ実施率70%達成であり、2030年には世界最高水準を目指します。平成30(2018)年度調査では57.2%となっています。



出展:「未来の東京」戦略ビジョン

年代別スポーツ実施率(平成30(2018)年度)

20代～40代のスポーツ実施率は全体平均57.2%を下回り、40%台にとどまっている。



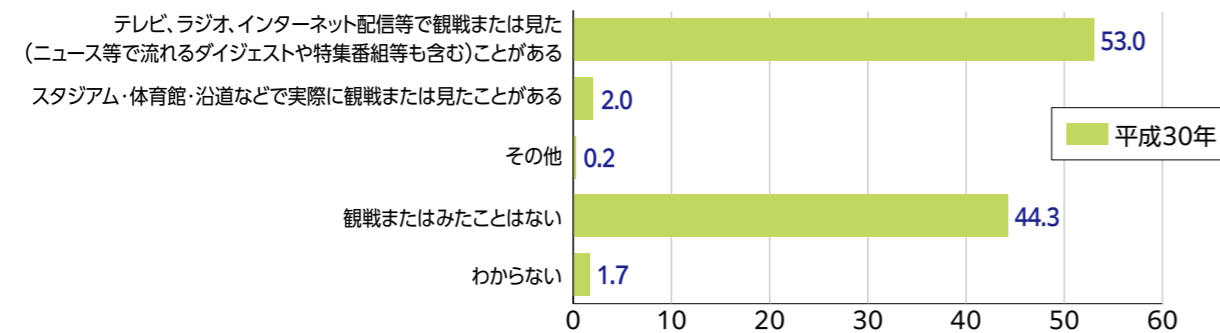
スポーツ・運動を実施した頻度が週1回に満たなかった理由(平成30(2018)年度)

20代～40代に多かった理由は、「仕事や家事・育児が忙しくて時間がないから」、「機会がないから」、「好きでないから」など

近年全体よりも低いままだった20～40歳代(「働き盛り世代」)のスポーツ実施率を向上させるため、1日の大半の時間を過ごす企業に対するアプローチとして、平成27年度に「東京都スポーツ推進企業認定制度」を創設し、企業の取組を広く周知することで、普及を図っている。

障害者スポーツについて

障害者スポーツの観戦(平成30年度)



「スタジアム・体育館・浴道などで実際に観戦または見たことがある」人の割合は依然として低い

企業・団体の障害者スポーツ支援を促進する取組を企画・実施すること等により、企業への障害者スポーツ観戦の流れを作っていく。

事業概要

「東京都スポーツ推進企業認定制度」の目的

企業のスポーツに対する社内外への積極的な取組を認定し、広く都民に周知することで、働き盛り世代のスポーツ活動を推進するとともに、スポーツに対する社会的気運の醸成を図る。

「東京都スポーツ推進企業」とは

社員のスポーツ活動を推進する取組や、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等のうち東京都が認定したもの

認定された企業には

- 認定証・認定マークの交付
- 都ホームページ等において社名等の公表
- マスメディア等に積極的に取組内容の情報提供 等

「東京都スポーツ推進モデル企業」とは

認定した企業のうち、特に社会的な影響や波及効果の大きい取組をしている企業等(学識経験者を含む選定委員会を経て、東京都が決定)

選定された企業には

- 表彰
- 都ホームページや都スポーツイベントで取組内容の公表 等

「東京都スポーツ推進殿堂入り企業」とは

累計5回「東京都スポーツ推進モデル企業」に選定された企業等

募集対象

都内に本社、事業所を置く企業、社団法人、財団法人、NPO法人等

認定期間

1年間(更新可)

スケジュール(令和元(2019)年度)

令和元年 7月22日～10月21日	東京都スポーツ推進企業募集
11月	東京都スポーツ推進企業認定
令和2年 1月	東京都スポーツ推進モデル企業候補選定
3月	東京都スポーツ推進モデル企業決定
	東京都スポーツ推進モデル企業表彰式(中止)

令和元年度東京都スポーツ推進企業認定数	374社
令和元年度東京都スポーツ推進モデル企業数	うち11社
東京都スポーツ推進殿堂入り企業数	うち1社

関連ホームページ

スポーツTOKYOインフォメーション「東京都スポーツ推進企業認定制度ホームページ」
<https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/company/>



MS&AD あいおいニッセイ同和損保

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社



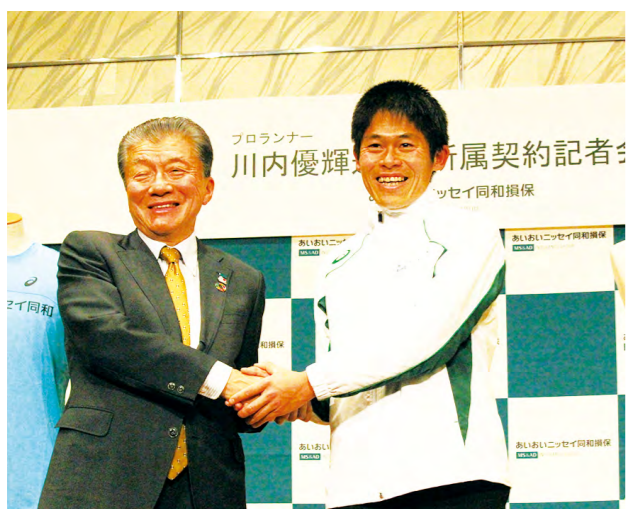
AD Challenge Support

川内優輝選手と所属契約! 「マラソンキャラバン」を全国展開!

2019年4月1日、プロランナー川内優輝選手と所属契約を締結した。

オンリーワンのプロランナーを目指す川内選手の競技活動をサポートするとともに、地域活性化を目指して「川内優輝選手×あいおいニッセイ同和損保 マラソンキャラバン」を全国開催。

「マラソンキャラバン」では、キャラバンテントでのサイン・握手会、当社社員による大会ボランティア、講演会やランニング教室等、様々なコンテンツを行った。



今年度は、「川内の郷かえるマラソン」(福島県)を皮切りに、日本最北端「わからない平和マラソン」(北海道)から日本最西端「与那国島一周マラソン」(沖縄県)など全国12カ所で開催した。

川内選手とともに、地域の社員が大会ボランティアやキャラバンスタッフとして、またはランナーとして参加し大会をサポートしている。

「マラソンキャラバン」の取組は、マラソンを通じた地域貢献活動につながっている。



東京都教員研修にて「障がい者スポーツカリキュラム」を実施

2019年8月、「東京都教職員研修」が当社本社で実施され、教員13名の皆さまに向けて、障害者スポーツに関する講演2つと体験研修のカリキュラムを実施した。その後、参加された東久留米市の中学校より、生徒にも障害者スポーツの魅力を伝えたいとの要請を受け、同校にてポッチャ体験授業を行った。



海外現地法人によるパラスポーツ大会の応援!

当社のスポーツ振興の取組の柱は、社員一丸となつての応援活動である。年間20大会超の応援活動を行っているが、今年度は、その活動を海外にも広げた。当社所属選手が出場した「パラ水泳世界選手権」(イギリス・ロンドン)、「車いすバスケットボールアジア・オセアニアチャンピオンシップ」(タイ・パタヤ)に現地法人の駐在員・ローカル社員が応援に駆け付けた。



東京都小中学校での パラスポーツ体験授業

スポーツを通じて「心のバリアフリー」「共生社会」の理解を深める教育支援のため、「あいおいニッセイ同和損保 presents チャレンジプログラム」として、東京都をはじめ全国の小中学校で、当社所属アスリートによる講演やパラスポーツの体験授業を行っている。



東京都スポーツ推進大使
ゆりーと

STAFF'S VOICE

制度創設以来、5年連続でモデル企業に認定いただき、殿堂入りとなったこと、至極光栄でございます。2014年にスポーツチームが組成され、従来スポーツの文化がない当社にあって、全社員の理解と熱い気持ち、そして所属アスリートの活躍を通じて活動をコツコツと積み上げてきました。

モデル企業の認定が契機となり、今年度、小樽市の中学校の生徒さんが修学旅行中に当社を訪ねていただきパラアスリートとの交流会を実施いたしました。このような一つひとつの小さな取組こそ、2020年以降も続けられるレガシーと考え、モデル企業としての誇りをもって今後も肅々と活動を続けてまいります。



左から、経営企画部 水野真紀社員、倉田秀道次長

企業DATA

所在地 渋谷区

業種 保険業

総従業員数 約16,740名

朝日新聞

株式会社朝日新聞社



運動不足の解消や健康増進のために 様々な運動メニューを実施

築地にある東京本社では、平日の昼間に一日平均15職場を専任のインストラクターが巡回し、ストレッチングと筋力トレーニングを組み合わせた10分程のオリジナル職場体操を実施している。体操後は椅子に腰かけて目の疲れをとる「目の体操」も実施。ほぼ全ての職場で週に1回ないし2回のペースで職場体操を実施し、長時間の座業や、PCを見続けることによる疲労の回復やリフレッシュに役立てている。

また、オフィスをリニューアルする際などには、スタンディングデスクや昇降式デスクを設置するようにしている。



スマホアプリ「aruku&(あるくと)」を使用したウォーキングプログラム「スマホアプリでウォーキングLIFE!」を年に2回実施している。



60日間で42万歩以上(1日平均7,000歩以上)歩いた参加者には、朝日新聞健康保険組合が「達成賞」を贈呈している。また、社内の階段利用を促進するために、廊下や階段に巨大シールを貼り、運動を奨励している。



フィットネスルームで リフレッシュ

東京本社にはトレーニングマシンや各種の運動器具を備えたフィットネスルームを設けている。

いつでも自由に利用できるスペースで、気軽に運動ができる。インストラクターの個別指導も受けられ、館内には更衣室やお風呂もある。



フィットネスルームや会議室でレッスン

インストラクターによる、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、青竹踏み等のクラスレッスンを実施している。

また、合気道、剣道、筋トレなどの体育系の社内クラブに、場所や設備を提供している。

年に一度、 社内でフィットネスフェアを開催

体力年齢が分かる体力測定、椅子に座って行う10分間ストレッチ、フィットネスルーム体験会、インボディ測定会、ボールエクササイズ、ピラティスのレッスンなどなど、健康増進を意識させる盛りだくさんのイベントをフィットネスルームで開催している。



東京都スポーツ推進大使
ゆりーと

STAFF'S VOICE

「質の高い情報やサービスなど、お客様からの期待に応える多様な商品の提供は、従業員の健康が大前提」とする朝日新聞社健康経営宣言に基づき、特に生活習慣病対策として日々の適度な運動習慣の大切さに注目し、様々な取組を実施しています。

今回のモデル企業選定を機に、朝日新聞健康保険組合とコラボしながら、一層従業員のスポーツ推進と健康増進に積極的に取り組んでいきます。

企業DATA

所在地 中央区

業種 情報通信業

総従業員数 約5,300名



株式会社サニーサイドアップ



「幸せは歩いてこない」制度

独自の福利厚生「32の制度」内に「幸せは歩いてこない」制度を制定。これは、毎月の月間平均歩数が「10,000歩」を超えたメンバーに対して、月間健康奨励金「3,200円」を支給するもの。身体への負担の少ない「有酸素運動」であるウォーキングの習慣化により健康的な毎日を過ごすことを目的としている。

歩数のカウント方法は、スマートフォンに内蔵されているヘルスケアアプリにて行っている。また、毎月行う全社朝礼で、「10,000歩」を超えたメンバーを発表している。

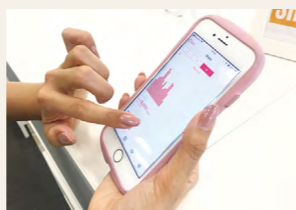


メンバーが健康であることが、創造性や生産性の向上に繋がり、当社が掲げている「たのしいさわぎをおこしたい」というスローガンの原動力となるという思いのもとで活動を進めている。

中田英寿や前園真聖といったアスリートのマネジメント、国内外の大規模なスポーツイベントの開催など、「スポーツ」とともに成長してきた当社らしく、運動習慣を通じた心身の健康増進を経営課題のひとつとして捉えている。



「幸せは歩いてこない」制度は、2015年から実施。2015年当時はメンバーの月間歩数は「7,104歩」だったが、2019年時は「8,837歩」まで伸びている。全メンバーの約1割にあたる約20名程度が、「10,000歩」を超えるメンバーとして毎月表彰されている。



「クラブ活動支援」制度

メンバー同士のコミュニケーションを深めることで、業務においてさらに高いパフォーマンスを出すことを目的として、社内公認クラブ活動に対し、費用の一部を部費として補助。

現在公認クラブとして、フットサル部、バスケットボール部、野球部、ゴルフ部、東京ランナーズ(ランニング)部、テニス部などが活動中。



「目指せ! A 身体」制度

日頃からの運動習慣によって自身の健康の保持・増進を行い、定期健康診断の「総合判定」でA判定を取得すると、健康報奨金として「32,000円」を支給している。

日頃からの運動習慣によって自身の健康の保持・増進を行うことを目的としている。



スポーツイベントへの参加推奨

各種スポーツイベントへの参加を推奨。毎月の最終金曜日の「プレミアムフライデー」にトレーナーを呼び、社内でのフィットネスレッスンの開催を行うなど、メンバーの「スポーツをする機会」を創出している。



東京都スポーツ推進大使 ゆりーと

STAFF'S VOICE

サニーサイドアップには自分らしく、一生懸命楽しく働くため独自の福利厚生「32の制度」があります。充実した福利厚生はもちろん、サニーサイドアップならではの楽しさ溢れるものや、メンバー自らが考案したものも。

今回ご紹介させていただいた制度も、「たのしいさわぎをおこしたい」という思いから生まれたものです。楽しみながらスポーツに親しんでいけるよう、これからも活動を進めていきたいと思っています!

企業DATA

所在地 渋谷区

業種 サービス業

総従業員数 約180名



株式会社 THINK フィットネス



継続的なスポーツ実施のために、働きながら競技を続ける「ビジネスアスリート」を応援!

2006年創部した野球部をはじめ、女子野球部、男女バスケットボールクラブ、陸上競技部、バーベル部は、株式会社THINKフィットネス社員及びゴールドジムメンバーを中心に活動している。当社として、働きながら競技を続けられる環境を提供し、また、社員には業務時間中の自社チームの試合観戦を推奨、試合結果を社内報に掲載するなど、全社あげて支援している。各クラブチームは、試合結果や練習風景など日々の活動をSNSなどで社外のファンへの発信も行っている。

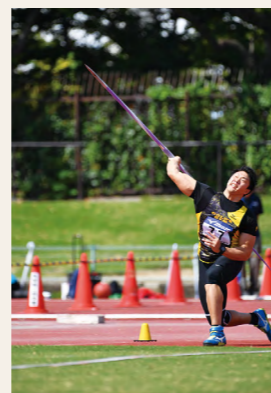


野球部は、2017年にクラブ選手権全国大会ベスト4、そして、昨年は同全国大会に2年ぶり



4回目の出場を果たした。バーベルクラブは、ボディビル大会やパワーリフティング大会において、世界チャンピオン、日本チャンピオンを多数輩出している。

陸上部は、昨年度の日本選手権で男子三段跳び3位、男子円盤投げ4位の好成績を取めた。男女バスケ部は、日本社会人リーグという新たなリーグ編成となり、更なる飛躍のために練習に励んでいる。



親睦のためだけじゃない本気の陸上競技会!

「フィットネスを提供するものは自らがトレーニングをして結果を出していかなければならない」という考えのもと、日頃のトレーニングの成果を披露する場として、年に1度、陸上競技部が主体となって社内陸上競技会を開催。スタッフ自身のトレーニングのモチベーションをアップさせることを目的としている。短・中距離走・リレー等のトラック競技、砲丸投げ、走り幅跳びなど「真剣にフィットネス」を実施している。



ゴールドジムスタッフ、メンバーが「TEAMゴールドジム」として襷を繋ぐ

毎年、FIA全国スポーツクラブ駅伝に「TEAMゴールドジム」として参加。館内ポスター、HP、SNSを通じて参加者を募集。社員は、勤務扱いとなり、交通費、参加費は会社が負担。ゴールドジムスタッフ、メンバー総勢25チーム、約200名がゴールドジムオリジナルティシャツを着用し、襷を繋いだ。



さまざまな支援活動

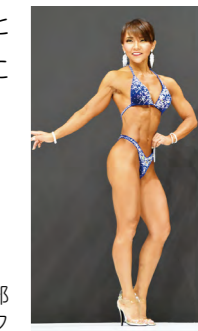
オリパラ教育の一環として、ボディビル世界チャンピオンで、ゴールドジムの鈴木雅アドバンストレーナーが地元中学生に講演と実技指導を実施した。野球部は、地元の園児をゴールドジムに招いて、ティーボール教室を定期的開催。初めてバットやボールを触る子供たちに野球の楽しさを教えている。チャリティイベント「ゴールドジムスクール発表会」を年2回開催。発表会の収益金は、全額骨髄バンクや東日本大震災、熊本地震の復興支援としてあしなが育英会へ寄付している。



東京都スポーツ推進大使
ゆりーと

STAFF'S VOICE

あるフロント社員の「この会社じゃなかったらバスケを続けていなかった」という言葉に、競技選手でもある私も、大いに同意し、こみ上げてくるものがありました。わが社の競技を続けられる環境に心から感謝し、私たちは一人でも多くのビジネスマンがご自身のペースで運動を続けられるように、場所と情報と商品を提供し、社会に貢献してまいります。



管理本部
弥陀ミチルスタッフ

企業DATA 所在地 江東区 業種 生活関連サービス業 総従業員数 約1,240名



フリービット株式会社



フィットネス要素を取り入れた「プラクティス会議室」の設置

ITエンジニアが多く勤める当社では、長時間の座位姿勢が健康に与える影響と、従業員の多くが就業時間を座位姿勢で過ごすことに注目し、座った状態で軽い運動ができる環境を取り入れるための施策として、バランスボール、ハンモック型フットレスト及びペダルエクササイズを導入しフィットネス要素を取り入れた「プラクティス会議室」を設置。

手を使わないで行える運動のため、業務を中断することなく運動を取り入れることが可能となり、勤務中に血行の促進や気分のリフレッシュ、エコノミー症候群の予防などができる。また、プラクティス会議室では、足を動かすことで得られるメリットを書いた資料の掲示を行っている。



また、椅子をバランスボールに置き換えてミーティングをするスペースを設置。座ったまま運動ができる取組として導入され、プラクティス会議室の前身となった。座りながらバランスを取ることでインナーマッスルが鍛えられるだけでなく、体の歪み矯正や血行促進による肩こりの改善などにつながる。

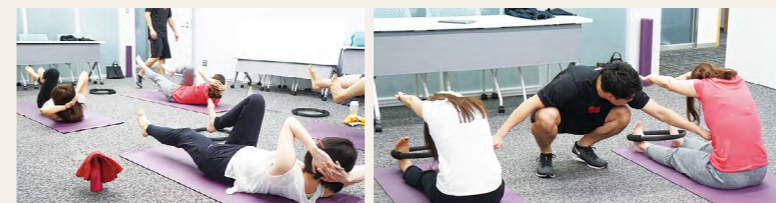


プラクティス会議室
血行改善で集中力UP!! & リフレッシュ!
※靴を脱いでご利用ください※



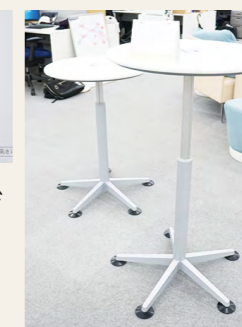
社内会議室でヨガ、ピラティスの出張教室

法人契約をしているスポーツジムの格安で利用できるよう費用補助を実施している。ジムを利用している社員は週1回、社内の会議室で開催されるヨガまたはピラティスの出張クラスに参加することが可能。ヨガやピラティスは体幹を鍛えることで姿勢の改善や身体のパフォーマンスを向上させる効果があり「朝活」として利用されている。



スタンディングミーティングスペースの設置

長時間の座位姿勢が健康に与える影響に着目し、一部のミーティングテーブルをハイテーブルに換えスタンディングミーティング専用のテーブルとして設置。営業担当やエンジニアが多く勤務するスペースに設置されており、短時間の会議などに活用されている。



スニーカー通勤の推奨

スポーツ庁のスニーカー通勤推奨を受け、社内掲示などを行いスニーカーでの通勤を推奨している。多くの従業員がスニーカーで通勤、勤務している。



東京都スポーツ推進大使
ゆりーと

STAFF'S VOICE

フリービットは従業員の健康維持・増進に向けて、社内にながら運動ができる環境づくりや健康促進のための費用補助制度など様々な取組を行っております。日常に運動を取り入れ、社員の健康意識を高めることは、健康面だけでなくコミュニケーションの活性化へと繋がっています。今回モデル企業に選定いただいた事を後押しとして、今後も従業員の健康増進に関する取組を積極的に行ってまいります。

企業DATA

所在地 渋谷区

業種 情報通信業

総従業員数 約240名

明治安田健康開発財団

一般財団法人 明治安田健康開発財団



朝礼を活用すれば、無理なく続く「サイコロでPON!」

「Promotion Of Number」(歩数アップ等)をテーマに「〇〇でPON!」と命名した健康活動を各部署で展開している。その一つである「サイコロでPON!」は、サイコロの目毎に設定した6種類のエクササイズを、その日に出た目に応じて実施する。エクササイズをリードする職員は日替わりで、回数やスピードをアレンジしながらマンネリ化を防止している。朝礼で実施することは、改めて時間をとることなく、毎日実施できるという点で継続性にもつながった。さらに、実施回数が目標値に達成した際は、共有スペースに設置したポスターにシールを貼りながら全職員で一つの絵を創りあげることで、達成感を共有できる工夫もしている。運動習慣の定着は、個々の取組では難しいが、朝礼時に職場全体で取組むことでエキキキとしたスタートをきることができている。



「サイコロでPON!」のエクササイズは、当財団内の各部署で実施している。定期的に職員が部署をまわって参加することで、常に一体感を感じることができ工夫もしている。



他にも、特別な準備を必要としない身体活動量のアップを目指し「ウォーキング」を促進している。単純なウォーキングではなく、「楽しみながら歩けるコツ」を職員より募集し、ポスター化による共有を試みた。



“カラダ”と“心”両方のUPを目指して「おとなの遠足」を開催

近隣の公園にてウォークラリーを実施した。各ポイントにいる健康クイズポスターを持った職員を目指して徒歩での探索を目的とした。クイズに正解または、不正解でもその場で運動すればもらえるシールを集めてゴール地点を目指す。ランチタイムの枠を広げた取組で、ウォーキングの楽しみを体感できた。



歩くついでに、毎日通う“新宿”を知ろう「何歩でPON!」



利用者数世界No.1といわれる新宿駅周辺からオフィスまでの通勤歩数を職員各自がカウントし、地図に記しながら「たくさん歩けるルート」を共有していく。通勤路だけでなく、おすすめの寄り道ポイントなども随時追加されており、「実体験→見える化→新たな体験」につながるバージョンアップを重ねている。

〇〇しながらを推奨 当財団のオリジナル「マッスルチャンス!」

日常生活の動きの中には、意識して筋肉を使うチャンスが隠れている点に着目した「マッスルチャンス」。例えば、印刷待ちの時間でのかかとの上げ下げや、歯磨きをしながらのスクワットなど。日々の生活の中から「マッスルチャンス」を見つけて実践する活動の普及を目指している。



東京都スポーツ推進大使 ゆりーと

STAFF'S VOICE

「筋肉は世界を救う」健康を支援することを使命としている私達の合言葉です。とはいえ、筋肉のために時間やお金を割くことが難しいのが現状ではないでしょうか。

私たちは、そんな制約を軽減し、かつ、楽しくできることに主眼を置いた「日常生活の中に潜んでいる“〇〇チャンス”」を実践する取組に挑戦中です。

スポーツの語源「deportare(気晴らし、楽しむ)」に倣って“楽しく”をモットーに、これからも進めます!

健康増進支援センター 中村有里 健康運動指導士





株式会社ライフィ



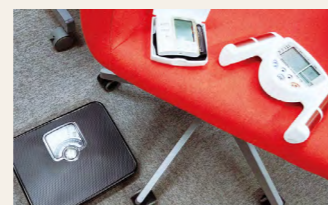
1日2回、全員でラジオ体操 & ストレッチを実施

毎朝9:55にラジオ体操を実施。1日の始まりに身体を動かすことで頭もすっきり。仕事への集中力を高めている。スポーツへの



取組を始めた当初はラジオ体操第1をしていたが、慣れてくると「もっと身体に効く体操にしたい!」との声があがり、より運動強度の高いラジオ体操第2に変更して継続中。

毎日15時にはストレッチタイムを実施。オフィススペースにクラシック音楽を流し、出勤者全員が思い思いに身体を伸ばす。業務がデスクワーク中心で就業時間中に身体を動かすことが少ないため、肩こりや腰痛防止の効果を期待している。より効果的に行うため、協会けんぽからの出張講座で「椅子ヨガ」を全員で受講。



社内には体重計と体組成計を設置。いつでも好きなときに身体の変化を確認できるようにしている。定期的にチェックするために、計測したらカレンダーにチェックを入れて計測回数をカウント。



部署ごとに行う短時間のミーティングはスタンディングで実施。

少しでも身体を動かす機会を増やすことに加えて、簡潔に連絡や相談をして、会議時間短縮の効果にもつながっている。

全従業員にウェアラブル活動量計を配布。社内で歩数競争を実施

運動への取組スタートと同時に、全従業員にウェアラブル活動量計を配布。従業員は主体的に装着して歩数を毎日計測し、1か月の合計歩数を毎月実施する全社会議で発表。装着している端末では、目標歩数を達成するとお祝いメッセージが表示されることもあり、生活の合間にいつもより少し多く歩く習慣が定着した。



歩数の多いチームを表彰 もっと健康になれる賞品・手当を授与

性別や部署ごとにチームを組み、メンバーの歩数も集計。3か月ごとにチーム対抗戦を行い、優勝チームには賞品や手当を授与。健康グッズや、メンバー同士で社外に出てランチを食べに行ける手当を賞品とすることで、さらに歩いて健康になるしくみ。社内では従業員同士で声を掛け合いながら歩くシーンが見られるように。



運動による消費カロリー&食事のカロリー表のポスター

社内の休憩スペースには、運動による消費カロリーや、食事で摂取するカロリー量をイラストにした表(協会けんぽ東京支部提供)を掲示。昼休みに食事を食べながらポスターを眺めて、健康や運動へのリテラシーを高めたり、従業員同士のコミュニケーションのきっかけに一役買っている。



東京都スポーツ推進大使 ゆりーと

STAFF'S VOICE

自分たちが主体となりこのような取組を始めた結果、社員全員の健康や運動に関する意識が高まったことを強く感じました。ウェアラブル活動量計では常に自分の歩数が表示されるため「あと少しで目標歩数だから」と目的地まで遠回りして歩いた等という話も社内でも良く耳にします。また、改めてラジオ体操をする習慣がついて頭がスッキリしたという意見も。

今後も、社員全員で運動に対する意識をより高めていきたいと思っています。



企業DATA

所在地 港区

業種 保険業

総従業員数 約20名

NTTクラリティ

NTTクラリティ株式会社



障害のあるアスリート社員の競技と業務の両立を支援

障害のある社員のうち、日本の代表選手(コーチを含む)等として活躍する社員を2017年度より『シンボルアスリート』として認定。現在は、ブラインドサッカー、ブラインドマラソン、CPサッカーにおいて活躍している3名の社員を認定している。



アスリート雇用を行っていない当社では、『シンボルアスリート』も他の社員同様に正社員として通常業務を定時まで遂行しながら練習や大会に参加している。そこでシンボルアスリートの支援に関する規程を制定し、主な内容として、大会や代表練習、合宿等の練習日を勤務扱いとするほか、大会等に係る諸費用の負担、シューズ等の用具・トレーナー費用・治療費の負担、スポーツ保険への加入等、安心して競技と業務の両立ができるような環境を整えている。

『シンボルアスリート』が出場するブラインドサッカーやブラインドマラソンの大会には、社内で(大会によってはグループ会社の社員も含め)観戦・応援者を募り、社員一体となって応援を行っている。



『シンボルアスリート』の体への負担を減らし、より良いパフォーマンスが発揮できるよう、オーダーメイドで発注したシューズ等の用具については、会社が費用負担している。



パラスポーツ体験授業の実施

当社近隣の学校に『シンボルアスリート』を派遣し、ブラインドサッカー・ブラインドマラソンの体験授業を実施している。視覚障害について説明した後、児童・生徒がアイマスクを着用し、見える人と見えない状態の人が一緒に、ブラインドサッカーでは準備体操、的当て等、ブラインドマラソンでは誘導、伴走(ロープと一緒に握って走る)等を行い、見えない人の気持ちを体験してもらう内容としている。

参加者からは「障害のある人の立場になって考えるという貴重な体験ができた。今後は積極的に声をかけて暮らしやすい街にしていきたい」「障害のある人への見方が変わった。音と声だけで競技するなんてすごい」等の感想を頂いている。パラスポーツを通じた共生社会の理解促進に寄与していると評価して頂き、2020年度も継続実施予定。

【実績】

2018年度:約1,300名(10校)
2019年度:約1,400名(9校)



パラスポーツ講演会への登壇

学校や企業でのパラスポーツに関する講演会に『シンボルアスリート』を含む当社社員(障害者スポーツに取り組む社員等)が登壇。各講師が取り組む障害者スポーツの概要や、社内アスリートを応援する側として自身の障害の話を変え、『業務と競技の両立』『共生社会』『障害特性』等について講演を実施している。



東京都スポーツ推進大使 ゆりーと

STAFF'S VOICE

当社はNTTの特例子会社として2004年に設立、社名には「Clarte(光輝く)」+「Universal(全員)」+「Ability(才能)」を組み合わせ、「個々人の持ち合わせている才能が宝石のように多彩に輝く」という意味が込められています。

当社には『シンボルアスリート』の他にも、業務を遂行しながら障害者スポーツ(バスケットボール、野球、水泳、フィギュアスケート、ボウリング、空手等)に取り組む社員が多くおります。これからも社員が業務と競技を両立し光り輝けるよう、会社として支援を続けて参ります。

すべての革新は患者さんのために



中外製薬

Roche ロシュ グループ

中外製薬株式会社



障害者アスリート雇用とアスリート社員による啓発活動の実施

当社は障害者アスリートの就労支援の機会を提供することを目的として、障害者アスリート雇用制度を設け、2018年より選手の雇用を実施している。

アスリート社員の設楽武秀は、子供たちを対象にデフフットボールの体験会や障害の理解を目的とした講演を行っている。また、社外だけではなく、従業員へ向けての体験会や講演会を企画するなど、広く障害者スポーツの魅力を発信する活動を実施している。

障害者アスリート雇用を通じて、選手へ直接支援するとともに、選手と一緒に障害の理解や障害者スポーツ普及活動を実施することで、社内外におけるダイバーシティインクルージョンの推進を目指している。



聾学校においてもデフサッカー、デフフットボールの認知向上や子供たちへのスポーツ参加の機会提供を目的として、設楽社員が講師としてデフフットボール体験企画を行っている。



当社の事業所に併設するスポーツ施設(野球・サッカーグラウンド等)を一般のスポーツや障害者スポーツの練習場所として貸出を行い、地域のスポーツ振興に貢献している。



障害者スポーツ応援サイトの設置や啓発冊子の支援

障害者スポーツの魅力や選手の活躍を広く知ってもらうために、関係団体と協力をして冊子を作成し、配布するとともに、当社ホームページ上でも障害者スポーツを応援するサイトを設置している。

2019年は日本ろう者サッカー協会と協働で、デフフットボールのガイドブック「フラッグ」を発行した。



障害者スポーツイベントに社内ボランティアが参加

当社では、車椅子ソフトボールやチェアスキー等の障害者スポーツイベントや大会の協賛を行うとともに、従業員がボランティアとして参画している。

従業員と一体となって障害者スポーツを応援することで、社内におけるダイバーシティインクルージョンの推進やワークライフバランスの意識向上にもつながっている。



東京2020大会ボランティア、都市ボランティア参加者への休暇付与

従業員がボランティアに参加しやすいような環境作りとして、ボランティア休暇制度の整備を図った。東京2020大会においては、大会ボランティア、都市ボランティアへの参加時の休暇特別付与を行うことを決定し、従業員に周知。

従業員の意欲的なボランティア参加を後押ししている。



東京都スポーツ推進大使 ゆりーと

STAFF'S VOICE

当社は、障害者スポーツの理念である「活力ある共生社会の創造」実現の一助となるべく、障害者スポーツを積極的に応援しています。大会やアスリートを支援するとともに、誰もがスポーツを楽しめるための環境作りや、応援者を増やす取組を行っています。また、従業員がボランティアとして活動に参加することで、社内におけるダイバーシティインクルージョン推進にもつながると考えています。これからもスポーツが一つの共通言語となり、社会における様々な垣根を取払い、共生社会の実現が加速することを目指してまいります。

企業DATA

所在地 中央区

業種 製造業

総従業員数 約7,500名

あしたを、つなぐ
野村不動産グループ

野村不動産ライフ&スポーツ株式会社



街と子供の未来をつなぐ
「こどもみらいプロジェクト」の推進

当社では運動好きで心の強い子供の育成と、保護者や地域・学校の課題解決に取り組むため、「こどもみらいプロジェクト」を推進している。

具体的には当社で展開する子供向けの体育スクール「ミライク」、保育園や幼稚園、小学校にコーチの派遣、小学校のプールの授業で着衣泳の指導、未就学児の水慣れイベント、学童でのスポーツイベントをそれぞれ無償で実施している。この「こどもみらいプロジェクト」の德育カリキュラムを通じて、子供に挨拶や礼儀マナーの習得をサポートしている。



「泳げない子救済イベント」

泳ぎが苦手な小学生を救済すべく、当社スポーツクラブ「メガロス」のある地域の近隣小学校と共同で、特別水泳教室を実施した。本教室は6店舗で開催し、延べ344名の児童が参加している。



「水慣れ体験会」

保育園や幼稚園では常設のプールがない場合が多く、それが原因で小学校でのプールが苦手と感じる子供が多いとのこと。近隣の保育園や幼稚園と共同で当社のプールを利用しバタ足や顔付けなど水慣れ体験会を実施している。



地域連携の健康増進企画や健康づくり事業へ自治体と連携協定

商工会や法人会と連携した企画として、商工まつりに参加し反射神経や握力等の肉体力年齢測定会を実施し、各地域で約300名以上が参加している。「健康経営」の一環として法人会と協力し、経営者のための肉体力測定会なども開催している。

また、メガロス無料開放デーを開催しスポーツを身近に感じてもらうイベントを実施している。



スポーツクラブがお化け屋敷に!? 「メガロス恐怖店」

メガロスの店舗を地域の方に開放し、スポーツジムとは思えない本格的な体験ができるお化け屋敷や夏祭りを展開するとともに、スポーツに親しんでもらう地域活性イベントを開催。テニスコートでは、テニスボールを使った的当てや簡単な体操を実施するほか、地元プロバスケットボールチームも参加するなど会場を盛り上げた。延べ14,000人以上が参加。



「パラアスリートの雇用と支援」

東京ボッチャ協会と「パラアスリート育成における施設利用協定」を締結。ボッチャ選手の練習場所を無償提供(田端店、鷺沼店)している。また地域の方にもボッチャを体験してもらうイベントを実施予定。



また、社員にCPサッカー(脳性まひ者7人制サッカー)日本代表選手2名、デフサッカー(聴覚障害者サッカー)日本代表選手1名が所属しており、大会時には特別休暇と特別報奨金制度を適用している。今後も積極的にパラアスリートの採用を予定している。



東京都スポーツ推進大使
ゆりーと

STAFF'S VOICE

当社は、スポーツクラブ事業を通じて地域に住まう方々に健康であることの「喜び」「大切さ」をお伝えし、「健康」と「生きがい」創造に貢献することを目指しています。

「顧客満足を感じと喜びに変える」を企業理念のもと、今後も引き続き地域の皆様が参加しやすい健康イベントを開催し、多くの方がスポーツに触れていただける機会を創出してまいります。



明治安田生命

明治安田生命保険相互会社



健康づくりをみんなで楽しく続ける 「みんなの健活プロジェクト」

2019年度から本格展開した「みんなの健活プロジェクト」では、「健康を、いっしょに育てよう」をコンセプトに、お客さま・地域社会・働く仲間「みんな」で健康増進に取り組む「健活」を推進し、「人に一番やさしい生命保険会社」の実現を目指している。

本プロジェクトは誰もが実践しやすい運動の機会を提供しており、タイトルパートナーとして応援しているJリーグ、Jリーグパートナー企業等と協働し、ウォーキング等の「健活」イベントを全国各地で開催。健康づくりや地域社会の活性化、子供たちの健全育成を応援している。

地元のJクラブ選手等と楽しみながら一緒に歩く「明治安田生命Jリーグウォーキング」を全国34箇所(参加者数約11,000人:1月末時点)で開催するほか、「明治安田生命フットサルフェスタ」や「小学生向けサッカー教室」を開催している。



2019年度からの新しい取組としてお客さま・地域社会のみならず、お客さま向けに「みんなの健活ヨガ」「明治安田生命ゴルフーナメント2019」をスタートさせ、「みんな」で楽しみながら運動する機会を提供している。

2019年度までの主な参加者数

- ・明治安田生命フットサルフェスタ:約14,000人
- ・小学生サッカー教室:約65,000人
- ・みんなの健活ヨガ:約620人
- ・明治安田生命ゴルフーナメント:約6,500人



社内外アスリート支援でスポーツ文化の発展を後押し

スポーツ文化の発展を後押しするため、「次世代トップアスリート応援プロジェクト」では、世界を舞台に活躍が期待される若手アスリートを応援している(2019年12月現在、5競技・10選手)。加えて、2018年3月にはプロゴルファーの勝みなみ選手と所属契約を締結した。

また、当社従業員が全国大会・国際大会に出場した際には出場費用の補助を行う等、競技への取組を支援している。



地方創生・健康・スポーツ・人財育成など各分野で連携、協力

当社では、自治体や関係各方面等と連携し「健康づくり」に取り組んでおり、2019年には中央大学商学部におけるサッカーを中心としたスポーツビジネスに関する実践的な教育を目的に開講するスポーツビジネスプログラム(講座)を支援。

また、早稲田大学と地方創生を目的に包括連携協定を締結し、「朝食」と「からだづくり」をテーマとした共同研究や食育レシピの開発等、各分野において連携・協力し、スポーツの支援、地方創生に向けた取組を展開している。

- ・2019年3月 7日 中央大学商学部と寄付講座・給付奨学金に関する覚書を締結
- ・2019年3月27日 早稲田大学と地方創生を目的とした包括連携協定を締結

地域に根差した「健活」を全国各地で展開

全国1,138箇所に点在する所属が地域に寄り添う「健活」を展開している。

スポーツ関連イベントでのボランティア等、包括連携協定を締結した自治体とも協力し、お客さま・地域社会のみならずとの絆を大切にする取組を所属ごとに創意工夫を凝らし実施している。

また、社内運動部ではスポーツ教室、遠征先での小中学生との交流会を開催している。



東京都スポーツ推進大使 ゆりーと

STAFF'S VOICE

当社では従業員の「健活」はもちろん、お客さま・地域社会のみならずと三位一体となって健康づくりに取り組んでいます。「健康を、みんなでもっと楽しく、続けやすいものに」するため、約45,000人の従業員が全国各地で「健活」を実践しています。

「みんなの健活プロジェクト」におけるスポーツ活動の支援・促進への取組を通して、スポーツの「人を元気にしたり結びつける力」を発信していけるよう「健活」をよりいっそう推進していきます。

左から
業務部：林主任スタッフ
人事部：加藤事務担当
業務部：川越主任スタッフ



企業DATA

所在地 千代田区

業種 保険業

総従業員数 約45,340名



株式会社アール・シー・ティー・ジャパン



社内ジムでのトレーニング実施、アスリートへの支援やスポーツ系イベントの企画

専門の講師を招き、パルクールやムーブメントの部活動を行っている。

また、自社と契約を結ぶ現役アスリートへのサポートを行っており、フリーライドワールドツアーのメインスポンサーとして、大会のオープニングや表彰式のプロデュースを行うほか、子供向けの雪の運動会やバックカントリーツアーなどのイベントを行っている。



RUNNERS GROUP

株式会社アールビーズ



「スポーツの実践を通じて、健康で心豊かな人生を送る方々を応援する」が企業理念

スポーツの実践を社是としており、スポーツ大会参加者には1人当たり最大年10回まで(1回上限1万円まで)補助している。昨年はのべ416名がこの制度を利用した。

ランニングシューズやベアフットシューズでの通勤、勤務を奨励しており、ほとんどの社員が実践している。

また、怪我無くスポーツを継続できるよう、本社近くのスポーツを専門とする治療院と提携して、年間最大18,000円を補助している。



アサヒ飲料株式会社



「健康チャレンジ!」の一環としてウォーキングなどを推奨し、社員の健康を応援

「自分も、会社も、世の中も健康に」のスローガンのもと行っているアサヒ飲料「健康チャレンジ!」の一環として、社員が健康的な日々を送ることを応援。ストレッチやウォーキング等の運動や生活習慣改善を実践した社員にポイントを付与するほか、ウォーキングキャンペーンを実施。

また、健康をテーマに社員が“つながる”場をイントラ内に設け、スポーツの取組等を自由に情報共有することで、健康意識の向上につなげている。



街の鼓動に敏感です

朝日信用金庫

朝日信用金庫



職員のスポーツ活動に対する支援

クラブ活動の試合に際して、職員の応援団を組織するなど、職員のスポーツクラブ活動を積極的に支援・推奨している。

また、毎朝、朝礼時にはストレッチ体操「信ちゃんストレッチ」を実施している。

株式会社IHIエスキューブ

株式会社IHIエスキューブ



からだを動かすことと職場コミュニケーション活性化の連動による健康づくりの推進

「1日1万歩以上」を全社目標に、従業員に活動量計を貸与している。個人の活動量UPと職場コミュニケーションの促進を目的に、個人職場対抗型ウォーキングイベントや家族を含めた全社スポーツ大会を開催している。

また、ワークサイズ歩幅チェックストレッチポイント、立ち会議テーブル)を設置し、リフレッシュ効果のあるストレッチを組み合わせた自社オリジナル「グッドコンディション体操」を毎日職場で一斉実施している。



アキレス株式会社



ウォーキングの推奨、ラジオ体操の実施、健康セミナー等の開催

毎年10月から11月までの2ヶ月間でウォーキングキャンペーンを実施して、50万歩達成者には賞品を贈呈している。

また、毎朝ラジオ体操を全従業員で取り組んでいる。

さらに、フィジカルトレーナーを外部から招いて、「健康セミナー」を開催し、スポーツ医学に基づいたカラダの機能改善方法をトレーニングを交え学習した。社内運動サークル(サッカー・テニス等)への費用補助等と合せ、健康の保持増進に役立っている。



朝日生命保険相互会社



全職員による「おはよう体操」の実施、体操事業への協賛

毎朝、全職員が始業前に職場体操「おはよう体操」を実施し、神経の働きを活性化させることでスッキリとした気持ちで業務に取り組んでいる。

また、体操競技の普及や、少年少女の健全な育成を目的として、「朝日生命体操クラブ」「朝日生命体操教室」を通じた体操事業への協賛を行っている。



株式会社アシックス



地域コミュニティを巻き込んだスポーツイベントを通して、スポーツの魅力を発信

地域周辺企業と共催して、運動会やランニングなどのスポーツイベントを実施している。イベントを通して、社内外の枠を越えたコミュニケーションの活性化と、従業員のスポーツ実施率の向上や健康経営の推進に繋がっている。

また、創業理念に基づいたスポーツ推進活動「ASICS SPORTS FIRST STEP」に取り組んでおり、社員が地域の学童保育施設等の子供たちと一緒に身体を動かすことでスポーツの楽しさを伝えると同時に、従業員自身もその魅力を再確認する機会となっている。



株式会社アスポ



元気プロデュースカンパニー

日々の生活、就業環境の中から健康行動（活動量の増加）を推奨し、移動時の階段利用、移動時に自転車利用の推進等を行っている。また、定期的に任意参加で社内 Studio にて運動プログラムを実施している。さらに、現役アスリートの支援等を行っている。



株式会社アスリートプランニング



社員のスポーツ実施と 大会への参加

社員自ら「ビーチアルティメット」や「野球」というスポーツ活動を実施している。
現場の営業社員からマネージャークラスまで、経験者から未経験者まで幅広く活動に参加し、今年は地域大会で上位に食い込む成果を出している。
中には「日本代表」として今年のアジア大会へ参加。レギュラーとして試合に出て活躍を果たした。



株式会社アドックインターナショナル



身体を動かし、 こころも身体も元気に!

今まで実施していたラジオ体操に加え、バスケットボールチーム東京サンレーヴスの選手やトレーナーさんの指導で、楽しくヨガ体操!さらに元気な会社を目指す!



アドバンスソフト株式会社



社員のクラブ活動を支援、 社内スポーツイベントの開催

社員の健康増進と団結力の向上を目的とし、野球部や陸上部、ボウリング部には活動補助金を提供し、業務だけではなくスポーツを通じた社内交流を推進している。ボウリングは、楽しみながら全員が参加できるスポーツとして最適と考えており、部署ごとにチームに分かれ、対抗戦を行うことで、コミュニケーションの円滑化を図っている。



株式会社アセットリード



ブラインドサッカーにおける 普及・促進活動として体験会を実施

体験型研修「OFFTIME BIZ」では、ブラインドサッカー体験を通じ、障害者理解のみならず、コミュニケーション、チームビルディング、ダイバーシティ理解など、日常生活にも活かせる新たな発見をコンセプトに、社内のみならず、仕事を通じて知り合った社外の方にも積極的に案内している。



アデコ株式会社



社員や家族、取引先企業によるスポーツの 活動実績に応じ若年層支援団体に寄付金を贈呈

Win4Youth プロジェクトは、世界中の若年層の「生活環境の質の向上」と「教育」の支援を目的に実施している社会貢献プログラムである。
世界 60 か国の社員が、顧客企業・パートナー企業、家族と共に、スポーツに取組み、その活動実績に応じた寄付金を、若年層支援団体に贈呈している。
2010 年のプログラム立ち上げ以来、今年で 11 年目を迎えた。

企業に未来基準の元気を!



株式会社アドバンテッジリスクマネジメント



通年ウォーキングイベント 「あゆみ」の開催

通年ウォーキングイベント「あゆみ」を開催している。
社員に月ごとに1日の平均歩数目標を達成することを奨励しており、参加者には会社から活動量計を貸与し、携帯アプリを使って、リアルタイムで参加者全員の歩数状況をお互いに確認できるようにしている。
目標達成者には、健康増進グッズをプレゼントするなど、目標達成に向けて社員のモチベーションが継続し、また参加者同士のコミュニケーションの活性化にもつながるよう工夫している。



アビームコンサルティング株式会社



ビジネス界のアスリート 「Business Athlete」のコンディション作り

Run ステーション無料利用、ランニングレッスン、ウォーキングイベント、体組成測定会等、年間計画による多数の運動促進イベントを開催。毎年秋に実施するアビーム駅伝では、部署横断、海外拠点の外国籍社員、役員など多様なメンバー構成チームで 300 名全員が完走。また、障害者アスリートを雇用し、競技とセカンドキャリア形成のサポートをしているほか、複数大学へのスポーツ支援を通じ、スポーツ産業の活性化にも貢献している。



アフラック生命保険株式会社



全社員の6割以上が参加するウォーキング
キャンペーンを年2回実施

希望者に対し、歩数データ等を専用アプリに連動させ健康状態を「見える化」できるウェアラブル端末を配布し、健康意識/運動習慣の向上を図っている。このウェアラブル端末やスマートフォンでカウントした歩数で順位を競うウォーキングキャンペーンを年2回実施しており、社員の参加率は6割を超える。社長をはじめとした役員も含めた部署ごとのチームで競い、社内コミュニケーションの活性化にも役立っている。



アポロメディカルホールディングス株式会社



社内スポーツ交流会・スポーツイベント参加
及びプロ野球観戦等の支援

福島県・千葉県等、当社出店エリアにおいて、地域のマラソン大会に団体で参加。
また、フットサル等の社内スポーツ交流会における活動費を補助し、スポーツを通じて社員・家族の繋がりを深めている。
さらに、プロ野球チームの年間シートを購入し、社員の野球観戦に利用している。



株式会社アメディア



3分間ストレッチの実施

デスクワークで凝り固まった、首・肩・腰を軽くするため、午後3時に声掛けをし、各社員が自席で参加する「3分間ストレッチ」を実施している。知識のある社員が先頭に立って行い、自分のタイミングで出来るようアドバイスしている。



アルケア株式会社



パラアスリート社員を全社員で応援、
パラスポーツ体験で社内コミュニケーション活性化

パラアスリート社員2名を雇用し、競技や講演活動、その応援の様子を社内外に広報している。“障害に負けることなく世界で活躍する選手の姿”を通して、病気やけがの人を元気づけている。
また、全社員を対象に部活動のほかにもスポーツやレクリエーションを補助金制度で促進している。今年度はパラスポーツ体験会を開催し、健康増進や社員間交流の活性化、部署を越えた顔が見える風通しの良い社風作りをしている。



あまの創健 株式会社あまの創健 東京営業所



社員、家族の健康維持・増進の活動を推進し、
社員がいきいきと働ける会社に!

全社員及び家族を対象としたウォーキングキャンペーンを年2回開催。万歩計を会社から配布し、歩数記録などの条件をクリアした者にはカフェテリア(福利厚生)で利用可能な「健康ポイント」を付与して、モチベーションアップと運動習慣の向上を図っている。
また、健康運動指導士による「健康セミナー」を開催。運動機会向上を図って正しいラジオ体操のやり方講座などを開催し、週1回の朝礼で実践している。



株式会社アミックグループ



スポーツ大会・イベントへの
協賛や参加

人一倍過酷な環境下にあるアスリートの為に開発したスポーツ化粧品【AthleteX】を活用し、たくさんの方がスポーツを楽しめるようにスポーツ大会やイベントへの支援や協賛を行った。
また、地元、東京都国立市で開催されるLINK 国立をはじめとするイベントへの協賛や参加をしている。



アルフレッサ株式会社



ランニングクラブの発足、ボウリング大会
開催など社員の健康づくりを支援、推進

社員の健康増進、運動習慣を定着させるため、ランニングクラブの発足や、アプリを使った「歩こうキャンペーン」・階段利用促進で「ステップアップキャンペーン」を実施している。
また、ストレスの解消や社員同士のコミュニケーション促進イベントとしてボウリング大会を実施し、社員が健康でいきいきと活躍できるよう支援、推進している。



株式会社アロー



全社員の運動の習慣化と
東京2020大会にも負けない目標づくり

当社のミーティングにおいて生産性のある意見を生み出すため、月に一度、ミーティングの前に20分程度のゆっくりなランニングを行っている。その間に自由な会話をし、コミュニケーションの場としている。
また、体づくりに向けたきっかけ作りとして、2019年より全社員と、当社のお客様にも東京2020大会までに向けた目標を当社の壁に直接書いてもらい、目標を「見える化」している。



株式会社ANSIN-LINK



所属プロ・経験者の指導に基づく社員参加型
体験プログラムの導入、及びプロ選手の支援

従業員の運動不足を解消しリフレッシュする事で、生産性の向上と健康促進を同時に確保する事を目的とし、フットサル・野球・ゴルフ・テニス・スノーボード・ボルダリング等の社内経験者が中心となり、従業員が参加出来る機会を企画・実施している。
また、弊社所属のアスリートが大会に出場する際には従業員対象の応援ツアーを実施し、会社が一丸となって選手を応援する体制を作っている。



株式会社イーウェル



健康経営プロジェクトを推進し、自社開発の
健康管理アプリでスポーツ活動を促進

「健康支援サービスを提供する企業の従業員がまず健康であること」が信頼と成長に繋がるものと考え、2014年度より健康経営PJを組織化し、健康経営を実現するための全社横断的なプロジェクトを推進している。
健康情報の提供や体重・歩数・日々の健康活動を記録する自社開発の健康管理アプリ「KENPOS」の利用や、定期的なラジオ体操の実施、12団体ものスポーツを行う部活動に対しても積極的に支援している。

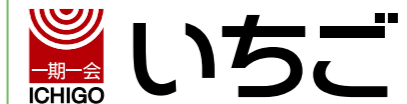


イオンモール株式会社



お買い物ついでに気軽にウォーキング！
環境を活かしたスポーツ体験イベントを実施

お客様の健康的なライフスタイルをサポートするため、全国のイオンモール館内にウォーキングコースを設定。距離・消費カロリーが分かるサインやリーフレット等を設置するほか、歩き方レッスンなども実施している。
また、2019年夏には、涼しく快適な館内環境を活かし、「モール de スポーツ」企画も実施。様々なスポーツ体験イベントを開催したほか、ミズノ協賛の下、買い物をしながらできる「ながら運動」を考案、ノベルティブックにして配布した。



いちご株式会社



アスリートの雇用、Jリーグや各協会スポンサーとしてのスポーツ・地域振興

ウェイトリフティング・ライフル射撃・陸上部を創部し、メダリストを含む各選手を社員として雇用している。
また、国内外大会開催時の社内応援ツアーやライブビューイングの実施等応援にも注力し、ウェイトリフティング協会・ライフル射撃協会スポンサーに加え、Jリーグトップパートナーとしてもスポーツや地域の振興に貢献している。
さらに、役職員による部活動（フットサル・ランニング・ゴルフ・ラグビー）も盛んで、業務の円滑な遂行にも繋がっている。



イーオクト株式会社

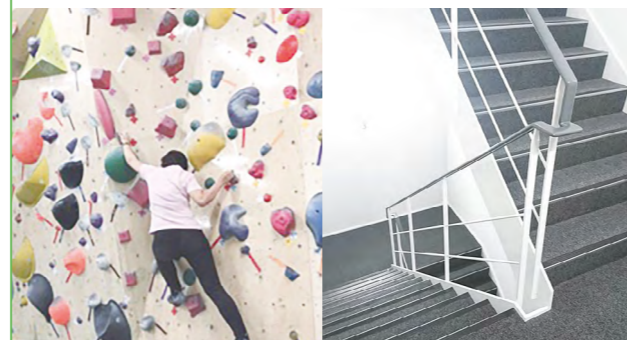


スタンディングワークや
街歩き&スポーツイベント実施

全社で自社のスタンディングデスクを導入し、スタンディングワークを実施することで「肩こり・腰痛」「冷え」を始めとする健康被害を予防し、「生産性アップ」「メンタルヘルス向上」「運動不足解消」を促している。
また、年に1度の街歩き&スポーツイベントを実施、階段使用奨励、朝礼時の体操を実施している。



株式会社イーブックイニシアティブジャパン



部活動の制度を設け、1人あたり最大
年間4万円の助成金を活動に応じ支給

部活動の制度を設け、1人あたり最大年間4万円の助成金を活動に応じ支給しているほか、ランニングイベントへの参加や階段利用の推奨を実施。



いちよしビジネスサービス株式会社



始業時にラジオ体操の実施

社員の健康が生産性の向上に繋がるとの趣旨で、短時間で全員が参加できることから、毎朝の始業時に役職員全員でラジオ体操を実施。ラジオ体操地域リーダー認定者の先導により、月曜日から木曜日はラジオ体操第1、金曜日はラジオ体操第2を行っている。



出光ユニテック株式会社



スポーツを通じた心身の鍛錬と
コミュニケーション円滑化

心身の鍛錬と社員相互の親睦を目的として社内スポーツクラブ活動に補助金を出している。特にサッカー部は社内のみならず出光グループ、取引先企業や異業種との対外試合にも活発に取組み、一企業の枠を超えた活躍をしている。北海道などの遠隔地への遠征や他事業所での支部設立等、その活動は益々の盛り上がりを見せている。



伊藤忠エネクス株式会社



社内スポーツ活動支援制度による健康増進や、NPO法人支援、アルティメットをはじめとした各スポーツへの協賛

部署の垣根を越えて同好会として各種スポーツ活動を行う団体に対し、活動費用の一部を会社で補助することでさらなる活性化を図り、社員の健康推進の一助となっている。

また、スポーツ「アルティメット」の国内外の大会への協賛や、日本フライングディスク協会との協働による次世代教育活動を実施している。



伊藤忠テクノソリューションズ株式会社



スポーツイベントで利用できるボランティア休暇制度及び活動費補助の利用促進

社員がスポーツイベントへ積極的に参加することで健康増進を図り、一体感の醸成に努めている。「NIPPON IT チャリティ駅伝」への協賛・参加のほか、被災地支援のスポーツイベントに、ボランティア休暇取得制度や活動費補助を利用してもらうことで、積極的な参加を促進している。



株式会社イトーキ



日本橋本社XORKで健康プログラムを導入。歩数アップと全員ストレッチを実施。

「ITOKI TOKYO XORK」(イトーキ東京ゾーク)では、別フロアとのコミュニケーション構築のため中階段を設置し、全従業員向けにタニタ健康プログラムを導入している。

コピーや打合せでの移動といった業務に必要な日常の行動が歩数アップにつながる仕掛けを施し、一人ひとりが携帯する体組成計で健康づくりのPDCAに取り組んでいる。

また、隔週月曜日の朝礼を活用してプロのインストラクターによる全員ストレッチも実施している。



INSIGHT LAB株式会社



エンジニア運動会への参加、社内部活動への参加推進を実施、健康に関するお知らせ配信

年に1度、IT業界で働くシステムエンジニアを中心とした運動会に参加し、普段デスクワークが中心となるシステムエンジニアに運動の機会を提供している。

部活動は、野球部、フットサル部、陸上部、ゴルフ部、自転車部、トライアスロン部など社員が任意で発足し、活動している。社内イントラネットでは、部活動の活動報告や健康・スポーツに関するお知らせを配信し、スポーツに関する意識付けを行っている。



伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社



15の運動系相互会活動

蹴球部、テニス部、ヨガ部、ゴルフ部、バスケットボール部、空手道部、野球部、剣道部、卓球部、ランニング部、ダンス部、ピラティス部、ラグビー部、バレーボール部、ラクロス部の合計15部の運動系相互会活動の支援を行っており、相互会が主催の全社スポーツイベントも定期的実施している。



株式会社イトー



「そうだ!宗谷岬へ行こう」をテーマに、全社員に万歩計を配布して毎月の歩数を集計

全社員に万歩計を配布し、1ヶ月毎に集計結果を掲示する。

東京-宗谷岬間の距離と集計結果の累積を棒グラフで並列表示し、途中経過と達成具合をわかりやすく表現している。総距離1,560km・260万歩を目標に踏破を目指す。



株式会社インテック



地域社会とともにスポーツを応援

トランポリン日本代表のオフィシャルスポンサーとして、競技の普及に貢献し選手の皆さまの活躍を応援。

また、江東区においては小学生を対象にしたミニバスケットボール大会「インテックカップ」を開催。大会後には当社のバスケットボール部選手が、小学生へのクリニックを行い、共にプレーするなど、交流を図りながら地域社会とともにスポーツを応援している。



一般社団法人ウェルネスウェンズデー協会



働く女性を応援し、率先してウェルネス活動を行える人々を増やしていく啓蒙活動

月1回、水曜日の就業時間内に90分という時間を設け、外部講師によるヨガレッスンやランニング等『ウェルネスウェンズデー』の運営サポートを行い、参加もしている。

また、協会内ヨガインストラクターにより、毎週水曜日の業務前・業務後のいずれかにヨガレッスンを開催。託児所でのベビータッチングも月1回実施・運営サポートも行い、年1回『国際ヨガデー』にヨガイベントの開催・運営サポートも行っている。



ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社



定時1時間前退社をして運動をする制度を継続中。
制度利用者には活動量計を貸与。

運動機会の創出、習慣化と働き方改革における残業時間削減の同時達成のため、週1回定時前退社し、その時間を運動に充てることを許可する制度を実施している。制度の利用にあたっては3ヵ月ごとに目標設定とレビューを実施し、個人の健康課題改善を促進している。また、本制度利用者には、AppleWatchやGARMIN等の活動量計を無償貸与し、日々の活動の見える化を後押ししている。



株式会社ウェルネスファームひょうたん島



全社員による八丈島をスポーツ・
体操で元気にする活動

国家資格者である全社員が救護、けが予防、運動指導の専門家として、得意分野の島内スポーツのサポートに参加している。野球、サッカー、柔道、トレッキング、バレーボール等の青少年への技術指導のみならず、けが予防を積極的に指導。杏文学園とコラボし、年間を通して、ロードレース大会、フットサル大会、各種スポーツ合宿の救護サポート、高齢者運動教室を行っている。

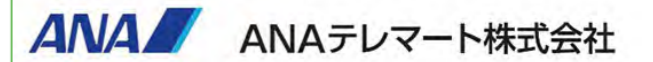


一般社団法人A-wear協会



小・中学生330人をプロスポーツ観戦に招待。
大学生アスリートとトッププロ選手との
合同トレーニングの実施、及び大会への協賛

スタッフが、平成24年にスポーツ健康都市宣言をした大田区出身であり、地元へスポーツに関する事柄で貢献したいと考え、大田区を拠点とするプロバスケットボールチームへ2018-2019シーズンに出資し、大田区・世田谷区の小・中学生330名を試合観戦に招待した。
また、明治大学キックボクシング部へ、クライアントであるトッププロ選手を帯同し、合同トレーニングを実施。参加した学生から、学生リーグチャンピオン、アマチュアムエタイ金メダルに輝く選手を輩出した。
さらに、大会への協賛として弊社商品を提供した。



ANAテレマート株式会社



グループ体操を取り入れ就業中の
軽運動を奨励、日常の運動習慣向上を実践

「ANAグループ体操」を部署・チームごとで実施し、始業前のブリーフィング・チーム会などに取り入れ、リフレッシュとして活用している。さらに日々の業務のなかで身体を動かす習慣を促進するため、スタンディングデスクを設置。議論の活性化、リフレッシュ効果、業務効率化を期待している。
また、社員有志による野球部が継続して活動しているが、今年度は新たにバレー部とバスケット部が結成され、コミュニケーション活性化に繋がっている。



ウェルネス・ブランド・コーポレーション



自ら姿勢改善の運動やウォーキングを実践。
地域の方には姿勢と運動・健康の大切さを
知る機会を提供

地域のイベントで姿勢チェックを実施して、姿勢のワークショップを開催した。
体のゆがみと運動と姿勢の関係について知り、自らの体に興味をもってもらう機会を提供した。
学校・公共施設での授業、講演会に講師を派遣し、姿勢教育の普及に努めた。
歩くことの大切さ、姿勢と歩行の関係を知り、一緒に街を楽しく歩く時間を提供した。



株式会社ウサギオンライン



月1回のランニング・ヨガ等の社内講座
(ウェルネスウェンズデー)への参加を推進

グループ内で雇用している障害者アスリートと積極的にコミュニケーションを取り、スポーツイベントなどでは同じチームとして競技に参加するなど、社員の一体感醸成に寄与している。
また、「国際ヨガの日」のヨガイベント、就業前後と就業中に行う「ウェルネスウェンズデー」、その他社外イベントと、社員がスポーツに触れ合う機会を用意し、参加を推奨している。



イーオンホールディングスジャパン株式会社

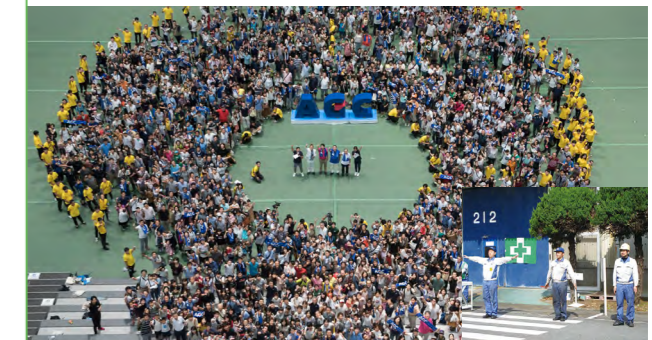


Aon Wellbeing ～健康経営実現のための
さまざまな社員向け活動を積極的に推進

全世界120カ国にあるエーオングループでは、毎年社員の健康と福祉のためのイベントを実施しており、エーオンジャパングループでは会社内の親睦を目的に、フットサルやボウリング大会を業務として開催している。
また、東京オフィスの全席に上下昇降デスクを導入し、社員のスタンディングワークを取り入れることで健康増進を図っている。



AGC株式会社



従業員の心身の健康保持増進を目的として、
全社ウォーキングイベント等各種施策を展開

全社ウォーキングイベント「AGCウォーク」を年2回定期開催。従業員が楽しく健康習慣を身につけることを目的としており、参加賞等の各種賞品も充実している。直近では約2,000名が参加した。
また、周辺にスポーツジム施設の少ない地域で働く従業員向けに、職場や社有寮内に運動室を設置し、日常的な運動を促進している。始業前には、身体を動かすことで1日を健康に過ごせるよう、任意参加の朝体操を実施している。



株式会社エコ・プラン
豊かな環境を創造する

株式会社エコ・プラン

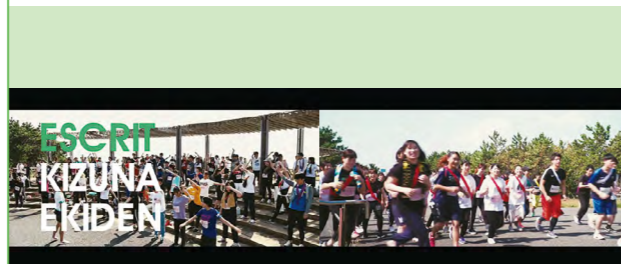


『仕事もスポーツも”やる気日本一企業”、75%以上の社員が参加する6つの部活やサークルを運営』

軟式野球部、サッカー部、バスケットボール部、陸上サークル、テニスサークル、ゴルフサークルに社員約300名のうち、約75%が参加している。運営費の一部を会社が負担しており、社員が参加しやすい状況を作っている。また、役員が取組に対して理解があり、サポートならびに役員自身も参加し、社員との交流を通して、風通しの良い社風作りをしている。



株式会社エスクリ



部署の垣根を超えた
チーム対抗駅伝大会を実施

部署の垣根を超えて社員がチームを結成し、希望する新卒者や内定者などを含めてチーム対抗駅伝を実施した。開催は3年目ではあるが、年々参加者も増え、この大会を目標に運動する社員もでてくるなど社内に浸透してきており、ESCRI[総] 駅伝の名にふさわしいイベントに成長している。また、リュックスニーカー通勤や階段利用の促進など、日常的に運動を行う機会を増やすことで、スポーツへの意識醸成を継続して実施している。



株式会社エフピコ



ユニバーサルスポーツであるフロアホッケー
活動をグループ企業あげて推進

障害・年齢・性別に関係なく一緒にプレイするユニバーサルスポーツであるフロアホッケーのチームを全国9拠点で結成(15チーム、うち東京3チーム)。グループ社員約600名(障害のある社員約200名、障害のない社員約400名)がアスリートとして概ね月に一度集まり練習し、年1~2回の大会に参加しているほか、東京と広島の2つの大会でメインスポンサーとなり、多くの社員がボランティアとして運営に参画している。



INSURANCE GROUP

MS&ADインターリスク総研株式会社



スタンディングミーティングや階段利用
促進の継続実施及び予防体操を中心とした
「肩こり・腰痛対策プログラム」の実施

スタンディングミーティングや階段利用促進の継続実施。
昨年度、著名な先生を招いての「肩こり・腰痛改善セミナー」で教わった予防体操を中心とした「肩こり・腰痛対策プログラム」を全社員で実施。



SGホールディングス株式会社



全国各地のグループ社員とご家族が
参加する社内スポーツ大会を実施

グループ保有施設を活用し、毎年5月に社内スポーツ大会を開催しており、今年は1,200人超が参加した。佐川急便の支店別チームやグループ事業会社混合チームが競い合い、社員だけではなくその家族も参加して社員・家族のつながりを深めている。さらに、オフィシャルスポーツ部(陸上競技部・ソフトボール部)を設けアスリートの競技活動支援や、「全国高校駅伝」への協賛を通じてスポーツ振興に取組んでいる。



NOK株式会社



社内運動会やウォークラリー、アスリート社員に
よるトレーニング講習会を実施

3年に1度開催する社内運動会では、全国各地から約3,000名が参加し、大玉送りや綱引き、リレーなどのスポーツを通じて、事業所・部署・役職の垣根を越えた社員同士の親睦融和を図っている。また、2019年度は競泳選手2名を採用し、社員が大会応援に参加するなど、選手たちをサポートしている。さらに、アスリート社員を講師として、オフィスや自宅で簡単にできるストレッチなどの講習会を実施したり、昨年に続きウォークラリーを行ったりしている。



株式会社エムステージ

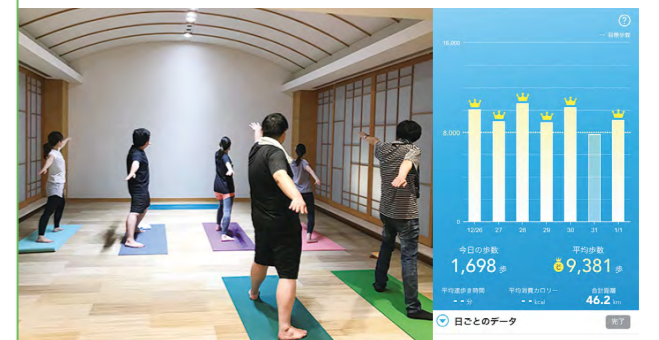


「スポーツ活動推進手当」や「ながらエク
ササイズ」で地道にコツコツ健康増進

企業の健康経営をサポートする立場から社員の健康増進にも積極的に取組んでいる。スポーツ活動推進手当では、社員4名以上で行うスポーツ活動(テニス、山登り、フットサル、ヨガなど)の費用をひとり3,000円まで補助している。また、朝礼時にストレッチを実施したり、クイックミーティングはハイテーブルで立ちながら行うなど、ながらエクササイズも推奨。社員が自主的に健康増進へ取組めるようサポートをしている。



株式会社エムティーアイ



クラブ活動支援や健康管理アプリを使った
ウォーキングレースや健康活動の実施

全従業員を対象にクラブ活動の入部推奨と費用補助を行い、スポーツ活動を促進。また、自社で開発を行っている健康管理アプリを全従業員に配布し、ウォーキングイベントを開催。毎日8,000歩を目標に、運動習慣の意識、習慣付けを行っている。さらに、従業員だけでなく、誰でも参加ができる健康活動の記録サービスを開発、運営し、日々の運動の記録をポイント化。ポイントに応じたインセンティブを与える仕組みを構築し、全社で運動(スポーツ)活動を促進し、コミュニケーションの活性化を行っている。



株式会社MPandC



アスリートと街(まち)をつなぐアスマッチプロジェクトがスポーツを通じて子供たちを応援

公益財団法人東日本大震災復興支援財団が実施する「東北『夢』応援プログラム」の一環で、東北で暮らす子供たちを対象に、東北にゆかりのあるコーチ等による現地指導と遠隔指導を通じ、指導機会を提供することで、子供たちの「やりたい」気持ちや夢を追求する環境を応援している。子供たちは「夢宣言イベント」へ参加し、自分の目標をコーチと約束した後、夢や目標に向けて、計画的に練習に励んでいる。



オイシックス・ラ・大地株式会社



障害者スポーツへの食の提供を通じた支援や、社員の観戦や体験会を企画

一般社団法人日本車いすラグビー連盟とオフィシャルサポーター契約を締結し、食材提供による支援や、情報発信を通じたファンづくりの支援を行っている。車いすラグビーの試合を中心に、社員による応援や、障害者スポーツの体験会への参加を積極的に行っている。また、昨年からはゴールボールの選手たちにも食材提供、食を通じた支援を始めている。



株式会社オーエンス



社内ストレッチの取組

事故防止と長時間のデスクワークによる運動不足解消のため、リフレッシュして仕事に集中できるように、月に1回社内ストレッチを実施している。



大塚製薬株式会社



定期的なオフィス内体操や各種運動プログラムの実施、障害者スポーツへの支援

社員が健康に生き生きと働けることが大切と考え、週一回8分間のオフィス内体操「ポカリフレッシュ」や、社員・家族を対象に健康増進や疾病予防につながる運動プログラムの実施等スポーツを通じた健康づくりを実践している。また、30年以上前より障害者スポーツの支援をスタートしており、「日本障がい者スポーツ協会」等を通じて全国で開催されている各種競技大会に、運動時や暑い時期の水補給の重要性の啓発活動や製品支援を行っている。



青梅信用金庫



青梅マラソン大会を始め、スポーツ大会協賛や各種イベントへのボランティア派遣

毎年200名以上の役職員が、青梅マラソン大会参加選手受付ボランティアを担当するなど、長年に亘り大会実行委員として運営協力しているほか、参加選手へのグッズ提供やロードレースへの支援など、地元協賛企業として様々な面から大会運営支援を行っている。



株式会社OSGコーポレーション



企業理念の実践!運動習慣定着を目指し「サポート支援制度」「拠点単位イベント」。

OSGグループでは、「よりよい健康、快適なライフスタイルを追求し、暮らしや社会の喜びに貢献する」が企業理念である。過去より運動習慣の実践として「汗の水曜日」「毎年のホノルルマラソン」に取組み、更なる運動習慣の定着を目的にした取組が、競技参加費用を一部会社が支援を行う「運動習慣サポート支援制度」や、「拠点でのリレーマラソン参加」「ストレッチ実演講座」などである。



株式会社オートバックスセブン



スポーツ活動に対し全社をあげて支援

企業対抗運動会の「ザ・コーポレートゲームス」に毎年150名程度の従業員が参加。そのほかマラソン大会「ランナーズ24時間リレーマラソン」の協賛企業として大会の支援をする一方で、従業員もランナーとして参加し、健康増進の一助としている。また、社内クラブ活動に対し年間最大10万円の活動資金を給付し支援を行い、同支援を通じて約10チームの運動系クラブが定期的に活動を実施。



一般社団法人鬼ごっこ協会

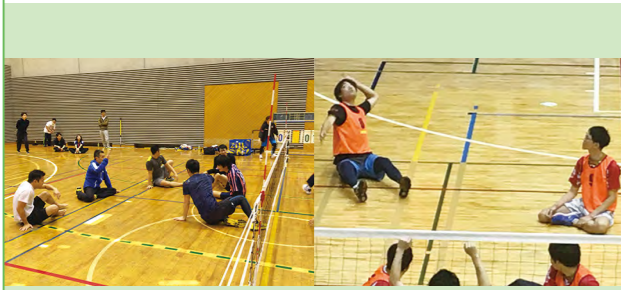


子供の頃から大人気の「鬼ごっこ」で健康改善

子供たちには学校体育や放課後、休日のレクリエーションとして、大人には心のリフレッシュや健康増進のためのプログラムとして取り入れてもらえるように活動をしている。協会スタッフ自身も、心身の健康やメンタルヘルスケアのためにいろいろな種類の鬼ごっこで遊び、フットサルやジョギングなどの活動も継続的に実施している。



株式会社オフィス24



健常者もできる人気パラスポーツ シットイング・バレーボール教室を開催(自由参加)

パラリンピック競技でもあるシットイング・バレーボールの体験教室を月1度開催。

パラリンピック シットイングバレーボールの監督・選手等の協力のもと、本格的なプレーと練習方法を実施しつつ、初心者でも無理なく丁寧に指導している。開催時間は勤務後に社員が自由参加できるように19時~21時。社員以外も参加を受け付けている。

また、社員でオリジナルチームを作り、全国大会にも出場している。



オリンパステルモバイオマテリアル株式会社



社員のスポーツイベント参加推進と障害者アスリートの雇用

社員がスポーツイベントを通じて、コミュニケーションの活性化と健康増進に取り組む機会を提供している。駅伝大会への参加やボウリング大会の開催など、社員自らの提案によるスポーツイベントを奨励し、活動費の補助や運営面でサポートを行っている。

また、障害者アスリートを雇用し、社員が障害者との共生を学ぶとともに、障害者アスリートのセカンドキャリア支援についても力を入れている。



自然と調和する ところ豊かな毎日をめざして

花王株式会社

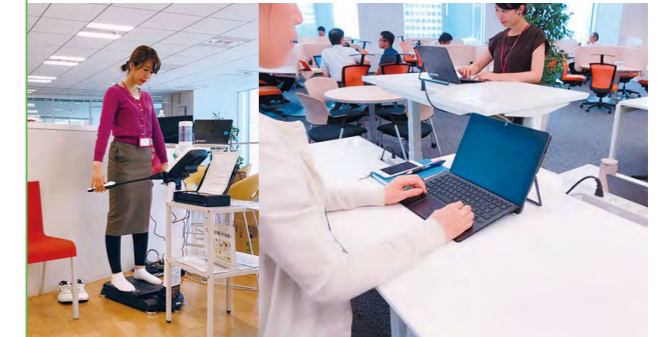


ヘルスケアの知見を活かし「kao みんなのGENKI プロジェクト」推進中

日常の「歩く」を推奨するために歩行速度も計れる歩数計「ホコタッチ」、日常の活動を記録するアプリ「GENKI-WEB」を活用し「歩く」を応援、ウォーキングチャレンジや歩行測定会を実施し楽しく「歩く」活動を推進。階段をジムに見立てた0円ジム、休憩時間などを活用した各種スポーツクラブ活動、企業内運動会、ソフトボール大会、ハイキング等を実施しスポーツを通じて社員と家族の健康増進、QOLの向上を目指し、良きモノづくりを推進する。



カルビー株式会社



掘り出そう運動の力! ~グッドコンディションではたらこう~

本社では昇降デスク導入や月に1度の体組成測定会を実施している。全国の事業所では、各所のウェルネス推進委員会を中心に、工場での家族を巻き込んだ運動会の開催や、地域のマラソン大会への参加等、各事業所の特性を生かしたスポーツに取り組んでいる。



オントフ株式会社



階段利用の促進!この一段ごとに、パラリンピックが近づくね!

営業活動先(ビル)では、週一回以上階段を利用しており、高層階では5階分までとし、下り階段は膝に配慮した利用等、階段利用を促進している。

また、朝のラジオ体操は、テレワーク時の自宅でも実施している。さらに、社外の個人・団体と共同したスポーツ機会として、クルージングヨット航海を取り入れた。20日間の長期連続休暇を制定し、ロングクルージング(横浜⇄三重県神島)やヨットレースに参加している。



The power to amaze yourself.®

株式会社カーブスジャパン



全社員に対して「カーブスワークアウト」を月8回以上実施することをルール化

全社員が月8回以上のカーブスワークアウト実施をルール化し、(一般職、時短勤務のメンバーは、月に5回以上)勤怠シフトにて、実施回数を管理している。

実施できない場合は、筋トレと有酸素運動を含む30分以上の運動をワークアウト1回分とした運動プログラムの実施を推奨している。



関西ペイント株式会社 東京事業所



社員の健康増進への取組及びスポーツ活動への支援

社内にトレーニング室、卓球場、シャワー室などを整備するとともに、クラブ活動には補助金を拠出し、社員が運動に取り組みやすい環境を作っている。

また、毎朝のラジオ体操やボウリング大会を開催し、体を動かしながら社員交流する場を提供している。



管清工業株式会社

管清工業株式会社



東日本大震災復興支援イベント「ツール・ド・三陸」自転車部の走行参加及び、協賛支援。

東日本大震災復興支援イベント「ツール・ド・三陸」にて自社自転車部が5年連続で参加している。

岩手県陸前高田市内及び、大船渡市内をサイクリングするコース。走行距離70kmのフルコースや、2時間のタイムトライアルレースではチーム優勝した。

被災地を巡りながらのコースであり、徐々に復興していく町の姿が見られる大会である。



株式会社キャプティ

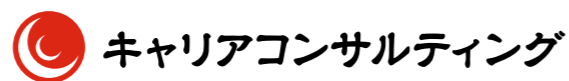


軟式野球部の活躍で社員間 コミュニケーション活性化に貢献

軟式野球部は、1979年に「スポーツには選手のみならず、周りの人々にもいい影響を与える力がある」という考えのもと結成した。

1981年には品川区一部で優勝し、その後、天皇杯・国体に出場するなど全国の強豪になり、2019年度の天皇杯も東京都代表として13回目の出場を果たした。全国56チームの代表が集う中、惜しくも1回戦で敗退したものの多くの社員や家族が詰めかけ熱心に応援した。

こうした野球部の活躍が社員間のコミュニケーションに大いに貢献している。



株式会社キャリアコンサルティング



“人づくりのキャリア”がチーム制歩数コンテストや 縄文ストレッチで基礎体力を向上

基礎体力向上のため、参加者を募り、ランダムに3人1組でチームを編成。チームの合計歩数を競う歩け歩けコンテストを開催。仲間意識をもって楽しく取組めるよう工夫し、73%の社員が参加。普段から歩くことを意識するようになっている。

また、日本の伝統的な動きを取り入れた縄文ストレッチは、月に一度、全社員がワークショップに参加。毎日15分、縄文ストレッチを行う縄文タイムを設けており、免疫力や基礎体力の向上に繋がっている。



株式会社キューオーエル倶楽部



成長段階にある女子プロゴルファーの サポート及びスポーツイベントに協賛

グループ企業がスポンサーをしている女子プロゴルファー支援のため、プロアマ大会に協賛している。

また、サプリメントの提供を通じて、アスリートの支援を行い、広くスポーツの振興に寄与している。



株式会社協栄

株式会社協栄



アスリートの雇用、カヌー体験イベントの実施、 階段利用の促進

トップアスリートの雇用や、カヌー体験イベントを積極的に実施、階段利用の促進をするほか、スポーツゴミ拾いにも新たに挑戦。



株式会社ぎょうせい



障害者アスリート雇用やスポーツゴミ拾い大会実施、 階段利用促進を通じて社内スポーツを推進

社内交流や健康増進等を目的としたチーム対抗のスポーツゴミ拾い大会を、毎年10月に実施し、社員とその家族100名以上が参加している。また、階段利用した場合の消費カロリーを記載したポスターを掲示し、階段利用を促進している。

平成29年からは、障害者アスリートの活躍を見たり、応援したりすることを通じて、社員自身の振り返りや社員の一体感を促進し、組織力や社員の意欲を高めることを目的に、障害者アスリートの採用活動を開始した。



共同カイトック株式会社



プロボクシングのスポンサーから、 障害者アスリートの雇用まで幅広く支援

プロボクサーWBS王者・井上尚弥、前WBC王者・拓真兄弟のスポンサーをはじめ、障害者アスリート、なでしこ2部リーグ選手を雇用しており、社員の試合観戦の時には補助をしている。

また、近隣小学生のフットサル大会を開催し、地域交流を図っている。



株式会社協和



スロトレ(スロトレニング)の実施

美容と健康をお客様に提供する会社として、「まずは自分達から実践する」との想いでスロトレをスタート。これは、9年以上実施の長期的な取組。元五輪競歩選手で社員の柳澤哲が監修したオリジナルプログラムで、ウォーミングアップ2種+日替り2種を毎日15分間実施。社長を含めた全従業員と居合わせたパートナー企業様が一緒に参加することも。業務での一体感に繋がっている。



協和キリン株式会社



スポーツを通じた社会貢献活動

社員に適度な身体活動を行うよう推奨しており、社員向けにウォーキングキャンペーンを年に2回実施し、さらに気軽に運動に取り組めるコンテンツを盛り込んだ「健康フェス」を実施した。

また、卓球部は特別支援学校や障害者支援施設を訪問し、主に子供たちと卓球の楽しさを共有している。

さらに、事業場周辺の活動として、卓球教室、テニススクール、サッカー教室を開催し、地域と交流している。



きらぼし銀行

株式会社きらぼし銀行



スポーツの普及・振興を通じた
地域社会の発展への貢献

都内在住の少年少女サッカーチームをJリーグクラブ「FC東京」の試合観戦に招待。
「FC東京」の応援イベントとして冠試合を開催し、職員やお客さまを招待するとともに、同イベントで子供たちの育成資金を贈呈。
また、小学生バレーボール大会や少女サッカー大会等へも協賛。
さらに、週一度のラジオ体操の実施や、アスリート社員の採用等スポーツの普及・振興、将来を担う子供たちの成長支援に継続的に取り組んでいる。



錦城護謨株式会社
KINJO RUBBER CO.,LTD.

錦城護謨株式会社 東京支社



障害者スポーツ大会の会場
バリアフリー化への協力

障害者スポーツ大会を開催する施設で、視覚障害者向けの誘導設備を完備した施設は非常に少ないため、屋内用の誘導マットを大会会場へ仮設することで一時的に会場をバリアフリー化し、選手や介助者の負担を軽減する取組を行っている。



GUPPY

株式会社グッピーズ



ヘルステックを活用した健康推進

健康管理アプリ「グッピーヘルスケア」を活用。健康活動で獲得したポイントがAmazonギフト券や現金に換わるため、楽しみながら健康意識が高まっている。特に歩数については「ランキング機能」を用いることで、カラダを動かす動機付けにつながった。
さらに、Apple Watchの支給、スポーツ支援制度もあり、社員の健康を後押ししている。



For Earth, For Life
Kubota

株式会社クボタ 東京本社



企業スポーツの推進と従業員の健康を目的としたラグビー観戦ツアーやラジオ体操の実施

ジャパンラグビートップリーグ観戦ツアーの実施、ラジオ体操の実施のほか年に1回、社内の共有スペースで、ダーツ大会を開催している。
毎年延べ500名ほどが参加しており、社員間交流の場にもなっている。



coolied, Inc.

クワリード株式会社



スポーツイベントへの定期参加、
「総合スポーツ部」を設置しスポーツ活動を奨励

総合スポーツ部の設立、活動費補助等の支援を行い、従業員のスポーツ活動を奨励。スポーツイベント（ボールドラッグやマラソン）に参加している。
また、年に6回程度、社員やパートナー企業とチームをつくり、リレーマラソンに出場。そのためのマラソン練習会を2ヶ月に1回程度開催している。



KUJI ARCHITECTS STUDIO
株式会社久慈設計

株式会社久慈設計 東京支社



アスリート社員の広報誌発行による
社内外への活動内容・近況等の周知

女子アイスホッケーの小西あかね選手を雇用しており、選手の近況や活動を報告する広報誌「あかねだより」の社内外への配布や、社員が練習の見学や試合への応援をするなど、社員一丸となって小西選手をサポートしている。
また、毎朝社内でのラジオ体操の実施や、パラリンピック競技の体験イベントへの参加など、積極的にスポーツの推進活動を行っている。



蔵守
KURAMORI

株式会社蔵守



プレミアムフライデーは帰宅時に徒歩推奨&
快晴日は少し長い距離を歩きながら青空会議

プレミアムフライデーには、徒歩で帰宅することを推奨している。帰宅ルートを一気に徒歩でということではなく、今月はこの駅からこの駅まで、来月はこのルート等、被災時の帰宅路確認という防災を兼ねた取組である。
また、機密事項でない、重要度の低い話し合いなどは、少し長い距離（皇居一周等）を歩きながらの青空会議を実施しており、大きな展示会等の広い会場を長時間歩いても疲れにくくなったという声が上がっている。



CRIACAO

株式会社Criacao



サッカークラブに所属する社員の活動支援及び、
ブラインドサッカーや、皇居ラン等の実施

社員の半数がサッカークラブに所属しており、接骨院と提携することで社員が無料で診察を受けることができる体制を整えている。
また、皇居ランイベントは、元プロアスリートの方を招いて実施している。正しい走り方を学ぶことで、社員自らの生活を見直し、健康促進を図るきっかけ作りを積極的に行っている。この活動では他社様も巻き込んで実施しており、コミュニティ形成も促進している。



株式会社グリーンハウス



全社ウォーキングイベントの開催や
地域スポーツイベントへの積極的な参加

全社ウォーキングイベント「歩いて健康プラスワン」の開催や、各支社の健康推進責任者・健康推進担当者を中心に、職場体操やボウリング大会、名所を巡るウォーキングイベントなど各職場に合った運動の機会をつくり展開をしている。
また、プロサッカーチームへの継続支援とチーム主催のミニサッカー大会への参加や「糸満ハーレー」など地域スポーツイベントに参加し、社員の健康増進を図るとともに地域・社会への貢献に取り組んでいる。



株式会社グリーンハウスフーズ



ヘルスケアアプリを活用した全社ウォーキング
イベントやストレッチを実施

グループ会社が開発したヘルスケアアプリ「あすけん」を活用し、全従業員を対象に2か月間のウォーキングイベントを開催している。
また、グループ全体朝礼内や各社毎の会議中のストレッチを実施。毎月ストレッチの内容はメルマガにて配信し、各部署単位でも気軽に取り組めるように情報共有している。
10年以上に渡りプロサッカーチームの支援も行っており、スポーツを通じ部門を越えた従業員間のコミュニケーションも深めている。



マジメな未来を かたちにする
We are Team KSK

株式会社KSK



「わくわく健康プラン」で楽しみながら
心とカラダの品質向上!

自由にテーマを決めて取り組む健康活動「わくわく健康プラン」を中心に、希望者への活動量計配布、ウォーキングキャンペーン、清掃活動をしながら歩数を競うイベント等の健康を意識した生活をサポートしている。個人のみならず仲間によるチーム参加（体操、フットサル、登山等）も可能で、スポーツを通じ絆を深めることにも繋がっている。
また、ポイント制度や継続年数による段級位制度を導入し継続的な取組を支援している。



KNT-CTホールディングス株式会社



発達障害の小中学生を対象に実施する
サッカークリニックに社員がボランティアとして参加

発達に障害や課題をもつ小中学生を対象にサッカーを通じて「コミュニケーションの力を育てていく」ことを目的とした活動。当社グループの従業員が子供たちのサポート役として一緒にプレイしている。さらに、この活動が、当社グループにおけるユニバーサルマインドを持った人材育成に結果として繋がることで、パラスポーツの普及やスポーツツーリズム推進への貢献を目指している。



京王観光株式会社



社員のレクリエーション、
スポーツ活動を支援

社内で承認したクラブ活動に対して、クラブ活動補助金を支給するなど、社員のスポーツ活動を支援している。
各クラブとも定期的に活動スケジュールを組み、それぞれが自立して活動しており、クラブによっては就業後にトレーニングや練習を行うなど、運動を習慣づけられるように、健康促進を図っている。
スポーツを通じた部署間の人事交流は、社内に連帯感を生み出すことに大きく貢献している。



計機健康保険組合



万歩計歩数年間ランキング表彰、
スポーツイベントへの参加を奨励

職員に万歩計を配付し、年1回歩数年間ランキング表彰を行うほか、健康保持・増進やコミュニケーションを図るため野球大会、フットサル大会、ボウリング大会、テニス講習会、ウォーキングイベントへの参加を奨励している。



医療法人社団涓泉会 山王リハビリ・クリニック



よりよく生きるために、私達は
スポーツを推進し続けます!

社員が昼休みや帰宅前などの空いた時間で法人のフィットネスクラブを無料で使用できる体制をとっている。
また、従業員が終業後に声を掛け合いランニングを行ったり、月に2回地域の小学校の体育館で地域の方達との交流を兼ね、様々なスポーツを実践するとともに区民のスポーツ大会に参加したりしている。
そして、院長を中心に東京マラソンへチャリティーランナーとして参加を継続して行っている。



高栄警備保障株式会社



職武両道

空手道部は2019年に全日本実業団の大会で団体形団体組手の大会初のW優勝連覇を果たした。
ほかにはフットサル、野球、卓球、相撲などの部活動を行っている。



公益財団法人江東区健康スポーツ公社



スポーツ振興・健康増進を
推進していきます!

職員の健康促進・コミュニケーションアップを目的とし、毎日の歩数を集計して「東海道五十三次歩歩」を、センター対抗で行っている。

業務引継ぎのミーティングは、効率性アップのためスタンディングミーティングを実施している。

ミーティング終了後はラジオ体操を行い、リフレッシュ。



広友サービス株式会社



快眠を促す「ヨガ講座」の開催など
健康経営の実現を目指し、
「心身ともに健康」に働ける環境づくりを推進

ヨガ講座の開催やオフィスに設置した健康器具のデスクワークの合間での使用で、リフレッシュ効果による作業効率アップとともに社員の健康促進を図っている。

また、年に1度社員が健康について振り返る日を設け、講師を招いて講演などを実施している。



株式会社ゴールドウィン



私たち、ゴールドウィンのミッションである
スポーツ・ファーストを実践し、人々の健やかで
楽しい、豊かな人生へつなげていく。

創業当初より、毎朝、ラジオ体操を全従業員で実践することをはじめとし、従業員一人一人のスポーツに対するリアリティを、私たちが作る製品と、サービスにつなげ、人々が健やかで楽しい豊かな暮らしを築き上げることを目指す。

「SPORTS FIRST:スポーツファースト」によって、健常者も障害者にも、分け隔てなくスポーツを楽しむ機会が与えられる共生社会を目指し、障害者スポーツをはじめとして、様々なスポーツの支援を行い、「する人」「見る人」「支える人」の三者を等しくサポートしていく。



コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社



「Sawayaka Style」
～100才でも元気な体を目指して～

カンパニースポーツ（ラグビーとホッケー）や障害者アスリート社員の応援を通じて、スポーツにふれる機会を提供している。

また、コカ・コーラ社の公式スマートフォンアプリ「Coke ON」を活用した全従業員対象のウォーキングイベント開催し、自ら運動する習慣を提供する等、健康的なライフスタイルを醸成している。



広友物産株式会社



昇降デスクの採用やサッカー観戦会の
開催など健康経営の実現を目指し、
「心身ともに健康」に働ける環境づくりを推進

昇降デスクを採用してリフレッシュ効果による作業効率のアップとともに座りすぎによる健康被害を防止など社員の健康を維持している。

また、会社が協賛する大分トリニータのアウェイ戦（関東地区）が開催される際に、社員とその家族などによる観戦会を企画してスポーツへの参画意欲の増進を図っている。



株式会社光和



トップアスリートの雇用と競技活動支援
社内スポーツ活動の支援を通じた社員間、
企業間交流の推進

アスナビを通じて新体操及び女子アイスホッケー競技のトップアスリートを雇用し、アスリートが安心、安定して競技活動にうちこめるようにアスリートを支援するとともに、所属アスリートを応援することにより社内の一体感を醸成している。

また、社内のスポーツサークル活動を奨励し、活動費用をサポートすることにより社員の健康増進と社員間の交流を深め社内コミュニケーションの向上を図っている。さらに、社外チームとの交流も積極的に行い会社を超えた交流促進を行っている。



国際ソフトウェア株式会社



楽しく歩く事を習慣づけるため
歩け歩け大会を実施

社員とOBで「歩け歩け大会」を実施。健康診断の特定の項目でC判定以下の社員には特に参加を促し、健康の向上に役立てている。開催毎に趣向を凝らした企画を考え、運動習慣の定着化に繋げている。

医療法人社団 ころとからだの



医療法人社団 ころとからだの元氣プラザ



ボウリング大会や歩行奨励及び休憩室への
ストレッチ器具設置を通し、健康増進を支援

階段昇降や歩行の奨励、休憩室へのストレッチ器具の設置などを通して、日々実践できる運動施策を中心に多くの職員が参加している。

また、各種団体が主催するウォーキングイベント、ヨガ教室などへも積極的な参加を促している。

コナミスポーツ株式会社



アスリートの社員雇用と競技部の運営、
選手の運動教室参加等によるスポーツ振興貢献

社内に体操競技部と水泳競技部を設立して以来、世界で活躍する選手の育成・輩出を目指し、選手のサポート、競技活動と就労の両立を可能にする環境の整備を進めてきた。選手は、コナミスポーツクラブの各種活動への参画、外部での講演等を通し、スポーツ人口のすそ野を広げる活動を続けている。また、引退した選手を引き続き社員として雇用し、自らの経験を生かして、次世代の選手育成や子供たちの指導に携わる環境を整えている。

コニカミノルタ株式会社



「健康のバトンを未来へつなぐ!!」
ウォーキングイベントや運動セミナーを通じて

健康経営を基軸に年間を通してウォーキングイベント（個人戦、チーム戦）を実施し、平行して運動セミナーや体感型健康測定会（体成分など）を開催している。さらに、外部ウォーキングイベントや提携スポーツ施設の活用推奨などを行い、従業員とその家族の自律的かつ継続的運動習慣の改善につなげている。

サーチファーム・ジャパン株式会社



役職員全員参加でラジオ体操を実施するほか、
アスリート社員の雇用及び競技活動支援を実施

社内にて朝礼時に役職員全員参加でラジオ体操を実施し、社員の健康意識や活力向上を推進している。また、オリンピック・ワールドマスターズゲームズを目指すコンドー選手をアスリート社員として雇用している。選手の成績や取組の状況に応じて大会参加費や遠征費を補助するなど競技活動を支援している。勤務体系も現役選手の間は競技活動を優先とし、仕事と競技の両立を応援している。大会の際には社内にて報告を行い、社員の競技に対しての理解を深めている。

サイショウ.エクスプレス株式会社



社内健康イベント実施!パーソナルトレー
ニング講習会や倉庫でヨガイベント実施

2カ月に一度、社内健康イベントを実施。世間では高齢者ドライバー事故が多くメディアに取り上げられているが、弊社は運転寿命を延伸し、いつまでも健康で運転できるドライバーを育成している。パーソナルトレーナーを招き座学とトレーニング方法を学んだ。また、ヨガでは倉庫の空いているスペースを活用しSAISHO SOCO YOGA イベントを実施している。

株式会社コロプラ



パラアスリートの雇用とその応援・交流活動
及び社内での運動施策と部活動推進

2018年より3名のパラアスリートを雇用し、練習内容や試合結果の情報共有、社員参加型の応援活動、報告会やファミリーデーへの参加など、社員との交流活動を実施。アスリートを交えて、ラジオ体操やストレッチ等の社内運動施策を行うことで、社員の心身面での健康支援も支援。また、社員間のコミュニケーション活性化や定期的な運動実施を目的とした部活動制度を導入し、部員あたり月1,000円の補助を行っている。

株式会社KOMPEITO



アスリートの雇用やY.S.C.C横浜スポンサー
契約のほか、社内ラジオ体操等を実施

Fリーグ「Y.S.C.C 横浜」のプロフットサル選手や、ロードレーサー（自転車競技）などのアスリートを社員やアルバイトとして雇用している。また、「Y.S.C.C 横浜」とスポンサー契約を結び応援している。そのほか、フットサルの試合観戦や企業対抗戦への参加、社内でのラジオ体操実施、自転車通勤の推奨などを通して継続的な運動習慣の推進に取り組んでいる。

サトーホールディングス株式会社



数値入り健康目標と健康増進アクション手当!
サトーグループは全員参画型で健康度向上!

毎年、社員に数値入り健康目標の提出を条件に、健康管理・健康増進を行うための費用の一部として、月々2,000円の「健康増進アクション手当」を支給している。また、拠点・部門ごとの健康増進活動とともに、個人の多様なスポーツ活動内容もインタラクティブサイトにアップできる。さらに、春夏の全国規模のウォーキングイベントも4年目を迎え、参加率も15%以上となり、2020年度までに運動習慣者率40%以上を目指しており、ウォーキング等のスポーツ機会を契機に運動習慣者率は年々向上している。40年以上続く運動会も全国3大拠点にて継続実施中。

株式会社佐沼建築システムデザイン



フットサルサークルを通じて健康経営の体言化
取引先との交流試合を行い、相乗効果

定期的に部員が集まりストレッチから始まり、全身運動を意識した練習を行っている。練習後は紅白戦を行い、フットサル自体も楽しんでいる。また、年間数回ではあるが取引先との交流試合を行っている。フットサルというスポーツを通じて、取引先とのコミュニケーションを図りつつ日々の運動不足解消の場として活用している。

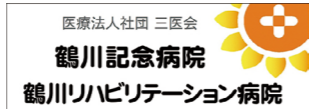


株式会社サンアメニティ



市民マラソン等、社員の地域スポーツイベントへの参加を推奨

社員の勤務あるいは居住している地域のスポーツイベント（マラソン、トライアスロン等）や自治体主催の大会への、参加者やボランティアスタッフとしての自発的で積極的な参加を推奨している。また、その活動状況のほか日々のラジオ体操やウォーキングといった地道な活動の様子を社内ネットワークを通じて情報共有することにより、社員自らの健康増進の意識を高め、個人や集団としてのスポーツ振興に努めている。



医療法人社団 三医会



職員間でのコミュニケーション活性化だけでなく地域との交流を促進するため活動を推進している。

健康促進のため最寄りの駅から徒歩又は自転車での通勤を進めている。
地域のコートや体育館を借りて職員のストレス発散、コミュニケーションの促進を行っている。
運動教室・ランイベントなどを通して医療だけではなく地域との交流を促進に努めている。



株式会社CAC Holdings



ボッチャの普及とその魅力を伝える活動を、グループを挙げて様々な角度から企画・実施

ボッチャ用具の寄贈、都内特別支援学校を招いての交流戦開催、ボール間の距離を自動測定するアプリ「ボッチャメジャー」の開発と無料配信、ボッチャトップアスリートの雇用と競技活動支援など、ボッチャ普及活動を様々な角度からグループ社員で企画・実施している。
また、本格ボッチャコートも2019年夏より社内に常設。社内利用はもちろん、アスリートらの練習や任意団体・個人のレクリエーション向けに、外部への貸出も行っている。



株式会社GFF



就業開始時にストレッチ・ラジオ体操・筋力トレーニングの実施や階段利用の促進

各工場にウェルネスリーダーを選任し、健康増進や体力向上などを図るとともに、TOP自ら朝の体操などを実施することで、会社全体に浸透をしている。
また、オフィス内の移動は原則階段利用を促進している。
就業時間以外にも社内の仲間とスポーツを行い健康の保持増進を行っている。



サンシン電気株式会社

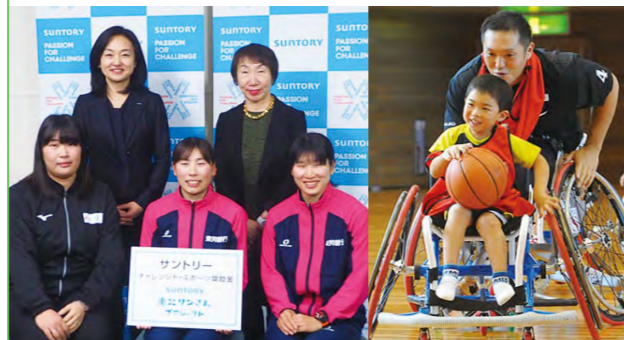


毎月プロトレーナーによる「健康筋力養成コース」を開講するほか、身近な運動として階段利用を推進

毎月1回、プロトレーナーによる「健康筋力養成コース」を会社負担で実施。日頃感じている運動不足や肩こりや冷え性などの不調を、プロトレーナーに指導頂くことで解消・改善に繋げ、自身の体を慈しむことを習慣化することを目的としている。
また、自社ビル内では、顧客と一緒にの時は、原則、全社員のエレベーターの利用を禁止し、階段を利用してあり、身近なところから運動を取り入れるようにしている。日常生活の中でも、駅などではエスカレーターやエレベーターを利用せず、階段を利用することを推奨し、実践している。



サントリーホールディングス株式会社



チャレンジド・スポーツ（障害者スポーツ）への支援活動

サントリーは「PASSION FOR CHALLENGE-ともに夢に挑もう-」を本活動の合言葉とし、障害を乗り越え、自らの限界に挑戦するアスリートたちに寄り添い、応援していきたい、という思いから、2014年より活動を展開。アスリート・競技団体への奨励金サポート、チャレンジド・スポーツを親子で体験できるイベントや小中学校での車いすバスケットボール体験教室など、「チャレンジド・スポーツ」の魅力を伝え、競技の裾野を広げる活動に取り組んでいる。



JKホールディングス株式会社



クラブ活動の支援や各種社内活動を通じ社員の健康増進に取り組む

社内スポーツ活動（フットサル、野球、ヨット、ゴルフ部）に対する支援、徒歩通勤・スタンディングミーティング・階段利用の推奨等を通じ、社員の健康増進に積極的に取り組むとともに、社外に対しては東京六大学ヨット部秋季定期戦（JKHDカップ）を協賛し、スポーツを通じた学生間の交流の機会を提供している。



株式会社ジェイック



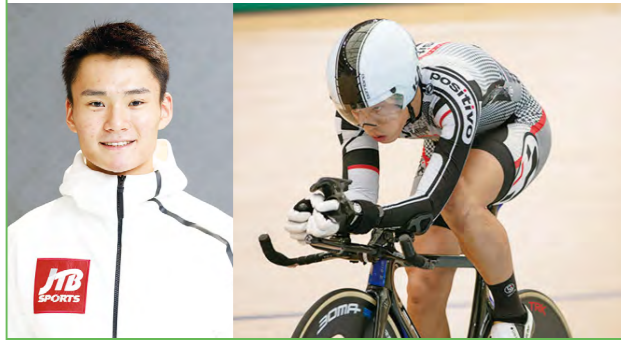
クラブ活動や全社員でのスポーツ大会の実施

マラソン、フットサル、バスケット、野球など複数のクラブ活動を行っている。これらの活動は、社内メールや社内SNSなどで社員自身が発信・募集を行い、また会社としても、代表や役員などの役職の社員が全社にその取組について発信・発言をすることで、本活動がより活性化している。
また、社員旅行では、チーム分けをして全社員でスポーツ大会をするなど、スポーツを通して部署や役職を超えたコミュニケーションを図り、一体感の醸成に努めている。



感動のそばに、いつも。

株式会社JTB



アスリートの雇用や支援等を通じた
スポーツ界への貢献

フェンシング男子フルール日本代表の松山恭助選手とのスポンサー契約・パラサイクリングの障害者アスリート小池岳太をグループ会社で雇用するなど、日々スポーツ界への貢献に取り組んでいる。



株式会社JPホールディングス 東京本部



社員の健康増進、アスリートの雇用と
活動支援及びスポーツを通じた子育て支援

社員の健康増進として、朝夕のラジオ体操、フィットネススクラブの利用促進、スポーツを楽しむ部活動支援などを実施している。また、グループ企業で陸上7種競技のアテネ五輪日本代表選手やアルペンスキーの選手を雇用し、国際大会への派遣や社員参加の応援ツアー開催など、アスリート活動の支援をするとともに、子供向けイベントへ所属選手を派遣してスポーツを通じた子育て支援活動を行っている。



株式会社じげん



気分転換にオフィスでスポーツ推進、
休日は大会参加や部活動支援

「わくらぶ」という制度では、社員の心身のリフレッシュを目的としたクラブの活動費を支援。好きなスポーツで仲間と共に汗を流すことで、主体的に運動に取り組むことができる。現在は、ゴルフ、サバゲーなどの運動部が積極的に活動を行っており、今年はゴルフ部初の合宿も実施した。



STEAM Sports Lab.

株式会社STEAM Sports Laboratory



スポーツを通じて生きる力を

アスリートのセカンドキャリアサポートとして、ラグビー7人制元日本代表石川安彦選手を雇用している。



ジェイレックス・コーポレーション株式会社



スポーツ研修の実施や大会への参加のほか、
アスリートのセカンドキャリア支援を実施

「ザ・コーポレートゲームズ 東京 2019 アジアパシフィック」への協賛。従業員から希望者を募り、各種競技に参加した。参加競技は「ソフトボール」「リレーマラソン」「卓球」「綱引き」であり、多くの従業員が参加した。



株式会社識学



Bリーグのスポンサーと
スポーツジムの利用促進

Bリーグ「西宮ストークス」のスポンサーを行っている。また、全従業員を対象にスポーツジム利用の福利厚生を導入している。



株式会社ジップス



障害者向けインラインスケート教室の開催
及びオフィスヨガレッスンの実施

知的障害、発達障害、ダウン症の子供を中心にインラインスケートの教室を開催している。また、社員が集まる全社会議の場で、オフィスヨガレッスンを実施。オフィスチェア周りで出来るストレッチを行い、身体の凝り・浮腫みの改善を図っている。

子どもたちに誇れるしごとを。



清水建設株式会社



インクルーシブな社会の実現を目指し
障害者スポーツの普及活動を推進

障害の有無にかかわらず、スポーツは誰にでも楽しめることを伝えるため、子供向けの「障害者スポーツ体験会」を全国各地で開催している。また、障害者スポーツの一つであるボッチャを気軽に楽しむことができるデジタル競技システム「CYBER BOCCIA S」の開発にも協力している。



株式会社シモン



スポーツ補助金支給制度の実施

健康経営の一環としてスポーツ活動をした社員に対してスポーツ補助金を支給する制度を設けている。これまでに、駅伝大会への出場・フットサル・ゴルフコンペなど様々なスポーツイベントを開催している。社員のスポーツ活動を支援するとともに社員間のコミュニケーションの場にもなっている。



株式会社JALUX



スポーツイベントの参加・隙間時間ストレッチ・階段利用を推奨し、健康増進を推進

5時間リレーマラソンに参加するなど、スポーツを通じて社員の健康維持を図るとともに、社員同士のコミュニケーション促進を推奨している。グループ企業とのフットサルやテニス大会、取引先主催の駅伝大会にも積極的に参加し、スポーツを通して良好な関係を構築している。社員の運動機会増進として隙間時間でのストレッチや階段利用の推奨を行い、活力や生産性向上による組織の活性化を図っている。



JAPAN AIRLINES

株式会社JALナビア



JAL Wellnessに基づく各事業所での社員主導による運動促進イベントの推進

各事業所に所属する Wellness リーダーを推進役に運動促進イベントを企画・運営し、社員の健康増進に努めている。今までには JAL グループで推奨している「本気のラジオ体操」をはじめ、「ヨガ教室」「ランニング」「太極拳」「運動会」「筋力トレーニング」等の様々な企画を実施してきた。ヨガ教室においては過去に JAL グループで取組んでいる JAL Wellness から「JW Award」の優秀賞を受賞した。



株式会社ジャルパック



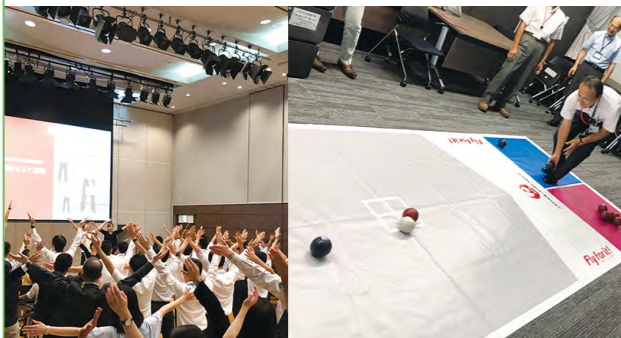
お客さまに喜んで頂ける「旅(たび)」の提供は、まず社員自身のスポーツによる健康づくりから

全社員対象のラジオ体操教室、及び毎月の全社朝礼時のラジオ体操、希望者対象の椅子ヨガ教室、ポッチャ大会等を実施している。また、近くのフロアへの階段の利用、立席会議、社内部活動も推進し、スポーツを身近に感じるとともに、無理せず出来るところから実践し、社員の健康リテラシー向上を推進している。オフィスでは今日も業務の合間に、多数の社員がストレッチや階段ウォーキングを実践している。



JAPAN AIRLINES

株式会社JALサンライト



各職場のwellnessリーダーを中心に職場の課題に沿ったスポーツを推進

本気のラジオ体操、チャリティーウォーキング、ポッチャ大会など、職場の wellness リーダーを中心に健康活動を実施している。参加しやすいイベントを開催し、スポーツを身近に感じ、楽しんで健康づくりに取組んでいる。健康づくりに取組むことにより、JALサンライトに集う社員一人ひとりが元気に生き活きと活躍し、豊かな人生を実現する。



JAPAN AIRLINES

株式会社JALスカイ

株式会社JALスカイ



JAL直伝「本気の!ラジオ体操」などを取り入れて社員の健康を推進。

職場単位での「本気の!ラジオ体操」やヨガセミナー、ウォーキングなどを通して社員がスポーツに触れる機会を積極的に企画・開催することで、航空機の運航にあわせたシフト勤務が多い中でも、社員がいつも健康で笑顔あふれる職場作りを推進している。



出版健康保険組合



スポーツ大会等の実施と、スポーツ環境の提供

野球、テニス、バレーボール、卓球、バスケットボール、ロードレースや、運動会、ウォーキング等の大会を毎年実施するほか、他のスポーツイベントに参加した費用の補助を行っている。また、スポーツクラブと契約し、身近にスポーツができる環境作りを行っている。さらに、自前のスポーツ施設である体育館と野球場、テニスコートについて、都民の利用に供している。



首都大学東京

公立大学法人首都大学東京



スポーツ・パラスポーツの普及及び理解促進

スポーツ・パラスポーツの普及、ボランティアによる地域貢献等として、学生及び教職員はもちろん、広く都民に対して大学の施設を活用したイベント(パラスポーツ体験イベント、ポッチャ教室、スポーツボランティア育成のためのプログラム、地域の青少年育成のためのサッカー大会)を実施している。



株式会社ジュピターテレコム



健康でいきいきと活躍できる会社を目指し、従業員の運動習慣定着にむけた取組を実施

健康運動指導士の監修による「オフィスで3分ストレッチ」動画の自社制作や、歩数計アプリを用いたウォーキングコンペの実施により、従業員が自立的に楽しめる運動機会を提供している。

また、拠点対抗のフットサル大会・野球大会を開催することにより、運動促進だけでなく社内のコミュニケーション活性化にも注力している。



城北信用金庫

城北信用金庫



講演会・運動教室を通じた地域のスポーツ振興支援

競技種目や活動拠点の異なるアスリート職員たちが、ひとつのチームとして活動し、地元小中学校で講演会や運動教室を行うなど地域社会とのコミュニケーションを深めている。所属選手が出場する競技会には、ほかの選手が各部署を回って応援参加者を募り、当日も応援参加者に競技ルールの説明を行うなど、金庫としても一体感が醸成されるよう図っている。

Xincor miXell Co., Ltd.
XON Holistic Matrix Group



株式会社シンカーミクセル



社員向けスポーツ企画の実施
グループ会社も巻き込んだ東京マラソンへの参加・応援

月1～2回程度のスポーツイベントを開催している。フットサルやヨガなどの定期開催の種目に加え、卓球、スケート、テニス、バスケットボールやウォーキング大会など、様々な種目のイベントを都度企画している。また、東京マラソンにグループ会社も巻き込んだ社内的一大イベントとして参加し、社内宣伝など応援体制を組んで盛り上げている。



信号器材株式会社 東京本社



卓球教室の実施

日本卓球リーグに参戦している。また、地域貢献活動として卓球教室を開催している。



株式会社叙々苑



社員スポーツ活動の推奨とスポーツを通じた社会貢献活動

軟式野球部やバレーボール部、駅伝部などの社員部活動の活動費を会社で補助し運営をサポート。

また、大学スポーツの運営の支援ならびに大学生の就職相談等の学生サポートを行っている。



SHIRO GYM



イスを使用した筋力トレーニング・整体ストレッチを世田谷区や企業さん向けに活動支援

【イスと一定のスペースがあればどこでも行える運動】をコンセプトに座る sit 動く aerobics を掛け合わせた SITbics. (シットビクス) を企業、イベント向けに実施している。ハードワークで体を壊してしまった経験から体を動かす機会を提供したいと活動している。イスに座るだけでなく、道具として使用することにより、座位運動のイメージを覆すような筋力トレーニング、整体ストレッチ 300 以上のアレンジプランを用意しており、社員も実践している。

また、運動不足の場合は、会社の階段を3往復してから出社している。



新東京カイロプラクティック協同組合



姿勢と体の知識、運動の大切さを伝え、ケガなく運動を楽しむための知恵・姿勢教育を提供

地域のイベントで姿勢チェックの実施、姿勢のワークショップ開催を通じ、およそ 1,000 名におよぶ市民に姿勢のゆがみと運動と姿勢の関係について知り、自らの体に興味をもつ機会を提供した。幼稚園、小中学校、公共施設での姿勢の授業や学校保健委員会、その他講座での講演に年間 10 回以上、講師を派遣した。一般的に行われている運動や体の使い方の問題点、誤った情報による健康被害を予防するため、体の知識、運動の基本などの姿勢教育の普及を行っている。

svenson HOLDINGS

株式会社スヴェンソンホールディングス



卓球関連イベントの開催・協賛・選手支援

日本卓球協会とオフィシャルサプライヤー契約を締結し、卓球男子日本代表・パラ卓球男女日本代表へのウェア提供を実施。日本代表 丹羽孝希選手・パラ卓球日本代表 茶田ゆきみ選手と所属契約。パラ卓球日本代表選手に対し練習場の提供・育成指導を行い、遠征や合宿にコーチとして同行。高齢者や身体に障害のある方向けのプレー方法の提案や健康卓球イベントを定期的に開催し、幅広い世代に卓球を浸透させる取組を実施。



有限会社すこやか



春と秋の運動会の実施

働き方検討委員会が健康推進委員を兼ね、春と秋の運動会を企画している。年度により、バドミントン、卓球、ボーリング等種目を決めているが、特に秋の事業所対抗運動会では、親子で参加し盛り上がっている。



株式会社スタートライン



車いすテニスプレイヤー高室冴綺の 雇用と全社をあげての応援

車いすテニスプレイヤーの高室冴綺を雇用している。海外遠征が多いため、活躍や日々の取組を社内 SNS を通じて応援している。彼女からは、自身が世界大会で体験していることを社内に共有している。帰国時には海外での土産話や次大会への抱負など社内外で話し、より多くの方に応援してもらえるよう取り組んでいる。



株式会社スポーツインダストリー



ゴルフを中心としたスポーツイベント会社 らしい、ゴルフコンペやスポーツ活動を推進

分科会的なゴルフコンペは多数開催しているが、年末に開催されるゴルフコンペは、マネジメントしているプロゴルファーも参加する年一度の社内ビッグイベント。スポーツのイベント会社ならではの楽しくそして真剣勝負が繰り広げられている。また、ゴルフだけでなく常に会社をあげて社員のスポーツ活動を推進する環境が整っている。



スポーツコミュニティ株式会社 東京支社



社内のスポーツ活動の奨励や 活動に対する補助金の支給

スポーツに関わる部活動に対する推進を、毎日の朝礼や毎週の全体会議で促進するほか、毎月の月例会議等においては、活動報告などを行い部員募集や互いの内容を共有することによって、運営の相互協力やコラボレーションを図っている。また、活動計画の立案やそれに基づいた運営を促進しており、活動内容に応じて会社からの運営費を支給している。5人以上のメンバー活動における活動に対して、最大1万円/1回を補助。1グループ年間6回までを上限とし、今年度は14万円を支給。年々活動種目とグループ数が増え、活動が活発になっている。



株式会社スタイル・エッジ



スポーツサークル制度への支援及び スポーツイベント実施等による運動機会の増進

ヨガ、ゴルフ、フットサル等の従業員が行うスポーツサークル活動の必要経費を会社が一部負担している。また、スポーツイベントも実施。運動不足解消のみならず、従業員同士のコミュニケーションの活性化にも寄与している。さらに、社内掲示板を通じて毎月第3火曜日に「健康と運動をテーマにした情報」を発信することで運動機会の増進に努めている。



株式会社スパイス



オフィスに、バランスをとって、良い姿勢を 意識できる椅子「ジェリーフィッシュチェア」を導入

社員のイスに「ジェリーフィッシュチェア」を導入している。このイスに座ってバランスをとろうとすると、無意識に普段使わない筋肉を使い自然に腹筋・背筋を鍛えられる要素がある。また、バランスをとろうとすることで自然に正しい姿勢に導かれる。楽しい座り心地なので無理なく継続できる。



株式会社スポーツビズ



社員スポーツ活動に対する支援

社内スポーツ活動促進制度（テニス・フットサル・ゴルフ等）を実施している。発起人が全社員へメールで開催日時や内容を告知して、都度参加者を募集し、また毎週の全社朝礼で参加を呼び掛けるほか、各部署の責任者は部員ができる限り参加できるように業務の調整を心がけるなど、社員のスポーツ活動を支援している。



株式会社スポーツフィールド



全社員運動会の実施及び、 アスリートの雇用

自社社員の9割以上が体育会出身のスポーツフィールドでは、毎年、入社式後に全社員での運動会を実施。事業部、エリア、年齢や役職の壁を越えて交流を図り、社内理解を深めるとともに、チームワークやスポーツの素晴らしさを感じるイベントとなっている。また、現役パラリンピック選手を中心に、デュアルキャリアアスリート（スポーツと仕事の両立）として活躍する社員が在籍している。



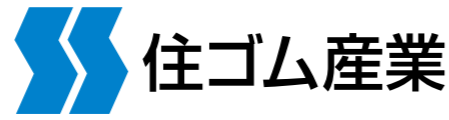
株式会社スマートスポーツエンターテインメント



地域のスポーツ支援活動、
スポーツ大会・イベントへの参加

地元の板橋区の小学校などを始め、アスリートによるスポーツ教室、クリニックを開催するなど、アスリートやスポーツの専門会社のノウハウを生かして、地域のスポーツを支援する活動を行う。

また、スタッフや取引先とともにランニングやフットサル、ヨガなどのスポーツイベントに参加したり、スポーツ観戦会を開催したり、スポーツ業界の活性化に向けて業界内の交流会を定期開催している。



株式会社住ゴム産業



社員はもとより、家族・友人・関連会社も
巻き込んだのスポーツイベントを実施

社員・家族、友人や関連企業の方々をも交えてスポーツイベントを実施している。種目はボウリング、ソフトボール、キックベース、ハイキング、ゴルフ、マラソンなど多岐に及んでいる。

このような取組を通じて、健康増進、スポーツ推進、さらにはコミュニケーションの活性化を図り、より良い企業風土づくりを進めている。



医療法人社団 せいおう会 鷺谷健診センター

医療法人社団せいおう会



「社員」の健康、健全な組織に基づいた
健診サービスの提供

「社員」が最も大切な経営基盤であると考え、「社員」の健康保持、増進を戦略的経営課題の一つとして位置づけた。

費用は会社で負担しており、皇居ランを初め、登山やボウリング大会等、年2回以上の運動イベントを実施し、社員の健康保持・増進を推進している。

信頼される安心を、社会へ。



セコム株式会社



各種スポーツ競技への協賛、
社員のスポーツ活動に対する支援

箱根駅伝、東京マラソンなどの長距離競技への協賛と、ラグビー男子日本代表、ラグビー女子日本代表、スーパーラグビー「サンウルブズ」への協賛など幅広く支援を行っている。

また、社員で構成しているラグビー部「セコムラグッツ」を運営し、ラグビー部によるラグビー教室の開催等、競技の普及にも取組んでいる。

あなたの未来を強くする



住友生命保険相互会社



ウォーキングイベントの継続実施と
「parkrun」参加やスニーカー通勤の推奨

各部署でチームを作り平均歩数を競い合うウォーキングイベントを年2回2週間程度で継続実施している。スマホアプリ健康増進サービス「KenCoM」を導入し、みんなの歩数を共有することで励ましあいながら楽しく取組むほか、スニーカー通勤も推奨している。

また、毎土曜朝、公園等で開催中の5キロのウォーキングジョギング・ランニング・ボランティアができる参加費無料イベント「parkrun(パークラン)」に協賛し、参加を推奨している。



住友不動産エスフォルタ株式会社



アスリート社員に対する活動支援の実施
マスターズ水泳大会参加支援制度の実施

アスリート社員に対しては、競技成績や取組に応じて、大会参加費や遠征費の補助を実施している。

勤務シフトの調整や担当業務の分担を工夫することで、練習機会の確保と大会参加を促進しており、お客様や若手社員のロールモデルにもなるため、支援制度を設けている。

信頼される安心を、社会へ。



セコム医療システム株式会社



アプリによる健康チャレンジキャンペーン
医師の健康ミニ講座による職員の健康支援

社員の運動促進・健康支援として、健康管理アプリを用いた「健康チャレンジキャンペーン」を開催し、「歩数」と「健康スコア」をチーム間で競い合い、上位チームを表彰するほか、3か月に1回、昼休み終了後、医師による「健康ミニ講座」を開催し、講義や瞑想、体操を実施している。加えて、年1~3回、ボウリング大会やゴルフ大会などを開催している。

また、職場環境の改善のため、立ち会議机を設置し、階段昇降時の消費カロリーを階段へ表示している。



ゼット株式会社



社員のクラブ活動を支援・全国レベルの
スポーツ大会に出場した社員、家族を表彰

社員のクラブ活動（野球部、アウトドアクラブ等）に対して補助金を支給し、その活動を支援している。

また、全国レベルのスポーツ大会に社員やその家族が出場した場合、企業理念のもとに表彰している。

さらに、日常においてはスニーカーデーの実施や階段利用の促進し、労使共催でボウリング大会を開催するなど社員の健康促進にも注力している。

zetton®

株式会社ゼットン



地域別のスポーツイベントの企画・参加や、社員の健康づくりをサポート

毎年、外食駅伝（東京）など、社外スポーツイベントに参加。特に外食駅伝では6回連続で、企画実行企業の一員として参画し、不健康と思われがちな外食のイメージアップに努めている。

また、社内 SNS を利用し、エリア・店舗・役職・部署等の枠を超え、社員それぞれが部活を立ち上げ、ライフスタイルの充実や健康的な生活を送ることを目的とした活動を行っている。

Cedyna

株式会社セディナ



健康経営の推進を掲げ、ウォーキングやラジオ体操の実施による運動習慣の定着を支援!

健康づくり支援アプリを活用し、10,000歩につき5円を東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会へ寄付を行う「社会貢献型チャリティーウォーク」や、始業前の館内放送に合わせて全身運動を行い、体と頭を活性化させるラジオ体操を実施している。

また、SMBCグループ会社が主催するランニングイベント（東京・大阪・名古屋）への参加を推奨するなどを通して、従業員の運動習慣の定着やスポーツを通じた健康づくりを支援している。

セブン銀行

株式会社セブン銀行



駅伝大会への参加を通じてインナーコミュニケーションの強化と健康促進

インナーコミュニケーションの強化、健康促進を目的として駅伝大会に毎年参加している。チーム、仲間と声をかけあって練習会等を実施し、親睦を深めている。

また、当社が協賛している読み聞かせ絵本「森の戦士ボノロン」のキャラクターが描かれたTシャツを毎年制作し、社員全員で着用することにより、一体感をもって駅伝に出場している。

セレスポ

株式会社セレスポ



「する・観る・支える」角度からのスポーツ推進

「する」社内クラブ活動の支援制度の導入、「観る」陸上部所属選手の大会応援、「支える」スポーツ大会へのボランティア参加。

これらのさまざまな角度からの推進に加え、見識を深めるきっかけとして、定期的にパラスポーツ体験会や啓発セミナーを開催している。

General Partners

株式会社ゼネラルパートナーズ



アスリート採用、障害者スポーツ団体への協賛、従業員のスポーツ関連支出の助成金制度

障害者アスリートの雇用支援事業を行うとともに、自社の社員のトレーニングや大会出場を支援している(2019年度は3名が国体出場)。

また、障害者スポーツ団体（日本障がい者サッカー連盟など）に協賛し、活動を支援している。

協賛団体主催のスポーツイベントには、従業員が積極的に参加するとともに、従業員やその家族のスポーツ習慣促進のため、施設利用料などのスポーツ関連費の支出をサポートする助成金制度を導入している。

守りの名手 セノン

株式会社セノン



社員の心身の健康増進と地域スポーツ振興の両立

社員の健康維持を目的として、業務中のラジオ体操や会社公認の部活動の支援（野球部・剣道部）、支社対抗野球大会やボウリング大会を実施している。

また、地域のスポーツ振興を目的として、元プロスポーツ選手を雇用し、スポーツ少年団に無償でコーチング活動や弊社と杉並区にて協定を結び、スポーツ振興・健康づくりに関する活動で協働する。

ZERO-i

株式会社ゼロイニシャライズ



身体の本来の状態(ゼロ)に戻す事をベースとした理論。コンディショニングマシンをして楽しくスポーツしましょう。

本社がショールームになっている事から従業員全員が毎日コンディショニングを行い、身体のケアを行っている。

ZERO-i コンディショニングマシンは多くのアスリートにコンディショニングサポート器具として無償で提供している。

CERRO TORRE

セロトーレ株式会社



朝スイムでスイッチ・オン。仕事の後はランでクールダウン

スポーツを手掛ける企業として社員自身がスポーツを楽しめるよう、スポーツ大会・スポーツクラブ・スポーツ用品購入を補助。その経験は、自社運営のトライアスロン大会やランニングイベントなどへ活かされ、スポーツを楽しむ市民の輪を広げている。



セントラルスポーツ株式会社



社会貢献活動

子供たちの命を守る「着衣水泳教室」の実施

夏期は子供たちが海やプールを訪れる機会が多くなると同時に、水難事故が起こる可能性も高くなる。着衣水泳を一度経験することで、水難事故の際の生存率を高められるという考えのもと、社会貢献活動の一環として毎年夏季に子供たちの命を守るための「着衣水泳教室」を実施している。



セントラル警備保障株式会社



社員の健康維持、増進を図るため スポーツ活動を支援

全社対抗のボウリング大会や野球大会を開催して、社員同士の融和を図っている。
また、剣道、柔道等への部活動支援や、ザ・コーポレートゲームズ東京等のスポーツイベントへの社員参加支援を行っている。
さらに、日常では毎日15時からラジオ体操で心身のリフレッシュを行っている。



双信商事株式会社



全社員参加による湘南藤沢市民マラソン出場と 社内スポーツイベントの開催

毎年、湘南藤沢市民マラソン（10マイル走）に全社員と同家族や取引先有志を呼び込んで出場し、レース後は親睦を深め自前の表彰式を実施している。
また、健康増進、スポーツを楽しむための社内ゴルフ大会を開催し、日頃のスポーツトレーニング活用に提携スポーツ施設の利用を推奨し、利用費補助の支援をしている。



ソフトバンク株式会社



「健康経営」を掲げ社員へ運動機会を提供、 社外に向けてパラスポーツの魅力を発信

社内では社員の健康意識向上と運動の習慣化を目指し、内製の朝ヨガ教室やパーソナルトレーナーによる参加型セミナーを開催している。
また、すきま時間でできる「ながら運動」や「ストレッチ」の動画を配信している。
さらに、社外ではパラスポーツの支援活動を推進しており、障害者アスリートの社員が外部講演を行っているほか、パラスポーツの理解推進を目指して活動するTEAM BEYONDの趣旨に賛同し活動や発信を行っている。



全日本空輸株式会社



グループ独自に制作した「ANAグループ体操」の実践と 努力・挑戦し続けるアスリートの応援

心身ともに健やかな社員の笑顔がお客様に満足いただけるサービスにつながるの信念の下に社員の健康推進に取り組んでいる。
運動習慣の定着に向け、いつでも手軽に楽しく運動を続けられるようANAグループオリジナルの体操を制作し、始業時や会議の合間、スポーツイベント等、様々な場面で体操を実施している。
また、スポーツの楽しさを伝えるため、アスリート社員が子供たちにスポーツ教室・航空教室を開催した。

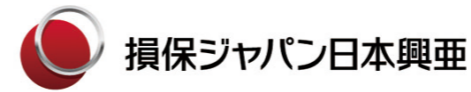


株式会社ゼンリン



社員の一体感醸成及び社会貢献のための スポーツ活動の支援

陸上競技部の選手を雇用するなどの支援活動を行っているほか、本社所在地の北九州活性化の一助として、プロサッカーチーム「ギラヴァンツ北九州」のスポンサードを行っている。
また、当社の所属選手が出場する試合の観戦や、協賛する大会・イベントへの参加を通じて、社員の一体感醸成を図っている。

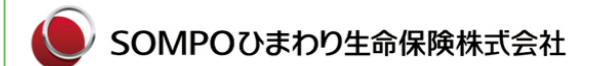


損害保険ジャパン日本興亜株式会社



社内外のスポーツ支援～各種スポーツへの 協賛・イベント活動記録の情報発信～

日本ホッケー協会とのトップパートナー契約や、小学生を対象としたスポーツイベントである「SOMPOボールゲームフェスタ」への冠協賛などの各種協賛を通じて、スポーツ界への支援や、スポーツ普及、健康増進に向けた取組を行っている。
また、公式Facebookを活用した社内部活動の取組を積極的に情報発信するなど、社内外問わずスポーツ普及の促進をしている。



SOMPOひまわり生命保険株式会社



健康応援企業としての社内外の取組

ウェアラブル端末を活用した部門間のウォーキング対抗戦やクアアルト（ドイツ語で療養地の意味）プログラムの導入により健康経営を推進している。
また、社外に対しては、ランニングを通じて移植医療の啓蒙活動に取組むグリーンリボンランニングフェスティバルの参加や障害者スポーツの普及・発展に向けた活動を応援するために障害者カヌー・パラサイクリングへの協賛も行っている。
さらに、お散歩アプリの提供を行っている。



ダイヤモンドヘッド株式会社



社員のスポーツ大会・イベントへの参加支援
及びプロスポーツチームへの活動支援

社内フットサルチームの大会参加や各種マラソン大会への参加など、社内クラブ活動を積極的に支援し健康増進を図っている。

また、サッカーJ1リーグ所属「北海道コンサドーレ札幌」のオフィシャルトップパートナーとして、スポーツの振興に貢献。試合には、社員とその家族や友人なども参加し観戦しており、会社ぐるみで応援している。

一生のパートナー
第一生命

Dai-ichi Life Group

第一生命保険株式会社

健康
第一



「健康第一」アプリで健康づくり！
社員一人ひとりがQOL向上の実現に取り組んでいる。

健康保険組合とのコラボヘルスを推進している。「健康第一」アプリを活用し、歩数などの運動習慣を記録することでヘルスケアポイントが貯まり、ポイントを健康グッズに交換できる社員インセンティブ制度を実施している。チャリティーウォークや「Fun + Walk」にも積極的に参加しており、地域・社会との「つながり・絆」を大切に「一生のパートナーとしてのQOL向上への貢献」に取り組んでいる。



大成温調株式会社



毎朝のラジオ体操で社員の健康増進、社内スポーツサークルの活動支援、毎年2回ウォーキングキャンペーン実施

毎朝、全部署でラジオ体操を行い社員の健康増進に取り組んでいる。また、社内サークル制度を整備し、全国各拠点にてランニング、野球、ボーリングなどのサークル活動を展開している。さらに、毎年春、秋にウォーキングキャンペーンを実施し、3ヶ月平均1日8千歩以上歩いた従業員を表彰し、ポイントを付与している。



株式会社ダイテックス



アスリートの雇用、競技支援及び両立応援、競技普及活動、社内外サイトでの情報発信

今年度はテコンドー選手3名の支援に加えて、来年度入社の上陸(走り高跳び)のアスリートの採用を決定した。3名のアスリートは競技のほか、テコンドーセミナーなど競技普及のための活動をしている。また、アスリートの競技支援をし、仕事と競技の両立を応援している。社員が会場まで足を運び大会の応援、選手たちの日々の様子などを社内外サイトにて積極的にPRしている。



株式会社第一テクノ



積極的に運動することを心掛け、毎日始業前にラジオ体操、午後3時にストレッチ体操を励行

社員全員が毎日始業前にラジオ体操を、午後3時には館内放送される音楽に合わせてストレッチ体操を行っている。

館内を移動する際には、上へは2階まで、下へは3階まで階段を利用している。

社外においても、退職後や休日に運動できる環境整備として、スポーツクラブの法人会員となっている。

また、本社所在地である品川区が主宰する「団体 de しな助」に登録し、区が主催するスポーツ関連イベントにも積極的に参加している。



大樹生命保険株式会社



職場でのラジオ体操等やアプリを活用したウォーキングイベントを開催

職場毎に始業時等にラジオ体操や当社オリジナル体操を実施している。

また、ウォーキングアプリを活用し、年に数回イベントも開催して所属毎の対抗戦を実施している。

さらに、運動系の部活動(野球・テニス・フットサル・ランニング・陸上・卓球など)を支援することで、スポーツ推進に加えて、人材育成・社内コミュニケーションの活性化を図っている。



大東建設不動産株式会社



世界的なスポーツ「クリケット」の全国への普及活動とパラスポーツ中心にスポーツイベントでのボランティア活動に積極的に参加

弊社代表が競技人口が世界第2位ともいわれているスポーツ「クリケット」を日本国中に普及させる活動を30年前からしている。

本社所在地の港区のスポーツボランティアに社員を登録し、区内で開催されるパラスポーツ等スポーツ関連イベントでボランティアスタッフとして活動している。

また、プロバスケットリーグB3リーグ所属の東京サンレーヴスを後援している。



大東建託株式会社



全社ラジオ体操、スポーツ大会、アスリート交流、ウォーキングラリーで運動習慣促進

毎朝、全国234支店と本社にて約1万人の社員がラジオ体操を実施している。

また、春には、ソフトボールや大運動会、ボーリング等を支店・本社部門毎に開催し、夏以降は、健康保険組合との協同によるウォーキングラリーや支援アスリートによるビーチサッカー体験等を実施。運動機会提供だけでなく、社内コミュニケーションの場にもなっている。

さらに、今年是他社とのスポーツ交流として、パラリンピック競技のボッチャ大会を行い、楽しく汗を流した。



大東建託パートナーズ株式会社



「健康経営」の一環として、従業員がスポーツに親しめる環境づくりを推進

健康経営の一環として、従業員がスポーツに親しめる環境づくりを推進し、従業員全体のスポーツ実施率の向上に取り組んでいる。具体的には、創業以来、毎朝全社員約3,500人がラジオ体操を実施している。また、1日8000歩以上歩くとポイントを付与するウォーキングラリーの実施や、業務時間中にできる肩こり・腰痛ストレッチ方法を毎月紹介、アスリート社員の採用、ポッチャ体験会・大会への参加なども実施している。



大同生命保険株式会社



ウォーキングキャンペーンの開催

独自開発した健康経営支援ツール「KENCO SUPPORT PROGRAM」を全従業員に提供しており、プログラムの一環として、歩数増加による運動の実践・健康増進を目的に、全従業員を対象としたウォーキングキャンペーンを年3回実施している。集計された歩数に応じた「全国ランキングの表示」「ランキングに応じたポイントの付与」など、楽しみながらウォーキングに取り組むことができるイベントとなっている。



太陽生命保険株式会社



クアオルト健康ウォーキングによる健康寿命延伸への取組とスポーツ支援

クアオルト（健康保養地）健康ウォーキングを活用した健康推進プログラムに従業員が参加し、健康づくりを行っているほか、「太陽生命クアオルト健康ウォーキングアワード」を開催し、日本全国へクアオルト健康ウォーキングを普及している。また、競技環境の整備と普及・青少年の健全な育成を目的に、女子スポーツ（ラグビー、アイスホッケー）に協賛している。



株式会社ダイレクトウェイヴ



社内スポーツクラブ活動の推進

スポーツによる健康増進・社員同士の交流を目的に、野球・サッカー・バスケットボール・テニス・駅伝などの社内スポーツクラブ活動を支援。当初は野球部のみ活動していたが、徐々に数が増え、現在は5つのクラブが活動している。健康志向が高まり、社内コミュニケーションの活性化につながっている。



大日本印刷株式会社



社内スポーツ大会の開催とウォーキングイベントの実施

社員とその家族の健康保持増進と活力醸成を目的に、「総合体育祭」（サッカー・テニス・駅伝・ソフトボール・野球・フットサル・バレーボール・部門対抗運動会）や「駅伝大会」を開催している。また、誰でも気軽に参加できるよう3～10km前後の複数のコースを設定し、各地の名所や公園等を楽しみながら散策する「ウォーキングイベント」を定期的実施している。



株式会社太平エンジニアリング



スポーツイベントへの積極的かつ継続的な参加やクラブ活動に補助金を支給

三井不動産様とのご縁で第2回ザ・コーポレートゲームズ東京より毎年企業をあげて参加している。年々参加人数が増え、今年は社員の家族や協力会社も加わり150名以上が参加した。日頃より練習を重ね、大縄跳びでは優勝するまでになった。東京地区だけではなく北海道や九州から参加するなど健康促進は勿論だが、親睦融和に役立っている。今後も社員のスポーツ活動促進に向けた取組を積極的に行っていく。



株式会社大和証券グループ本社



社内運動部の支援、健康増進イベント「KA·RA·DAいきいきプロジェクト」等を実施

ランニング、サッカー、テニス、サイクリング、サーフィン等16の運動部が、活動を行っており、運営費の一部を会社が負担し支援している。また、「KA·RA·DAいきいきプロジェクト」の中で、年2回、3か月間のウォーキングイベントを行い、歩数の目標達成者には、ポイントの付与している。ポイントは、社会貢献活動への寄付等と交換できる。



株式会社タクト・マシン・サービス



NIPPON ITチャリティ駅伝、そのほかのスポーツイベントへの積極的な参加

スポーツイベントへの参加を通じて社員の健康維持を図り、社内でのコミュニケーションを円滑にすることを目的として、全国各地で開催されているイベントへの積極的な参加を推進している。首都圏では毎年NIPPON ITチャリティ駅伝へ参加しており、今後も継続して参加を予定している。



株式会社立飛ホールディングス



パナムスポーツの事前キャンプ誘致や立川を拠点とするスポーツチームへの協賛・支援

2020年夏に、パナムスポーツの事前キャンプを誘致し、世界トップレベルのアスリートとの交流を通じた地域スポーツの活性化を目指している。
また、アリーナ立川立飛やドーム立川立飛、タチヒビーチ等を拠点とするスポーツチームへの協賛やスポンサーゲームの開催を通じ、地域スポーツの振興に取り組んでいる。
そのほか「立川シティハーフマラソン」の特別協賛企業として、走者及び大会ボランティアへ積極的に参加している。



タツミ産業株式会社



毎週水曜日の出社時に階段(3階)を利用促進&毎日15時に社内でストレッチ体操を実施

本部・関東事業部・家庭用品部に勤務する従業員を対象に、毎週水曜日の出社時に事務所フロアである3階まで階段を使って出勤している。
また、全事業部従業員対象で協会けんぽが推奨するストレッチ体操を毎日15時に5分間実施している。社長自らが率先垂範し、社員のスポーツ推進活動への理解と健康向上を目的に活動している。



株式会社丹青社



アスリートの雇用、スポーツ及び障害者スポーツの普及を支援する取組の実施

当社社員である女子7人制ラグビー・原仁以奈(はらにいな)選手の現所属チーム・PEARLS(パールズ)のオフィシャルスポンサー兼オフィシャルパートナーとして全社的支援をするともに、社員対象の応援ツアーを実施した。
また、多様性への理解と共生社会の実現に資する取組として実施しているイベント「ユニバーサルキャンプTOKYO」において、令和元年度はブラインドマラソン伴走体験を新たに採用した。



株式会社ChannelJ



3時だよ！健康体操

午後3時より、会議室で全国各地の健康体操を行っている。体操はYouTubeに配信されている無数の動画の中から担当社員が選び、マンネリ化しないよう折変えている。
また、休日の目標歩数を一日5,000歩以上とし、自己申告する決まりを設けているほか、担当社員による「健康ブログ」は開設3年目を迎えた。



TANAKAホールディングス株式会社



従業員の身体を動かすイベントの企画・実施、障害者スポーツの支援・応援活動

従業員の健康促進、従業員満足度の向上や社内コミュニケーションの活性化のほか、CSR活動の一環で、障害者スポーツ/パラアスリートの支援と障害者スポーツへの理解促進などを目的として、社内外でスポーツを推進する活動を行っている。
令和元年度は新しい取組として、平塚市との共催で「ブラインドサッカー体験イベント「パラスポーツパーク!~ブラインドサッカー体験会~」を開催した。
また、若手社員が実行委員の中心となって企画・運営を行っている「健康促進大会」では、障害者スポーツの理解を深めるために日本ブラインドマラソン協会の協力のもと、「伴歩(ばんぽ)」の体験プログラムも行った。



株式会社タニタヘルスリンク



全社員を対象に社員証となる活動量計を使用したウォーキングラリーやストレッチプログラムを実施

オフィスセキュリティやOA機器と連携できる活動量計を社員証として全社員に配布し、日々の歩数や活動量を計測。サーバーにアップロードされた各自の計測データを個人別・チーム別の歩数ランキングとして自動集計し、オフィス設置のデジタルサイネージにリアルタイムで表示。全社員が閲覧できるようにすることで、ゲーミフィケーションといった楽しみながら健康づくりができる環境を整えている。

通信機器産業健康保険組合



毎朝のラジオ体操、ウォーキングイベント、ボウリング大会等の実施

健康保険組合として加入員の健康を維持・増進する上で、まず職員自らが健康であるべきという考えから、健康経営のひとつとして運動習慣の定着を掲げている。
毎朝のラジオ体操のほか、1日9,000歩を目標とした歩数表彰、また、職場から2~3kmの地点に目的地を設定し、就業後に徒歩で目的地を目指すウォーキングイベント「通さんぽ」の実施、ボウリング大会等を実施している。



都築電気株式会社



企業対抗スポーツイベントに100名以上継続参加、健康増進とコミュニケーション活性化を全社推進

企業対抗スポーツイベント「ザ・コーポレートゲームズ」に協賛。イントラネットや社内報を用いた周知や、毎年の新入社員に対する先輩社員の勧誘などにより、2015年から毎年100名を超える規模で本大会に参加。部署・年齢の壁を超えたコミュニケーション創出に繋がっている。
さらに、通常の椅子に代えて、希望者にバランスボール勤務を許可する制度を社員からの要望に応える形で導入し、日常から取り入れられる健康増進にも注力している。



株式会社つなひろワールド



総合型障害者スポーツクラブチームを
立ち上げ、社員が所属し、積極的に参加。

総合型障害者スポーツクラブチーム「Glitters(グリッターズ)」を立ち上げ、社員が所属し、車椅子ソフトボール大会や車いすラグビー大会に出場するなど、パラ競技に積極的に携わった。

また、一般社団法人日本聴覚障害者陸上競技協会など各競技団体への協賛を行った。

さらに、新しい取組としては、車椅子ソフトボール日本代表への公式ユニフォームの提供を行った。



Color & Comfort

DIC株式会社



楽しく!本気!の社内スポーツ大会
開催で社員の絆、深めています!

社内スポーツ大会開催の歴史は長く、特に事業所対抗スキースノボ大会は今年で52回目、半世紀以上も続く大会である。

大回転2本のタイムを競い、個人表彰・事業所表彰を目指し、上級者も初心者も楽しく(時に本気で)参加している。

また、各事業所でもソフトボール大会、卓球大会、ボーリング大会と様々なイベントを開催。スポーツを通じて、社員の絆が深まっていると実感している。



ティーペック株式会社



経営者も歩く!圧倒的歩数のウォーキング
~楽しく体を動かして健康づくり~

社員へFitbitを貸与し、半期ごとの平均歩数に応じて表彰を実施。経営者自らも率先して「歩く」を実践しており、およそ9割の社員が参加をしている。

また、社員旅行でウォーキングインストラクターの指導を受けるプログラムを実施したり、スポーツクラブを気軽に利用できるように利用料の補助や定期的な利用者の表彰を行ったりする取組を通し、社員が楽しく体を動かすことを応援している。



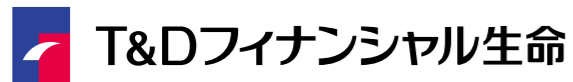
帝人株式会社



従業員のスポーツ活動を支援し、健康保持増進の
ためにウォーキング大会等のイベントを実施

国内の主要拠点では、毎日、始業前や昼食後、15時のタイミングで、ラジオ体操の音楽を流し、ラジオ体操を推進しており、毎年秋には、グループ会社を含めてのウォーキング大会を20年継続して実施している。

また、資金面の補助、施設の提供等を行い従業員のスポーツクラブ活動を積極的に支援している。



T&Dフィナンシャル生命 T&Dフィナンシャル生命保険株式会社



障害者スポーツ及び
従業員の社内クラブ活動を支援

日本ろう者サッカー協会とオフィシャルパートナー協定を締結し、ろう者サッカー・フットサルの発展と普及をサポートしているほか、障害者アスリートを雇用し、競技活動を支援するとともに、従業員の障害者スポーツへの理解促進を図っている。

また、T & Dフィナンシャル生命健康保険組合より社内クラブ活動にかかる費用の一部を補助するなど、従業員の健康増進を図っている。



株式会社ティーガイア



従業員のスポーツ活動に対する支援、
障害者スポーツの推進や選手の強化活動に協賛

従業員間の交流及び自主的な健康保持・増進、リフレッシュを目的に、スポーツクラブの活動費用の一部(上限1.5万円/1人)を会社から補助しており、大会参加費や用具購入費用等を支援している。

「JPSA オフィシャルサポーター」として、障害者スポーツの推進に取組むとともに、当社で働くパラアスリート社員の活動を支援している。

国際大会への参加に際し、休暇の付与や従業員有志一同からの募金による活動費援助等も行っている。



株式会社ティップネス



毎週月曜日に本部全社員で行う
職場体操や、部活動への支援を実施

職場体操は毎週月曜日9時から行うため「月9体操」と名付けて社員間で親しまれ、各部署が担当を持ちまわすることで能動的に参加するような仕組みになっている。

部活動は、野球、サッカーをはじめ、ボイストレーニングやサーフィンなど多岐にわたり行われている。



株式会社DIPDA JAPAN



「DIPDA LINE」を活用し運動力学研究と
実証で社員の運動パフォーマンスUP

自社グループの産学連携開発商品の運用プログラムの研究と運動の実施を推進しており、社員の運動パフォーマンス向上やダイエット、健康改善を推進している。

「DIPDA LINE」や「オリバックチェア」を活用した30分程度の運動効果検証を毎日実施している。

回旋バランス運動による体幹強化や運動パフォーマンス向上、業務効率UP、基礎代謝の改善、骨盤や上肢の安定による集中力の向上、健康改善効果が得られている。



DESCENTE デサントジャパン株式会社



スポーツ支援活動として
マラソン大会や運動教室を実施

企業理念である「全ての人々に、スポーツを遊ぶ楽しさを」に則り、豊島区及び目白地域の学校や企業・団体と連携して「目白ロードレース」を開催し、特別支援学校の生徒等の招待も行っている。

また、スポーツをする機会が減り、体力・運動能力が低下傾向にある現代の児童に「スポーツを好きになり、体を動かす習慣を身につけてもらう」ことを目指して、小学校の授業の一環として体操教室を実施している。



Dualtap 株式会社デュアルタップ



運動会開催、地域のスポーツ大会への参加、
社内でのスタンディングミーティング推奨

全体参加型の運動会を開催しており、その効果は、当初の目的の交流だけでなく、普段運動をしない従業員も健康を考えることのできる、良いきっかけとなっている。

また、地域開催の大会に参加することで、より活気に活動できるほか、地域の方々との交流の良い機会を得ている。

さらに、日々の業務においても、従業員の健康維持に寄与するべく、スタンディングミーティングスペースを設け、日頃から従業員が健康について触れる機会を整えている。



株式会社電通



ウェアラブルデバイスやオフィスポによる適切な運動の習慣化を促進

希望者へのウェアラブルデバイス貸与や、社内対抗レース等を通じて、社員が楽しみながら活動量を増やせるよう後押ししている。

また、適度な運動でオフィスの疲れやストレスを解消する新発想「オフィスポ」を実施。運動効果だけでなく、仕事のパフォーマンス向上にも役立っている。



東亜ディーケーケー株式会社



社員スポーツサークルの支援
及び階段利用の促進

テニス部、サッカー部、野球部、水泳部、スキー部といった部活動に補助金を支給し社員のスポーツ活動を支援している。各部には幅広い年代の社員が参加しており、部門の垣根を越えた交流の場にもなっている。

また、生活習慣病予防に向けた運動不足解消の取組として、階段利用を推進しており、本社及び事業所の各階に消費カロリーポスターを掲示し、イントラネットでも階段利用を呼びかけている。



テルモ株式会社



社員にウェアラブル端末を配布、歩数や消費カロリー等の数値を可視化し運動習慣を促進

歩いた歩数を WEB サイトに登録し、画面上で果物を育てると本物の果物が届く「WEB ウォーキング大会」を実施している。

また、2019年には国内子会社を含む約 6,000 名にウェアラブル端末を配布した。

歩数や心拍数、消費カロリー等のデータを記録し、数値を見える化することで、運動に対する社員のモチベーションが向上し、自発的な運動習慣の改善や促進につながっている。



株式会社TENTIAL



アスリートの雇用及び、フットサル大会の
企画運営で「働き盛り世代」のスポーツ推進

当時シンガポールのプロリーグに所属していたプロサッカー選手をインターンとして雇用（現在社員）し、積極的に現役アスリートを採用。

また、サッカー元日本代表の播戸竜二が弊社の CSO に就任し、働きながらアスリートとして活躍する社員を支援、アスリートとの持続可能な関係を構築している。

さらに、プロフットサルチームと共同で企業対抗フットサル大会を企画・運営し、「働き盛り世代」のスポーツ活動促進を行っている。



東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社



社内クラブ活動やアスリート社員主催イベント等で
「わくわく」と「コミュニケーション」を醸成

アスリート社員を「ウェルビーイング大使」に任命し、大使主催の従業員向けイベント等で健康・運動に関する改善策の提案・指導を実施した。

社内クラブ活動の支援、親子運動の機会提供、階段移動やスタンディングワークの推奨など、日常的な運動機会の増加にも取り組んでいる。

また、弊社所属のアスリート社員が大会に出場する際には応援ツアーを実施し、会社が一丸となって選手を応援する体制を作っている。



東急株式会社



東急電鉄(株)をはじめ、東急連結各社・
東急グループと連携し、運動習慣化に向け、
各種スポーツイベントを開催

東急電鉄(株)をはじめ、労働組合及びグループ会社と連携して、運動習慣化に向け、運動会や駅伝大会、ウォーキング大会を開催している。

また、当社で従来から推進している「WalkBiz」の主旨と重なる取組として、スポーツ庁の官民連携プロジェクト「FUN+WALK PROJECT」に参画している。

強化月間の10月には、「楽しく歩いて通勤する朝習慣をつくる」 「FUN+WALK MORNING」に協賛企業として参画し、駅・車内広告や東急線アプリでの宣伝を中心に、社内外のビジネスパーソンに働きかけた。



Tokyu Sports System

東急スポーツシステム株式会社



社内・グループ会社従業員参加のフットサル大会と地元小学校児童に水泳教室を開催

社内従業員だけでなく、各グループ会社の従業員が気軽に参加できる自社施設を活用したフットサル大会を毎年開催している。
また、自社展開しているスイミングスクールの近隣にある小学校と連携して、自社プールにてスイミングの授業を実施した。スイミング指導力を専門的に学んだ自社コーチと学校教員とによる水泳指導を実施することにより、子供たちの水泳技術の向上だけでなく、苦手意識の改善や意欲向上を目指している。



株式会社東京アスレティッククラブ



「中野ランニングフェスタ」への協賛・出場及び運営ボランティアとして参加

2014年から開催している「中野ランニングフェスタ」に、大会当日のコース設営、ゲストアテンド、イベントブース出展等の運営ボランティアだけではなく、イベント全体のディレクションとして、実行委員会や後援、協力先との調整やイベント本体の企画・運営に携わっている。
また、申込受付期間中は社内に事務局を設置しエントリーの管理も実施している。



東京海上日動リスクコンサルティング株式会社



スポーツを通じた健康づくりと社内コミュニケーション活性化

健康経営及びコミュニケーション活性化の取組としてスポーツへの取組を推進している。
従業員主体の「皇居 RUN & WALK」やソフトボール大会、ボーリング大会では、健康づくりとともに、所属部門や年代を超えたつながりができている。
また、毎朝始業前の職場ラジオ体操や、グループのポッチャ大会への参加・応援、スポーツを含めた健康増進月間の実施など、各種取組を進めている。



東京ガス株式会社



障害者スポーツ支援のための取組・社内ウォーキングイベントの実施

より多くの人に障害者スポーツを身近に感じてもらうために「障がい者スポーツ観戦 DAY」を実施している。車いすバスケ、水泳、ゴールボール等の5種目の大会を観戦 DAYとし、社員とその家族で観戦、応援を行っている。
また、健康の維持向上のため2015年からウォーキングキャンペーンを実施し、毎年1,500名以上が参加。上位成績者と、事業所ごとの平均歩数を社内HPにて掲載しイベントの認知向上と参加を促進している。

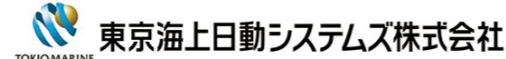


東京海上日動火災保険株式会社



パラリンピックスポーツ支援 ～「知る」「見る」「体験する」～

東京2020大会ゴールド損害保険パートナーとして、パラリンピックスポーツの支援を通して、誰もがお互いの人格や個性を尊重して支え合う「共生社会」の実現を目指している。2019年は全国47都道府県で社員と代理店が一致団結して「全国ポッチャ大会」を実施した。東北6県ではパラリンピックスポーツを体験できる「チャレンジ6」を主催し、1万人以上の方が参加した。また、全国でパラリンピックスポーツのセミナーや観戦応援も行っている。



東京海上日動システムズ株式会社



参加する・観る機会の提供でスポーツを通じた健康増進やスポーツへの理解促進を支援

毎年の健康増進月間には、フロア体操やウォーキングイベントを開催し、運動習慣のない社員にも参加しやすい機会を提供している。
2019年度からカジュアルウェアを推奨し、通勤時間にウォーキングするなど体を動かす機会を持てるよう後押ししている。
また、障害者スポーツの観戦イベントを通年で開催、各競技の紹介や体験会などを通して障害者スポーツへの理解を深めてもらう活動を推進している。



東京システムハウス株式会社



社内クラブ活動支援とスポーツ懇親イベント『TSH感謝祭』開催で健康とコミュニケーションの活性化を目指す

日頃から身体を動かし、心身ともに健康である環境づくりを目指す一環として、5つの部活動(ゴルフ・駅伝・テニス・野球・フットサル)への支援と定期的な健康イベントを開催している。
従業員及びその家族が参加するスポーツ懇親会『TSH感謝祭』は、クイズなども交え、体も頭も動かすスポーツに対する苦手意識を持たずに楽しめるイベントとして、コミュニケーションの活性化にも役立っている。



株式会社東京ドームスポーツ



障害者スポーツ教室の開催と各種アスリートの雇用支援

日本バスケットボール選手会と連携し、障害児を対象に、プロ選手と触れ合いを通してスポーツに挑戦する機会を提供し「できること・好きなこと」を増やすことを目的とした教室を開催している。
また、若い世代のアスリートを雇用支援することで、ささえるスポーツ・みるスポーツの実践とチームのオフィシャルパートナーとしてもスポーツ振興に貢献している。



東京都職員共済組合



清瀬運動場のテニスコートと 野球場を一般に開放

保有する清瀬運動場のテニスコートや野球場を広く一般に開放しており、運動場が所在する清瀬市のホームページに清瀬運動場について掲載している。
また、近隣の保育園、幼稚園に芝生部分を開放し、天然芝の上を走り回る楽しみを味わってもらっている。



東京都鉄二健康保険組合



健康づくりは1日8,000歩・ 速歩20分で、みんな元気!!

毎日、勤務開始時刻に全職員でストレッチを行い13時にはラジオ体操を行っている。
また、全職員が活動量計を携帯しており、活動量計を活用した中強度運動(速歩)を意識してウォーキングを実施。毎月データ取込を行い1日平均スコア等を算出している。



東武鉄道株式会社



少年野球・サッカー大会への ボランティアスタッフの派遣

2019年度で12年目を迎える東武鉄道杯は、(一財)東武博物館が主催する沿線地域における少年野球大会、少年サッカー大会であり、東武鉄道は2018年度までに延べ1万名を超えるボランティアスタッフを派遣し、会場準備や試合応援等を通じて、次世代を担う健やかな少年少女の成長を支援している。



東洋製罐株式会社



活動量計を用いた健康増進プログラムの 推進、歩数イベントの開催

誰でも簡単にできる身体活動・運動として「歩くこと」に注目し、希望者へ活動量計を配布。
歩数データ等専用サイトと連動することで、歩数や血圧、体重等の数値を見える化し、健康増進・運動習慣の向上を目指している。
また、年に1回歩数イベントを企画開催し、個人別・事業所別に歩数対抗戦を実施している。個人による総歩数だけでなく、事業所毎の平均歩数を順位付けし、事業所毎の活性を促進している。



公益財団法人東京都予防医学協会



ウォーキングキャンペーンや ストレッチ教室を実施

参加者に活動量計や水筒などを提供し、部署対抗ウォーキング大会を実施。2019年度は階段歩行のエネルギー消費量を示し、階段使用を促すなど1日8000歩を目標とし、30分以上の運動やスタンディングデスクの活用も含めたポイント結果を随時社内HPに掲載。運動の推進・習慣化に取り組んでいる。
また、健康運動指導士による、各職場に合った効果的なストレッチ教室を定期的実施している。



東京西サト一製品販売株式会社



子供向け「逆上り・バック転教室」の開催 トレッキングで家族ぐるみの健康づくり

体操指導員資格をもつ社員が講師となり、長期休暇中の子供たちに向けて短期の「逆上り・バック転教室」を開催している。個人の技能に合わせた指導を行い、期間内に目標達成することの難しさや楽しさが経験できる場となっている。
また、社内では2018年に従業員と家族を対象としたトレッキング部が発足。旅費・用具代の一部を会社が補助し、家族ぐるみの健康づくりとコミュニケーションを図っている。



株式会社トーチンパートナーズ



朝のラジオ体操実施、サッカー部・野球部の 部活動、社員のスポーツ観戦実施

社員一人一人がいいきぎと健康に働くことを目的に、平成16年から朝のラジオ体操を実施している。
また、弊社の社員にはスポーツ好きの社員が多く、職場で働く仲間と一緒にスポーツを行いたいとの声が多く上がりサッカー部と野球部を設立。現在、様々な大会に出場している。
さらに、支援をしているスポーツチーム・団体の試合観戦を社員が行い、一丸となってスポーツチーム・団体の応援をしている。



株式会社ドクターラスト



“ラジオ体操”で日常に運動を取り込み、 “ジム会費負担”で積極的な運動機会を提供

集力が落ち気味の15時に、ラジオ体操を全員で毎日実施。デスクワークから解放されるリフレッシュの時間として、さらに体操中に会話が生まれることで、交流の時間としても大いに機能している。
また、日常の運動とは別に積極的な運動機会を提供するべく、大手スポーツジムと法人契約。従業員は毎月一定回数まで無料で利用可能。店舗数も多く、それぞれの自宅近隣の施設にも通えることから、利用率増加につながっている。

NTT docomo HEALTHCARE

ドコモ・ヘルスケア株式会社



歩こうキャンペーンやフィットネス講座で
一人一人が健康に

毎年2か月間にわたり開催している社内ウォーキングイベント(歩こうキャンペーン)を本年も実施し、仲間と競い、励ましあい、積極的に歩く習慣を醸成している。併せて、プロのスポーツトレーナーを招き、正しい歩き方や姿勢の作り方を教わり、全員で共有することで、身体を動かすことの楽しさを体感できる機会を設けている。

Toda Medical Group 戸田中央医科グループ

戸田中央医科グループ 医療法人社団青葉会



職員の健康保持・増進として
レクリエーション行事を実施

心身の健康保持・増進と職員相互の親睦を目的に年に1度、グループ全施設での大運動会、ソフトボール大会を実施している。
職種の垣根を越えてグループとして組織力・団結力を高めること、またレクリエーション機会として親睦・交流を深めるため、職員及び家族も含めて約3,000名以上が参加している。
こうした機会を通じて職員のコミュニケーションの活性化を図るとともにスポーツ活動を奨励している。

Toda Medical Group 戸田中央医科グループ

戸田中央医科グループ 医療法人社団徳成会



職員の健康保持・増進として
レクリエーション行事を実施

心身の健康保持・増進と職員相互の親睦を目的に年に1度、グループ全施設での大運動会、ソフトボール大会を実施している。
職種の垣根を越えてグループとして組織力・団結力を高めること、またレクリエーション機会として親睦・交流を深めるため、職員及び家族も含めて約3,000名以上が参加している。
こうした機会を通じて職員のコミュニケーションの活性化を図るとともにスポーツ活動を奨励している。

Toda Medical Group 戸田中央医科グループ

戸田中央医科グループ 医療法人社団松井病院



職員の健康保持・増進として
レクリエーション行事を実施

心身の健康保持・増進と職員相互の親睦を目的に年に1度、グループ全施設での大運動会、ソフトボール大会を実施している。
職種の垣根を越えてグループとして組織力・団結力を高めること、またレクリエーション機会として親睦・交流を深めるため、職員及び家族も含めて約3,000名以上が参加している。
こうした機会を通じて職員のコミュニケーションの活性化を図るとともにスポーツ活動を奨励している。

Toda Medical Group 戸田中央医科グループ

戸田中央医科グループ 医療法人社団時正会



職員の健康保持・増進として
レクリエーション行事を実施

心身の健康保持・増進と職員相互の親睦を目的に年に1度、グループ全施設での大運動会、ソフトボール大会を実施している。
職種の垣根を越えてグループとして組織力・団結力を高めること、またレクリエーション機会として親睦・交流を深めるため、職員及び家族も含めて約3,000名以上が参加している。
こうした機会を通じて職員のコミュニケーションの活性化を図るとともにスポーツ活動を奨励している。

Toda Medical Group 戸田中央医科グループ

戸田中央医科グループ 医療法人社団七仁会



職員の健康保持・増進として
レクリエーション行事を実施

心身の健康保持・増進と職員相互の親睦を目的に年に1度、グループ全施設での大運動会、ソフトボール大会を実施している。
職種の垣根を越えてグループとして組織力・団結力を高めること、またレクリエーション機会として親睦・交流を深めるため、職員及び家族も含めて約3,000名以上が参加している。
こうした機会を通じて職員のコミュニケーションの活性化を図るとともにスポーツ活動を奨励している。

TOPPAN

凸版印刷株式会社



POWER OF SPORTS

参加4,000名を超える全社横断型の労使共催企業運動会を定期的
に実施、事業所単位でもソフトボール大会など定期的なスポーツレク
レーションを実施している。
また、オリパラ両面でのスポーツ専従社員の雇用や応援、さらには
彼ら自身による社内ブログ発信や地域、教育機関での講演など積極
的な活動をしている。
各運動部のホームページ「POWER OF SPORTS」の運営やパラスポ
ーツ体験会実施など社内外を問わずスポーツの機運醸成に努めている。

TOPPAN FORMS

トッパン・フォームズ株式会社



毎朝のラジオ体操・
社内スポーツ大会の実施

始業前に毎日ラジオ体操を社内放送で流し、実施し
ている。
また、毎年社内で従業員とご家族が参加できる
野球大会やフットサル大会を実施している。この大会を
企画・運営する野球部やサッカー部をはじめとする社
内のクラブに対し、活動支援を行なうなどスポーツを
通じて従業員とその家族の健康増進を推進している。

トヨタ西東京カローラ

トヨタ西東京カローラ株式会社



スポーツを通じた社会貢献活動を展開し、地域の将来を担う子供たちの健全な育成を応援

野球、フットサル、バスケットボール等の独自のイベントを開催することで、地域社会へ貢献している。

また、地元自治体主催のポッチャ大会のメインスポンサーとして特別協賛及び社員チームを創設し同大会へ競技者として参加する等パラスポーツの認知度向上や理解を深める活動を展開している。

スポーツ・子供・地域という言葉を一貫して積極的な社会貢献活動を行ない、地域の次世代を担う子供たちの健全な育成を応援している。

トヨタ モビリティ東京株式会社

トヨタ モビリティ東京株式会社



始業時にラジオ体操の実施
ショールーム内ポッチャコートを利用開放

毎朝、短時間で出来るラジオ体操を実施して、従業員の健康増進を図っている。

また、4店舗のショールーム内にポッチャコートを利用開放し、パラスポーツの普及促進に貢献している。

NI Nasta

株式会社ナスタ



スポーツ大会参加と大会協賛支援
毎朝のラジオ体操で安全操業

野球、フットサル、ボーリングなどのチームを結成。ザ・コーポレートゲームズなどのスポーツイベントへの積極的に参加している。参加を通じ、社内コミュニケーションの活性化と体力の増強を図っている。会社としてユニフォーム代、交通費、大会参加費などの活動支援を実施している。

NISHI

株式会社ニシ・スポーツ



スポーツを愛する全てのアスリートのために
喜びや幸せを届ける企業

自己記録更新に挑戦できる公認陸上競技会を全従業員で運営するとともに、従業員自身にも積極的にスポーツ活動や競技に取り組むことも推奨している。

株式会社 トンボ

株式会社トンボ



全日本空手道連盟、
スポーツ大会等の協賛支援

全日本空手道連盟に協賛しており、中学校を対象に、連盟に所属している選手に講師になってもらい、空手の模擬授業を実施して中学校武道必修化における空手の授業の採用を応援している。

また、小学校、中学校、高等学校を対象とした、各種スポーツ大会の開催、協賛を行い、生徒・児童のスポーツを通じた心と体の育成や交流を支援している。

NAGASE KE KO Corp.

ナガセケンコー株式会社



軟式野球・ソフトテニス・ソフトボールを
中心としたイベントへの協力、社内ポッチャ大会の
開催と社員によるポッチャクラブの大会参加

都内だけでなく、全国で行われている軟式野球・ソフトテニス・ソフトボールのイベントへ物品等の協賛を行い、大会の成功と競技の普及に協力している。

ポッチャの社内大会を実施して健康増進と社内コミュニケーション作りに取り組んでおり、社員有志によるポッチャクラブは都大会へ出場している。

未来を創る現場力 西松建設

西松建設株式会社



様々なスポーツイベントの実施による
社員一人ひとりの健康意識向上

アプリを利用したウォーキングイベントや、体組成測定会、運動器具体験会などのスポーツイベントを会社が定期的に開催することで、社員一人ひとりの健康に対する意識が向上した。

自発的にオフィスヨガを企画開催したり、積極的にマラソン大会へ参加したりするなど、スポーツの輪が広がっている。

また、プロバスケットボールチームへの協賛や、港区が主催するマラソン大会への協賛など、スポーツ活動の支援にも力を入れている。

ニチレイ

株式会社ニチレイ



従業員向け健康増進イベントやウォーキング
キャンペーンの実施、クラブ活動支援

体験型健康支援プログラム「ニチレイ健康塾」として、健康運動指導士による姿勢・歩き方改善・効果的で簡単な運動実践や保健師による病態生理、管理栄養士による食事改善などの解説をセミナー形式で実施している。

また、運動習慣のきっかけづくりのため、春秋に「ニチレイ健康保険組合ウォーキングキャンペーン」を開催している。グループ内コミュニケーション活性化のため、「体育活動」などのクラブ活動を支援している。



日建総業株式会社



毎年1回、新宿中央公園において 障害者スポーツ等の普及啓発イベント 「ダイバーシティ・パークin新宿」の開催

障害者スポーツの魅力やパラアスリートの活動を従業員のみならず、多くの人々に認知してもらい、障害者スポーツの普及啓発に寄与するために、さまざまな障害者スポーツの体験コーナーを用意している。
営利追求型の商業イベントではなく、ダイバーシティ追及のための啓発イベントとして、だれでも気軽に体験できるよう、原則的に入場料や利用料を無料化している。
運営には多くの社員（有志）が携わるほか、首都圏の学生・企業・個人などのボランティアが多数参加している。



日産化学株式会社



スポーツ活動の支援を通じて、 従業員の健康づくりを推進

当社は、従業員の健康が「健全な企業の成長を支える基盤」という考えのもと、スポーツ活動の奨励に力を入れている。
本社では、フットサル、テニス、水泳などのクラブ活動を支援しており、健康増進に加えて、世代や部門をまたいだ従業員同士のコミュニケーションの場となっている。また、仕事の合間のリフレッシュを目的に、ストレッチ体操を毎日実施している。



商工組合 日本医療機器協会



会員企業の従業員の福利厚生の一環として、 野球、ボウリング、フットサルリーグを開催

昭和30年代より開催の野球大会は、トーナメント戦により試合を行う。優勝チームには、優勝カップの授与を行う。ボウリング大会は、160名が参加し、団体・個人戦の順位を競う。年2回開催のフットサルリーグは、元Jリーガー選手2名による準備運動やルール説明、総当たり戦等、本格的かつ身近にフットサルを体験。また、「日本サッカー協会ヴァーチャルスタジアム」が会場となり、サッカーファンにとっても意義深い大会となっている。



日本化薬株式会社



従業員の健康づくりイベントを実施

毎日15時に各部署でのラジオ体操の実施や、1カ月の間、社内や日常生活の中で設定された23項目について、実践した項目に点数をつけて総点数で競う、健康管理コンクールを開催している。
また、毎年、全国の事業場から従業員が参加するスポーツ大会は、野球、テニス、卓球、グラウンドゴルフ等、年齢層を限らない種目を取り入れて開催している。
これらを通じて、社員が健康維持し、活力ある働き方ができるように取り組んでいる。



日清食品ホールディングス株式会社



社員のスポーツ推進と社会貢献を 両立した施策の実施

健康経営の施策として、社員に「階段の使用」や「ウォーキング」を推奨し、段数や距離などの目標達成に応じて国連WFP「学校給食プログラム」に寄付をしている。
また、スタンディングデスクの推奨、ゴルフ場の割引制度を導入している。
さらに、「食とスポーツは健康を支える両輪である」という創業理念のもと、「日清食品カップ」全国小学生陸上競技交流大会や「WFPウォーク・ザ・ワールド」に協賛している。



日都産業株式会社



スポーツによる社員の 健康づくりをサポート

毎朝の始業時にラジオ体操を継続して実施している。専門のラジオ体操指導者に依頼して、正しいラジオ体操の実施方法を指導してもらっている。
また、地域のランニングイベントへの参加を奨励し、家族も含めて駅伝チームを編成して参加するほか、社内ゴルフコンペの開催を通じ、運営面や費用面での支援を継続的に実施している。



公益財団法人日本ケアフィット共育機構



スポーツに参加する全ての人々が 感動を共有できる環境のために。

リレーションセンターTASKALは、おもてなしの心と介助技術を学ぶ資格「サービス介助士」ボランティア活動である。障害のある方や高齢な方がスポーツ観戦できるようにご案内している。
リレーションセンターTASKALから、スポーツ環境が全ての人に開かれた共生の場になることを目指している。



日本航空株式会社



各職場にWellnessリーダーを配置、「本気の！ ラジオ体操」をはじめ会社全体でスポーツを推進

全国各事業所にWellnessリーダー237名を配置して、ウォーキングや運動会、球技大会やヨガなど各職場の健康課題に合った健康増進活動を実施した。
また、フィットネストレーナーの指導のもと、本気の！ラジオ体操を推進し、海外を含む全グループに展開、動画を作成し社内に紹介した。新入社員教育や整備士や客室乗務員の訓練でも実践し、社内におけるラジオ体操普及リーダー認定制度も制定し、令和元年度10月時点で23名が認定されている。



日本交通株式会社 赤羽営業所



仲 所長・大森教官を軸に社員全員が スポーツを身近にする環境作り

「走る」「歩く」ということは全ての運動の基礎。歩き方、走り方の正しいフォームを仲所長から学び、毎週水曜日、木曜日の午前6時からウォーキング&ラン教室を開催している。週末は会議室を開放し卓球大会に向けての練習。年2回のスポーツイベントは、ソフトボール大会、ゴルフ大会、野球大会、フットサル大会。所内にスポーツジムも併設し社員同士のコミュニケーションも向上とともに、身近に運動できる環境作りに取り組んでいる。



日本シグマックス株式会社



スポーツ活動支援制度の運用と 活動情報の発信により、 社員のスポーツへの取組を活性化

社員がスポーツ活動に取り組むことでスポーツに対する理解を深めるとともに、一人一人が健康的に生活することを目的に、スポーツ活動費を支援する「スポサポ」制度を運用している。野球、バレーボール、バスケットボール、フットサル、駅伝、リレーマラソン、ゴルフなど社員同士での親睦を深める活動のほか、ジム、プール、ダンス、武道など自分磨きにも活用されている。社員の活動情報を社内掲示板（イントラネット）で共有することでさらに活性化を図っている。



日本生命

日本生命保険相互会社



全国地域でのスポーツ関心向上に 向けた取組の展開

2018年9月から開始したプロジェクト「日本生命 みんなの2020全国キャラバン」では、車いすバスケットボール・陸上・空手の体験やアスリートによる講演等を実施し、これまでに40会場で延べ24万名が参加。(2019年12月末時点) また、地域社会が掲げるテーマ(健康増進 スポーツ振興等)に対して、美カラテエクササイズやウォーキングアプリを活用したバーチャル運動会、車いすバスケットボール大会の観戦案内等の取組を展開している。



日本通運株式会社



自社スポーツ施設の大学等への 利用提供

企業や大学などの各団体からの利用申請に基づき、本社ビルB1Fの武道場(柔道場、剣道場、相撲場)を利用提供している。また、自社の運動部との合同練習や交流試合なども実施しており、こうした取組を通じて、地域のスポーツ振興を図っている。



日本写真判定株式会社



自転車購入助成金制度による 社員自転車サークル活動の支援や 自転車アスリートの雇用

自転車競技経験者のみならず、誰しもがサイクルスポーツを楽しめるようにサークルを立ち上げて活動中。自転車は高価なため、福利厚生で購入をバックアップ。また、競技者枠従業員として自転車トラック競技・中距離の中村妃智選手とパラトライアスロンの梶鉄輝選手を雇用。東京2020オリンピック・パラリンピックへの期待も高まり、応援はもちろん、活躍に刺激されて業務のモチベーションも向上している。



公益財団法人日本スポーツ協会

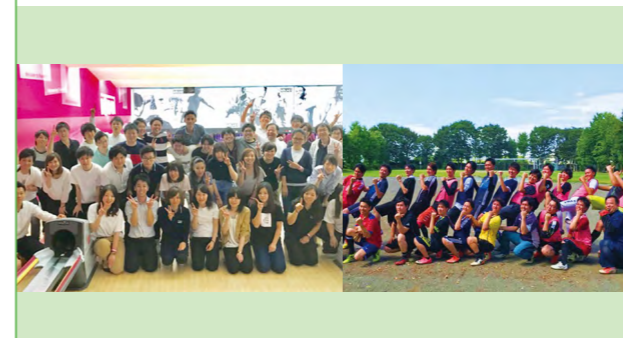


“自らからだを動かす”から日本に スポーツの素晴らしさを発信

効率の良い仕事の取り進めや健康面への配慮としてオフィス内での「スタンディングワーク」を推進している。また、スポーツ環境を整え、健康増進と体力向上を図るため、歩きやすい靴や服装で通勤・勤務することを推奨している。さらに、当協会が所有するオフィスビル内において、トレーニングルーム及びシャワールームを完備し、就業前後や昼休みにトレーニングやランニングに励む職員の活動を後押ししている。



株式会社日本テレメッセージ



コミュニケーションの場及び、 健康な体づくりの一環として スポーツサークルへの参加を推進

サッカー・ランニング・ゴルフ・ボーリングなどのサークルが活動。18歳～40歳まで幅広い年齢層が参加しており、単に体を動かすためだけでなくコミュニケーションの場としても活用されている。また、福利厚生の一環として、公共スポーツ施設の利用を推進。費用に関しては会社が負担し、無理なく続けられるようにしている。



日本電気株式会社(NECグループ)



東京2020大会へ向けて様々な形で スポーツに対する社員の意識醸成を加速

東京2020大会に向け、またその後もレガシーとして残るよう社員のスポーツボランティア活動や障害者スポーツ体験会などを実施しているほか、コワーキングスペースを本社に開設している。一部にスタジオを設け“Better Condition, Better Life”というスローガンのもと、ヘルスリテラシーの向上と自らが心身のコンディションを整えることを意識した社員の自律的な行動の実践を目指している。



一般社団法人日本ヘルスケアサプリメント協会



社員のスポーツ活動をサポート

社員の週末のスポーツ活動を支援している。徒歩通勤とオフィスがある7階までの階段使用を促進する活動をサポートしている。



日本郵政株式会社



自社福利厚生施設の利用提供

近隣にお住まいの方などからの利用申請に基づき、自社の福利厚生施設である高井戸レクリエーションセンターの野球グラウンド、テニスコート及び弓道場を利用提供している。



株式会社ニュー・オータニ



スポーツ活動の奨励と支援。職場スタイルに合わせたインストラクターのストレッチ指導

年間を通し、7～8種類の部署対抗スポーツ大会や全国グループホテルを横断したウォーキングイベントへの参加奨励を実施しているほか、クラブ活動費や大会出場費などの支援を行っている。また、ホテル業であるため、さまざまな部門が混在する中でレストラン部門、調理部門、宿泊部門など、部署ごとに適したストレッチを、当社社員インストラクターより指導を受け、実施することでストレス解消などのセルフケアに役立てている。



ねぶクリニック



医師とウォーキングサッカーで織りなす、健康長寿時代のスポーツライフ

医療機関で医師が中心となり、健康長寿を目的に、全ての人がスポーツに参加できるように取り組んでいる。そのツールとして、歩くサッカー、ウォーキングサッカーを利用したスポーツへの関心、参加実績、そこからつなげる健康のチェックを計画している。



日本郵船株式会社



チャリティRUN+WALKの実施

令和元年9月から11月の3か月間、社員の健康増進と社会貢献活動を組み合わせたチャリティRUN+WALKを実施している。初年度は皇居外周のみを対象としたが、昨年度より全国へ拡大し、今年度は初の海外展開を試み世界各地のグループ社員が参加した。本店ではプロのコーチによる走り方・歩き方レッスンを開催し、イベント参加費やレッスン受講料に加えて、参加者の走歩行距離に応じた金額を会社が上乗せして「国境なき医師団日本」に寄付した。



一般財団法人日本予防医学協会



作業環境に応じたオリジナル体操『JPMアクティビティ』や各種イベントで組織活性化

運動+組織活性化を目的として、アプリを活用した歩数対決やウォークラリーなど各種運動イベントを定期的で開催している。また、全国の事業所にて、仕事内容や作業環境に応じたオリジナル体操『JPMアクティビティ』を毎日実施している。導入前・後に運動機能テストを実施し、効果検証を行うとともに、各部署から「体操リーダー」を選出し、部署毎に実施しやすい時間を決めて行うなど、継続できる仕組みづくりに取り組んでいる。

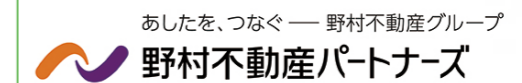


株式会社ネットラーニング



オリンピックを雇用しオリンピックスポーツの普及・発展と社会におけるスポーツの価値向上に貢献。

オリンピックを雇用し、本業とオリンピックスポーツの普及・発展活動の両立を支援。具体的には就業時間中に競技団体の業務や社外活動をする事を承認している。また、活動に対する理解や社員の多様性の理解を深めるために、活動内容を社内ニュースで全社員にインフォメーションしたり、競技の体験会に社員が参加したりするなどの活動を実施。



野村不動産パートナーズ株式会社



障害者アスリートの雇用及び障害者スポーツの普及を支援

雇用アスリートの競技に関わる費用や、競技に集中できる勤務体系による仕事と競技の両立を支援。雇用アスリートが出場するパラ陸上大会に社員が観戦・応援するほか、雇用アスリートを地域イベントに派遣し、子供への障害者スポーツを知ってもらう活動を行った。

NOMURA

野村ホールディングス株式会社



パラスポーツ体験会の実施や情報発信、
アスリートの雇用

パラスポーツの競技団体の活動を支援するとともに、競技の魅力を様々な方法で社内外に発信。役員や社外のステークホルダー参加型のパラスポーツの体験会開催や、競技観戦への誘致を行っている。併せて、イントラネット上でパラスポーツ大会の情報も発信している。

パーソル キャリア

PERSOL

パーソルキャリア株式会社



コミュニティサイト「みんなの部活」で社員の
スポーツ活動を支援、約65のスポーツ系部活が活動

社員の自主的なコミュニティ活動を促進するコミュニティサイト「みんなの部活」にてスポーツや文化など様々なテーマで社員同士がつながり合い、心身の健康向上に役立っている。現在 170 以上の部活動が登録。そのうち約 65 がスポーツ系で、フットサルや野球といったメジャースポーツから e スポーツ部、ジークンドー部（格闘技）などニッチなものまで幅広いコミュニティが活動している。

hasetai

長谷川体育施設株式会社



アスリートによる陸上教室、社員のスポーツ
活動支援など、スポーツに親しむ機会を創出

陸上部に所属するアスリートの競技活動を積極的に支援している。
また、社会貢献活動として、自治体が主催する陸上教室や講演会へアスリートが講師として参加し、スポーツ交流を実施している。
さらに、社員の健康管理や体力増進、社員同士の親睦を図るためにスポーツサークルの活動を支援するなど、スポーツに親しむ・参加する機会を設けている。

長谷工 コミュニティ

HASEKO

株式会社長谷工コミュニティ



フットサル部・野球部の運営支援/
ウォーキング推奨イベントの参加

フットサル部は、毎月、練習や交流試合を実施している。大会にも参加しており、今後、更に活動の幅を広げていく予定。
また、ウォーキング推奨イベントでは、各部署から 4 人 1 チームを選出し、一定期間のチームメンバー合計の歩数を競い、上位のチームへの景品、参加したチームへ抽選で景品を用意している。
長谷工グループ全体の取組となるが、長谷工コミュニティとして積極的な参加を促している。



株式会社HIEROPHANT



トレーニングジムでの、就業時間内における
週1回1時間程度のトレーニングの実施

デスクワーク中心の仕事に伴う運動不足になりがちな環境を解消するため、弊社が連携する企業にご協力いただき、従業員一人一人の目的に合わせた形で、パーソナルトレーニングを実施している。



株式会社バイタルエリア



プロサッカー選手志望者の積極的な
新卒・第二新卒での採用

プロサッカーを目指して大学 4 年生まで活動し、全国レベルのチームでレギュラークラスとして試合に出場し、プロになれなかった選手の積極的な新卒採用。
サッカー部×IT での社会人としての成功を目指す取組を行っている。



株式会社パソナグループ



社内スポーツ大会の実施

パソナグループ各社の社員とその家族が、スポーツを通じて互いに知り合い、グループ内のコミュニケーションを促進するとともに、健康的な身体作りを意識する機会として「パソナグループ大運動会」を開催している。
また、2016 年からは兵庫県淡路島で年齢国籍を問わず誰もが参加できる「UNDOKAI World Cup」を開催するなど、地方創生と健康社会の実現を目指す取組にも注力している。



パナソニックソリューションテクノロジー株式会社



全社運動イベントや各種運動の体験会など、
社員の運動実施率向上への取組を推進

ウォークラリーを開催しチーム対抗で歩数を競い合っている。
また、AJTA（全日本玉入れ）を開催しタイムを競うことで社員の運動機会の増加やコミュニケーション活性化につなげている。
さらに、社員が主体的に運動するきっかけ作りとして、健康増進イベント（フィットネスクラブ体験、オフィスヨガ、ストレッチ等）を定期的で開催している。
加えて、会社の部活動に費用助成を行い活動を奨励している。



バリューアディッド・ジャパン株式会社



社員のスポーツ活動の推進と
健康維持への取組を推奨

始業時のラジオ体操の実施、スタンディングミーティングの実施、ミーティングスペースの椅子をバランスボールに変更するなど、運動不足の改善や体感トレーニングを日々の勤務時間中に取り入れる事による運動機会を推奨している。
また、新たにオフィス内にエアロバイクを設置し、社員が運動不足の改善や健康維持に取り組むことができる環境を提供推進している。

VALUE HR

株式会社バリューHR



皆で生活習慣改善イベントに参加、
団体対抗ウォーキングを実施

生活習慣バージョンアップチャレンジ「くうねるあるく」のイベントを開催している。
イベントに参画する健康保険組合の組合員とともに従業員も参加し、団体対抗ウォーキングを年2回実施している。
参加者のスマートフォン計測データの歩数を専用アプリ経由でWEB画面に反映している。
また、ランキングに応じたインセンティブを付与するなど、従業員を含めた参加者の運動習慣の定着を支援している。



株式会社ピーエスシー



健康維持増進、組織を超えた
コミュニケーションの活性化を目的とし、
全社運動会や各種スポーツ活動を実施

全社運動会（健康経営の一環で、社員の運動意識を高めることや、スポーツを通じた他部門とのコミュニケーションを図るために開催）、スポーツサークル活動（9種類のスポーツにて毎月1回活動を実施、ITS健康保険組合主催の大会に参加）、PSC体操の実施（朝礼の際に肩甲骨などの上半身のストレッチを中心とした独自の体操を約3分間にわたって実施）を実施している。



BSP社会保険労務士法人



健康経営最前線！社会保険労務士事務所から全国の
事務所に健康を発信します。食事、睡眠そして運動の
すばらしさを共有する社会保険労務士事務所

健康経営を率先し、残業の禁止や有給の使用の励行など、労務管理上の健康管理を進めるほか、運動の大事さも従業員と常に共有している。季節ごとに、従業員の歩数競争でトップ成績の者に対して、ウォーキングボーナスを支給。スポーツのすばらしさを折に触れ話し合い楽しんでいる。



株式会社バリュー・エージェント

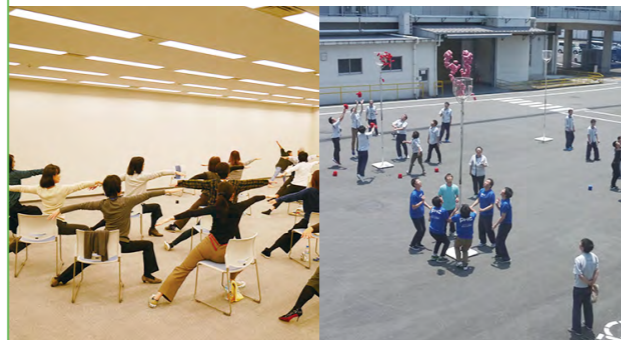


社内でのストレッチ・階段利用推奨
駅伝・トライアスロン大会への参加

朝礼時に各事業所でストレッチ、階段利用を推奨・実施している。
また、週に1度皇居ラン&ウォーキングを実施するほか、企業対抗駅伝やトライアスロン大会にも参加し、スポーツ活動を通して社員の交流と健康向上を推進している。



PHC株式会社



社員の「健康意識」と「職場コミュニケーション」の向上を目指し健康イベントを企画

1人でも気軽に参加できる健康イベント（ウォークラリー、オフィスヨガなど）と、チーム参加型の健康イベント（AJTA、ソフトバレー、リレーマラソンなど）を各事業場の特性に合わせて開催している。AJTAは一事業場で100チームを超えるほど盛んで、6人のチームが100個の玉全てを入れ終わるまでの時間はわずか20秒（過去最速は14.4秒）である。第2回企業交流AJTA大会2019では見事優勝を収めた。



株式会社ビジネス・ブレイン



仕運健の三位一体

平成30年度に「ビジネス・ブレイン運動部」が発足し、マラソン大会への出場やスキー日帰り合宿、アーチェリー等、日頃の事務業務から離れ、身体を使う機会を定期的に持っている。
季節に合わせてスポーツの機会をこれからも作っていく予定である。



株式会社ビックカメラ



アスリートの雇用及び普及推進活動
(女子ソフトボール、陸上競歩)

女子ソフトボール、陸上競歩の選手を雇用し、活動支援を行うとともに、各競技の社内応援ツアーを開催し、従業員がスポーツに触れる機会を設けている。
また、市区と連動し小中高生を対象にしたスポーツ教室を実施。
技術力向上、基礎体力構築に向けた取組を積極的にやっている。



株式会社ファモサライフ



出社・営業先訪問など、最寄り駅から
徒歩20分以内の距離は「歩きましょう」を推進

会社全員の健康促進として、社長も含め、社員全員
に出社、営業先へ訪問する際、最寄り駅から徒歩20
分以内の距離の場合、車、バス、自転車などを乗らずに、
「歩きましょう」というプロジェクトを実施している。
月初めに感想を話し合い、健康以外、全員の結束力
を高める。



株式会社フィナンシャル・エージェンシー



部活動・サークル活動支援、社内プロ選手の
活動支援のほか、スポーツ交流会などを実施

2013年より、誰でもサークルや部活を立ち上げることが
出来るアスリート制度を制定し、5つの部活が活動している。
2018年にはバスケットボール3×3分野でプロデビュー
を果たした従業員もおり、活動支援として遠征費用等の支
給、業務支援を行っている。
2019年より就業後にスポーツ交流会を開催しており、
運動不足解消など従業員の健康増進に加え、部門や役職を
超えたコミュニケーションの活性化にもつながっている。



株式会社フォーバル



パラアスリートの雇用や実業団バレーボール部
の運営、クラブ活動を積極支援

パラリンピック正式種目であるボッチャBC3クラスの高橋
和樹選手を雇用し、パラスポーツを支援している。
実業団バレーボール部「フォーバルボンズ」を運営。BON
DS(絆)という名には、社員や家族、社会などスポーツを通
じてさまざまな絆を深めていきたいという願いを込めている。
さらに、ボルダリングやフットサル、テニス、釣り、野球な
どのクラブ活動を支援し、運動習慣の促進とともに社員のコ
ミュニケーションづくりを推進している。



株式会社福しん



健康経営による
健康意識向上の第一歩

全社ではなく工場一丸からのスタートだが、全社一丸
へ向けて躍進していく。
まずは、朝礼時のラジオ体操とスタッフ全員に歩数
計を持たせ、年間集計による表彰と商品を用意してモ
チベーションアップに繋げていく。



株式会社 FiNC Technologies



全体トレーニングやクラブ活動推進により
楽しく運動習慣を身に着ける。

全社で実施するウェルネスタイムや部活の推進により
楽しく運動習慣を身につける全体朝礼時にウェルネスタ
イムを実施。社内のトレーナーが姿勢改善やストレッチ
などトレーニングを従業員に対して毎週実施している。
また、運動強化週間(ウェルネスウィーク)を毎月設け、
ウォーキング、テニス、ヨガ、ボルダリング等に希望者
が各部活に参加することができ、部署関係なく集まる
仲間とコミュニケーションの促進にも寄与している。



株式会社フォーイト



毎朝社員全員でのラジオ体操を実施しているほか、
社員自ら部活動に取組み健康意識を高める

体の目覚めとコミュニケーションを促進させるため、毎
朝全社員でラジオ体操に取り組んでいる。適度な運動によ
り心身共にリラックスした状態で仕事に取り組めること
から、作業効率が良くなっている。
土日は自発的に社内部活動に参加し、普段かかわりの
少ない社員と汗水流すことで、チームワーク作りと健康
意識を向上させている。



株式会社フジクラ



ザ・コーポレートゲームズ東京に参加

第1回から継続してザ・コーポレートゲームズ東京に
参加している。年々参加者数が増え、リレーマラソン、
ボウリングに加え、今年度はフットサルを加えた3競技
で40名を越える参加者数となった。大会後に互いをた
たえ合い美味しいお酒を飲み交わすのも楽しみのひと
つとして堪能した。コミュニケーションの活性の場とし
て盛り上がっている。来年度は更に参加人数と種目を
増やして参加を計画している。



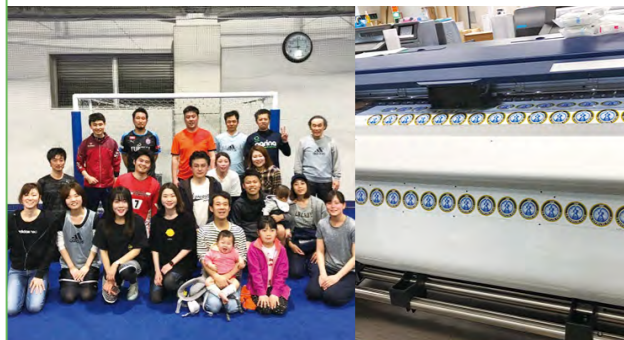
藤倉コンポジット株式会社



スポーツで心と体をリフレッシュ、
みんなの健康増進を支援

ゴルフ、ボウリング、登山、バスケット、フットサルなどスポーツイ
ベントの実施を奨励し費用補助している。
また、地域のソフトボール、バドミントンなどスポーツ大会に会社代
表チームを結成し参加している。
さらに、ノルディックウォーキングを推奨し、インストラクター指導
のもと希望者にポールを貸与し実践している。
加えて、希望者へウェアラブル活動量計を配付し、健康管理ポータル
サイトを併用して健康管理と運動習慣への意識向上を推進している。

株式会社フジサワ・コーポレーション



なでしこリーグチーム支援と環境保全の両立及び
フットサルの実施等多様なスポーツを通して社内の活性化

製造業を営む上で避けることができない端材を活用してステッカーを制作し、スフィード世田谷（なでしこリーグ）に提供し運営に役立ててもらっている。
また、フットサルの開催、富士スピードウェイで行われるママチャリグランプリへの参加など、社員の発案で気軽に参加できるスポーツイベントを実施している。

富士通エフ・アイ・ピー株式会社



誰でも気軽に取組める
健康づくりを推進

手作りDVDによる筋トレメニューの紹介、ポスター掲示による階段利用の促進、VDT対策等、誰でも気軽に、継続して取組むことのできる健康づくりを推進し、社員一人ひとりの健康意識の向上を図っている。

ブリヂストン健康保険組合



毎日の歩数を個人やチームで楽しく競いながら
記録するウォーキングキャンペーン

個人またはチームで、1日の目標歩数を5,000歩に設定し、約2か月間毎日の歩数を記録する。
総歩数に応じてポイントが付与され、景品と交換できるキャンペーンを実施した。

ブリヂストンスポーツ株式会社



スポーツを通じて世の人々を
健康・幸せにし、夢を提供

従業員へのスポーツを通じた健康づくり機会の提供のため、年間3日間のスポーツ休暇制度を導入。
また、バランスボールを椅子にした「健康的な会議室」やコンディショニングスペースの設置、社内でのポッチャ体験会の開催など、社内ですポーツに取組める環境も整備している。

富士ネットシステムズ株式会社



スポーツ活動の応援、アスリート及び
指導者の積極的な雇用の推進

アスリートの雇用を推進し、採用後もスポーツ活動への取組を積極的に応援している。
アスリート選手やコーチ、指導者の練習日、試合日や指導日は全従業員やお客様の理解を得る職場環境の構築に取り組んでいる。
アスリート社員が所属するアメリカンフットボールチームの試合の時、当社の従業員やその家族は試合会場に行き、応援している。

株式会社フュービック



シーンに合わせた「健康増進プログラム」で人の未来を
大きく、応援する。健康的に歳を重ねる習慣に革命を起こす!

コミュニケーション活性化・健康増進を目的に、社内部活・スポーツ朝礼などイベントやオフィス内など様々なシーンで、1,000人のストレッチトレーナーが考えた「健康増進プログラム」を提供している。
社員の9割が元アスリートのため、スポーツ経験を活かした取組を積極的に実施。過去1万人以上の健康増進の場をサポートしている。

有限会社プレミナ



「目指せ月間100万歩!みんなで歩こう
プロジェクト」の実施

1日1万歩、1ヶ月間でスタッフ合計100万歩を目標に、パソコン作業が多い事務局スタッフが積極的に体を動かす機会となるように実施している。
主に通勤時間の階段の利用に加え、業務中にも意識的に体を動かすなどこまめな運動を日々心がけている。
月間目標達成で社長から報酬が出ることに加え、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催もモチベーションUPに繋がり、社内の円滑なコミュニケーションに役立っている。

フロンティアコンストラクション&パートナーズ株式会社



ザ・コーポレートゲームズへの参加、
社内クラブ活動への支援

企業対抗のスポーツ大会である『ザ・コーポレートゲームズ東京』に初開催の2014年から50人以上の規模で参加。職場で任意のチームを結成、当日は揃いのTシャツを着用してリレーマラソンや綱引などなど4種類の競技に出場している。
また、会社公認の運動クラブに活動補助金を提供し、施設利用料などに活用してもらうとともに、クラブ活動を通じて様々なメンバーとの社内交流を推進している。

BX
文化シャッター
文化シャッター株式会社



自社実業団チームによるスポーツ教室の開催やアスリートのセカンドキャリア支援

地方公共団体と連携し、アルティメット自社実業団チーム「文化シャッター Buzz Bullets(バズ・バレッツ)」によるフライングディスク教室、アルティメット大会を実施するなど、次世代育成や障害者スポーツ支援を中心に活動を進めている。
また、アスリートのセカンドキャリア支援にも力を入れており、従業員として働く元アスリートは、営業部門で優秀セールス賞を受賞するなど、スポーツで培った経験を活かして活躍している。

平和不動産株式会社
平和不動産株式会社



職員スポーツクラブ活動への活動支援

当社グループ企業の職員及びその家族も参加できる社内スポーツクラブ活動(野球部、サッカー部)への活動支援(活動費の補助など)を通じて、職員及び家族等の健康増進及びコミュニケーション活性化を推進している。

Venture Bank HOLDINGS
株式会社ベンチャーバンクホールディングス



社員のリフレッシュや運動機会創出のための取組&トップアスリートの活動を支援

朝活(瞑想)・夕活(ストレッチ体操)を毎日実施するほか、社員の運動機会創出を目的として、グループ社員及びその家族が参加するSPORTS FESTIVALや、就業時間内にグループ内のフィットネスなど各種サービスを無料で利用できる制度を実施している。
また、トップアスリートの活動支援として、競技活動のほかに、講演会やイベント、地域のスポーツ教室への派遣などを積極的に行っている。

Hogrel®
ホグレル株式会社



競技と仕事を両立した部活動
ホグレル硬式野球部

2017年より競技と仕事を両立した部活動ホグレル硬式野球部を発足し、2019年度 JABA 東京都野球連盟に正式登録された。選手は、都市対抗本大会出場を目指し、週3日間、荒川河川敷にある板橋区の戸田橋グラウンドで日々練習に励んでいる。
練習日以外は、マシンの組立・メンテナンス・使い方の説明、高齢者の体操教室・直営店舗での会員様対応など、フルタイムで仕事に従事し、業務を通じて社会貢献をしながら、自身の目標達成へ向かって邁進している。

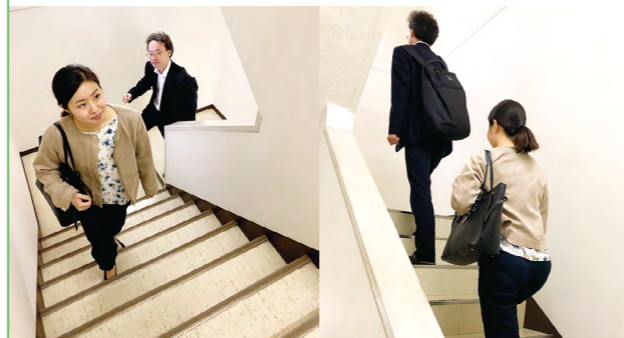
B Benefit one
株式会社ベネフィット・ワン



健康ポイントを活用したイベントや、企業対抗スポーツ大会の実施

社員の健康意識や活力向上を目的として健康ポイントプログラムを活用し、歩数を競い合うウォーキングチャレンジを実施。野球やヨガ等、会社公式クラブの活動補助を行い、スポーツを通じた健康づくりを支援している。
また、自社サービス「ベネフィット・ステーション」の福利厚生会員向けに、企業対抗スポーツイベントを13年連続で実施。社内外問わずスポーツを通じた健康づくりに積極的に取り組んでいる。

BELAIR
株式会社ベルエアー



部署対抗で行う徒歩通勤と階段使用の回数チャレンジ

社員全員に徒歩通勤と、オフィスがある7階までの階段使用を促進することで、日常生活に運動を習慣づけている。
新宿三丁目駅から新宿御苑前(弊社所在地)までの徒歩通勤を1ポイント、新宿駅から新宿御苑前までを1.5ポイントとし、オフィスのある7階までの階段上り・下りを0.5ポイントとして、各自が毎週集計表に記入している。
月ごとに部署別に1人当たりの平均値を出し、優秀部署には、社長賞を進呈している。

10th Anniversary OFFICE RELAXATION Voyage
株式会社VOYAGE



意識しないで毎日健康・ウォーキング通勤のほか、始業時にはVOYAGEストレッチを実施

通勤時に会社の最寄り駅から一駅前を降車駅とし、会社まで地下道を歩く仕組みを導入している。
また、始業時に独自のストレッチを実施している。
さらに、社内 SNS を通し、ストレッチの方法を紹介しあって効率よく取り組んでいる。

MASH DESIGN LAB
株式会社マッシュスタイルラボ



社内外スポーツイベントへの参加を会社として推進

社内のイベント「ウェルネスウェンズデー」への参加を推奨。月1回就業中及び、週1回就業時間前後にヨガやランニング、ウォーキングのほか、体幹トレーニング、ファイトネス、ゴムバンドトレーニング等の講習へ参加できる環境を提供している。
また、社外のスポーツイベントへ、グループ企業と一緒に参加。会社の垣根を越えてグループ企業とともにスポーツを楽しんでいる。



株式会社マッシュスポーツラボ



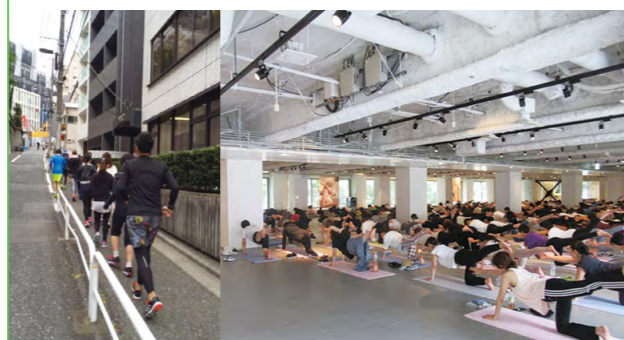
障害者アスリートの講演会を通じた パラスポーツへの理解促進

雇用している障害者アスリートの講演会、取材、イベント参加における支援を行い、パラスポーツへの理解促進に努めている。

また、「国際ヨガの日」のヨガイベントを本社社屋で開催。グループ企業に属する約400人が参加する等、グループ企業全体にスポーツに接する機会を提供。店舗で勤務するスタッフも参加するなど、会社全体がスポーツに対して興味を持ち、取組んでいる。



株式会社マッシュセールスラボ



週1回ヨガ・ランニング等の社内講座 (ウェルネスウェンズデー)への参加を推進

就業時間内及び就業時間前後に社内で行われるスポーツイベントへの参加を推奨している。就業時間内においては、月に1回開催、全員参加を原則としており、社員がスポーツや心身の健康に向き合う時間を確保している。就業時間前後においては、週1回、任意の参加者で活動している。

また、「国際ヨガの日」のヨガイベントにも全員が参加するほか、社外のスポーツイベントにも積極的に参加している。



株式会社マッシュフーズ



グループ企業主催の「国際ヨガの日」 ヨガイベントに社員が参加

「国際ヨガの日」のヨガイベントや、就業時間内及び就業時間前後に社内で行われるヨガやランニング等を行うイベント「ウェルネスウェンズデー」等、グループ企業が主催しているスポーツイベントに社員が参加できるように調整している。

月1回就業中に行う「ウェルネスウェンズデー」の日のランチには、運動後の体に効果のある食事を提供。スポーツに取組みやすい環境を用意している。



株式会社マッシュホールディングス



障害者アスリートの支援及び、グループ 企業も参加できるスポーツイベントを企画

グループ内で雇用している障害者アスリートの競技会参加に際し、グループ内観戦ツアーを企画。

また、ベーシックスローガン『ウェルネスデザイン』という概念に基づき、月一度、就業時間内にウェルネスウェンズデー（ランニングやウォーキング、ヨガ等の講習）を実施。グループ企業も一体となり取組めるよう運営。

さらに、社内外のスポーツイベントにも積極的に参加。社内には運動後に使用できるシャワールームを完備。



株式会社マッシュデザインラボ



社内外スポーツイベントへの参加を 会社として推進

社内のイベント「ウェルネスウェンズデー」への参加を推奨。月1回就業中及び、週1回就業時間前後にヨガやランニング、ウォーキングのほか、体幹トレーニング、ファイトネス、ゴムバンドトレーニング等の講習へ参加できる環境を提供している。

また、社外のスポーツイベントへ、グループ企業と一緒に参加。会社の垣根を越えてグループ企業とともにスポーツを楽しんでいる。



株式会社マッシュビューティーラボ



障害者アスリートの 大会観戦ツアーへの参加

グループ企業が雇用している障害者アスリートの大会観戦ツアーに、家族も交えて参加。パラスポーツに興味を持つ社員が多く在籍する。

また、グループ企業が主催しているヨガレッスン以外に、自社内でヨガの講師を招きレッスンを開催するなど、心と体のウェルネスに対し、積極的に取組んでいる。

本社で行われるヨガ等のイベントの際は、グループ企業が雇用中の障害者アスリートも参加している。



マニユライフ生命 マニユライフ生命保険株式会社



アプリを活用した健康増進の取組に加え、 スポーツを通じた社会貢献活動を実施

健康増進と社会貢献を同時に行うことができるアプリ「マニユライフウォーク」を活用した継続的な取組に加え、プロランナー・大迫傑選手のスポンサー活動や大阪市長居公園でのランニングイベントなど、スポーツを通じたさまざまな活動や地域社会への貢献活動を展開している。



株式会社丸井グループ



自ら手を挙げて参加する社員主体の プロジェクト活動及び、障害者アスリートの支援

自ら手を挙げて参加する「ウェルネス経営推進プロジェクト」は2016年からスタートし、社員の運動習慣向上などのウェルネス活動を推進している。

その一環として今年も、社員の健康増進と職場の生産性向上を目的としたラジオ体操動画を作成した。社員120名が参加したこの動画は、東京都主催のみんなでラジオ体操プロジェクト動画コンクールで「入賞兼特別賞」を受賞した。

また、日本ブラインドサッカー協会の公式スポンサーとして、選手のスーツの提供や営業店(マルイ・モディ)で体験イベントを開催するなど、ブラインドサッカーの認知拡大に寄与している。



株式会社マルハン



スポーツテスト・ウォーキングイベントの実施、 パラアスリートの雇用

自身の現状を知り、今後の健康増進に生かすことを目的として、マルハン健康保険組合と連携し、文部科学省の新体力テスト実施要項に定められた6項目を測定する「大人のスポーツテスト」とチーム対抗のウォーキングイベント「歩活」を実施している。チェアスキー、電動車椅子サッカーのパラアスリートを雇用している。

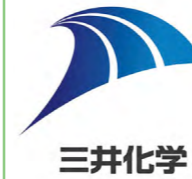


ミサワホーム株式会社



部署対抗ウォーキングキャンペーンやサークル活動による職場の団結力と健康意識の増進

健康経営を推進する本社ヘルスケアチームと、各支店の健康づくり担当者が、半年に一度、支店対抗ウォーキングキャンペーンを実施。この運動習慣と団結力を育む取組は会社を挙げた新宿シティーハーフマラソンへの協賛と参加に発展し、社内外での健康意識の向上に貢献。また社内各種サークル活動では、部署横断での社員間交流の活性化を促すとともに、文化・体育活動を促進し、社員同士の心身の健康増進に取組んでいる。



三井化学株式会社



運動量等によって得られるマイルを貯めるヘルシーマイレージ合戦!

運動等によりポイントを獲得し、チームまたは個人で競い合う社内スポーツを実施している。スマホアプリからも登録・利用が可能で、日々の生活やイベントへの参加で獲得したポイントが様々な健康グッズと交換できるなど、参加のしやすさ、継続して楽しめる点が、社員の健康意識の向上に寄与している。

三井住友海上

MS&AD INSURANCE GROUP

三井住友海上火災保険株式会社



気軽に楽しめるスポーツコンテンツを充実させ スポーツを通して明るく活力ある社員に!

スポーツは健康で健全な社会づくりに繋がるものであり、「挑戦、スポーツマンシップ、諦めない姿勢、感動の共有・共感」といったスポーツが持つ意味は当社の経営理念に通じるものがある。全社員が気軽に楽しめるスポーツコンテンツを充実させ、また柔道教室やランニング教室などのスポーツを通じた地域貢献も進めている。これからも積極的にスポーツ振興に取組み、活力ある企業文化を社内外に発信していく。



ミズノ株式会社

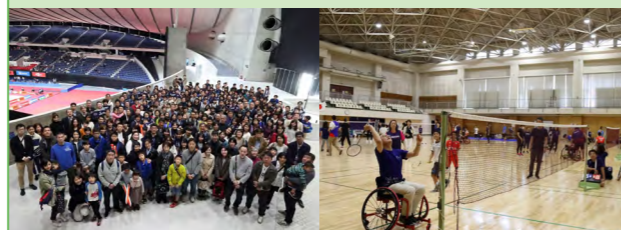


従業員のスポーツ実践奨励及び 地域のスポーツ振興活動の実施

社内外のスポーツイベントへの社員参加を奨励しているほか、弊社オリジナル体操の実施等を通じて、従業員のスポーツ実践を支援している。加えて、第一線で活躍したアスリートOB/OGによる実技指導を行う「ミズノビクトリークリニック」の開催や、社員によるスポーツボランティアに関する表彰制度等により、地域のスポーツ振興活動に取組んでいる。



株式会社みずほフィナンシャルグループ



障害者スポーツを含めたスポーツの推進・普及に向けた支援や社内外の取組を実施

スポーツ大会協賛、スポーツ団体協賛を通じた支援とともに、社員とその家族を対象とし、障害者スポーツ競技を含めたスポーツ観戦イベントを実施し会場を盛り上げている。観戦以外にも、パラバドミントンやポッチャの体験会、アスリートを招聘した講演会を実施。グループ全社員が参加できる部室店対抗のウォーキング大会では、ウォーキングアプリを使って45日間の部室店平均歩数を競い合いながら、スポーツへの取組むきっかけ作りを行った。



三井不動産株式会社



社内スポーツ活動の支援と社内外を巻き込んだ ウォーキングキャンペーンの実施

社員の健康と安全が、企業の持続的成長に欠かせない重要な課題と捉え、社員の健康維持・増進、また社外への発信に積極的に取組んでいる。「ザ・コーポレートゲームズ東京」の参加補助や社内スポーツ活動に対する費用補助をするだけでなく、日本予防医学協会と業務提携し、開発した企業の健康経営推進に資するソリューションサービス「&well」(アプリ)を用いて、チームごとに期間中の平均歩数を競うチーム対抗戦(ウォーキングキャンペーン)を社内外で実施している。



三井不動産レジデンシャル株式会社



SDGsマルチスポーツ フェスティバルの推進

スポーツを通じた社会課題の解決と誰もが楽しめる大会となることをビジョンに掲げ、健康増進とダイバーシティの推進を目的とした「ザ・コーポレートゲームズ東京」を企画運営している。

公益財団法人三菱養和会



駅から徒歩2分の巣鴨グラウンド、
65台駐車可能な調布グラウンドを地域に開放

東京都が行う「TOKYO スポーツ施設サポーターズ事業」の目的に賛同し、令和元年10月1日より当会が保有する巣鴨スポーツセンター（豊島区）と調布グラウンド（調布市）の一部施設を開放。会員等の利用予定がない日時（平日）に、各施設のグラウンドを貸出している。

医療法人財団健貢会 総合東京病院



グループ内の球技大会・運動会への参加と
部活動による職員の運動促進への取組

当グループでは、職員の健康増進と職員間の親睦を目的に、毎年5月に球技大会、10月に運動会を開催している。当院は2010年から、毎年約70名のスタッフが参加し、今年度はグループ内の約20箇所の病院・施設が集まり、6～7種目の競技を実施した。また、当院は2019年4月に部活動を発足し、職員の健康増進と職員の交流を目的に、月に1度、野球部とサッカー・フットサル部が活動している。

明和地所株式会社



社内にトレーニングジムを完備・フィットネス
プログラムなどスポーツに親しむ機会を創出

グループ会社を含めた従業員の健康と活力の増進を図ることを目的に、社内に設置したトレーニングジムを開放している。また、月に数回程度、外部講師によるヨガやストレッチなどのフィットネスプログラムを実施するなど、スポーツに親しむ機会を創出している。さらに、小学生を対象としたサッカー大会「ジュニアフットボールフェスタ CLIO CUP」に従業員を派遣し、大会運営補助や情報発信を行うなどのサポートを行っている。

株式会社メディヴァ



自発的な健康推進チームや部活動が紡ぐ自他共に
成果がみえる健康保持増進活動の推進

社員の自発的な健康推進チームと部活動により、ウォーキングを軸に柔軟なアイデアとシームレスな取組を実施中。豊かな人生100年を歩む食・運動・働き方のリテラシー向上勉強会、未経験者をフルマラソン完走まで指導する活動を10年以上継続、削減した交通費で途上国の貧困飢餓対策に貢献する活動など、社員が自然に、個人や組織だけでなく社会課題に呼应できる取組を展開している。

株式会社ムラウチドットコム



スポーツイベントへの参加など全社で
スポーツを奨励してブログで共有

スポーツメディア「スポリート」の運営やスポーツ用品販売などから全社でスポーツ奨励の土壌ができています。朝礼での体操時間の設定やスポーツイベント参加や応援など、定期的に身体を動かす機会も提案している。また、その体験を自社運営ブログサービス「にほんブログ村」や「ムラゴン」にて社員が自由に発信できる環境を作っている。

公益財団法人明治安田厚生事業団



運動に対する垣根を低く、興味を参加に!
楽しみながら、いつのまにか活動量UP!

健康づくりの専門家集団として、オリジナルのプログラムを考え、実践、その成果を情報発信している。今回は特に運動に対する無関心層に働きかけ「いつの間にか運動していた」という仕組みづくりを心がけた。Lunch time スロージョギングは負担なく活動量も歩数もUPした。座りすぎ解消として3年間続けている1分間ランニングは最後にアドリブエクササイズを加えて、バージョンアップしている。

株式会社メディカルネット



モットーは文武両道。部活動を奨励し、
仕事もスポーツも真剣に楽しむ環境を整備

皇居ラン部は月一回実施。本社・グループ会社の垣根を超え、新入社員からベテラン社員まで誰でも参加可能。毎回5～20名が参加し、皆で1周約5kmの皇居の外周を走る。ランニング後には、従業員だけでなく他社の人間も交じえた懇親会を開催。スポーツをきっかけとした他業種との交流の機会となっている。また、年2回開催の駅伝部や、IT フットサルリーグで優勝実績のあるフットサル部など、さまざまな部活動を実施している。

株式会社モリサワ 東京本社



一瞬の感動を、永遠の文字に。

「文字を通じて社会に貢献する」という経営理念のもと、ユニバーサルデザイン (UD) 書体の研究など、だれにでも優しい製品の開発・提供に取り組んでいる。こうした事業活動を踏まえ、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 (JPSA) のめざす「スポーツの価値をだれもが享受できる社会の実現」という活動主旨に賛同し、2015年1月よりJPSAのオフィシャルパートナー、2019年11月より一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟に協賛している。



矢崎総業株式会社



スポーツを通じた従業員同士の
コミュニケーションの促進と健康増進

組織として一体感を醸成・活性化させるため、従業員とその家族を対象に社内運動会（オール矢崎体育大会）を年に1回開催している。
また、勤務時間外の自主的な各クラブ（野球部・サッカー部・陸上部・バレーボール部・卓球部等）に会社から費用を補助し活動を支援している。
さらに、ウォーキングイベントを実施するなど、従業員自らが心身両面の健康を保持・増進できる各種取組を行っている。



株式会社YAZ



運動活動に対する支援と、大会で優秀な
成績を取めた運動部には遠征費支援

毎年6月の創立記念日に全社運動会「YAZ-FES」を開催し、新入社員が中心となり、先輩社員と企画立案、準備、運営を通じて、コミュニケーションの活性化に貢献している。
また、運動部活動に対して活動費用を支給し、活動を支援している。

オーダーメイド枕の店



Futonto株式会社 (旧 株式会社大和屋ふとん)



健康経営で「世界を朝から元気にする」
スポーツ観戦及びザ・コーポレートゲームズへの参加

企業対抗運動会の「ザ・コーポレートゲームズ東京」のリレーマラソンに毎年従業員の半数を占める総勢60名が参加している。2019年はパラスポーツであるポッチャにも初参加し、優勝を勝ち取った。
また、サッカーJ1リーグの観戦チケットを従業員への福利厚生として提供し、企業同士のミニサッカー大会へのイベントにも積極的に参加している。従業員やその家族の健康促進と共に、ストレスの解消にも役立っている。



ヤマトロジスティクス株式会社



朝礼時の体操やグループ会社対抗野球大会、
ウォーキングイベント、ヨガレッスンを実施

全社員が無料で使える生活習慣改善アプリの提供や、健康保険組合と連携し、社員を対象とした一定期間内の歩数を競うイベントを年に数回開催している。個人戦で社員の運動習慣化を図るとともにチーム戦で社員同士のコミュニケーションの促進を図っている。
また、朝礼時の体操やグループ会社対抗野球大会、都内ウォーキングイベントなどを開催し、社員の運動習慣化に向けた取組を実施している。就業時間終了後、会議室を利用してヨガレッスンを開催し、心身のリフレッシュに役立っている。



ヤスマ株式会社



スポーツイベントを通じて、事業所間及び
社員間のコミュニケーションがアップ。

全ての事業所の社員が参加するフットサル大会、事業所単位で実施するボウリング大会、ヨガ教室等のイベントを実施することで、社員間のコミュニケーションアップとスポーツを実施する社員増にも繋がっている。
また、当社の所属団体が開催するフットサル大会、ポッチャ大会にも積極的に参加することで、他社との交流にも役立っている。



ヤフー株式会社



スポーツ支援を通じた
「UPDATE コンディション」の実現

パラアスリートを雇用し、スポーツ選手としての活動と業務において努力し、夢に挑戦することを応援している。
また、全社員に歩数を確認できるスマートフォンを貸与し、社内ポスターを活用して、男性9,000歩、女性8,500歩を推奨。YG健康保険組合とのコラボヘルス事業として、スマートフォンを活用したウォーキングラリーを実施。運動を含め、さまざまなジャンルの社内クラブ・同好会の活動を支援している。



山本光学株式会社



ラジオ体操実施、ウォーキング・階段使用奨励、
アスリート社員雇用、水泳部のサポート

全社で朝のラジオ体操を実施、社員へ体組成計を貸与し、階段使用と日々の運動を奨励、定期的にウォーキングイベントを開催し、歩数の結果に対して表彰を実施している。
また、アスリート社員を雇用し、全社で応援、社内水泳部は日本実業団大会へ出場し活躍している。



株式会社ユカ



各支店対抗の野球大会・
フットサル大会の実施

各支店が参加する野球大会やフットサル大会を毎年実施している。
この取組を通じて、社員の健康増進、スポーツ推進はもとより、コミュニケーションの円滑化を図っている。
各支店の対抗戦なので、支店の仲間との絆が深まり、普段話さ事のない他支店の人とのコミュニケーションも取れる。

YOKOGAWA ◆
Co-innovating tomorrow™

横河電機株式会社



隙間時間に体を動かす「オフィスポ」の展開と自社グラウンドの地域への開放

業務の隙間時間に体操やストレッチなどで体を動かす「オフィスポ」を職場や個人単位で実施するほか、健康保険組合とのコラボレーションによりウォーキングを推奨している。

また、近隣の幼稚園、保育園に自社グラウンドを開放し、子供たちがスポーツや自由に走り回る楽しみ、喜びを味わえる場を提供している。

YOKOGAWA ◆
横河レンタ・リース株式会社

横河レンタ・リース株式会社



アスリート雇用とパラスポーツボランティアによる社会貢献活動の展開

実業団ラグビー・バレーボール・バスケットボールの選手14名の現役アスリートを雇用しており、試合の応援や大会の様子を社内報やSNSなどで情報共有し、社内全体で応援できるようにしている。中でもラグビーにおいては、「横河武蔵野アトラスターズ/アルテミスターズ」のオフィシャルパートナーとして、スポーツの振興に貢献している。

また、パラスポーツのボランティア活動等に参加するなど、地域社会との交流を図っている。

YOMIKO

株式会社読売広告社



企業対抗のスポーツ大会に6年連続の参加及び社内運動部活動の支援

企業対抗スポーツ大会である『ザ・コーポレートゲームズ東京』に読売広告社グループとして、6年連続で参加している。今年も約230名の社員がリレーマラソンをはじめ、様々な競技に挑戦し、社員間のコミュニケーションをさらに深めることができた。

また、野球部やテニス部、トリアスロン部などの社内運動部5団体に、活動補助金を提供し、業務だけではなくスポーツを通じた社内交流を推進している。

地球を楽しくしたい
RITWAY
PRODUCTS JAPAN

ライトウェイプロダクツジャパン株式会社



スポーツ自転車を用いた自転車通勤を推奨。安全講習会の開催や、自転車消耗品手当を支給。

毎日の通勤に公共交通機関に代わり、自転車通勤を推奨している。

また、自転車通勤へ取り組みたくなる自転車通勤規定を作成。自転車安全利用管理者を定め、自転車の安全利用に関する講習を実施。自転車通勤をする従業員には、特別通勤手当・自転車保険への加入補助手当・消耗品の購入補助手当を支給。警視庁と協力し、より自転車を安全に利用できる自転車通勤規定は、無料で公開し、他社での導入も推奨している。

株式会社ヨネイ

株式会社ヨネイ



スポーツ奨励金の支給で社員のスポーツ活動を支援

社員のリフレッシュと健康確保を目的にスポーツ奨励金を導入している。スポーツジム・フィットネススタジオ・ランニング・野球・ゴルフ・登山・スキーなど幅広いスポーツ・運動にかかる費用の一部を会社が補助している。

また、社内ではウォーキングラリーの開催、スポーツ観戦機会の提供も行っている。

YONEX

ヨネックス株式会社



アスリートの雇用とサポート、スポーツイベントへの支援・参加を実施

スポーツを愛する全ての人に寄り添う存在として、アスリートを雇用し、競技と業務共にサポートしている。

また、バドミントンやゴルフなどのスポーツイベントに支援・参加することで、スポーツの普及促進に貢献している。

LIFENET
LIFENET INSURANCE COMPANY

ライフネット生命保険株式会社



雇用する障害者アスリート考案の体操実施や部活動促進により、社員の健康を増進

社員の心身の健康増進のため、雇用するデフリンピック出場経験のあるアスリート考案の体操動画を配信し、肩こりや腰痛などの改善・予防につながる自席できる体操を紹介している。

また、社外のインストラクターによるダンスを取り入れたクリティカルシンキングの研修を実施し、健康増進機会の提供している。

さらに、部活動を推進しており、ランニング部、テニス部、バスケット部、フットサル部、ヨガ部等が活動している(会社公認の部活動は19部)。



株式会社LAVA International



日本を元気にするため、誰でも楽しめるヨガコンテンツ「エビバリヨガ!」の開発

障害の有無・年齢・性別を問わず誰でも楽しめて、座位でも立位でも全身のバランスが整う構成となっており、カラダも心も温まるヨガコンテンツを開発した。

幅広い方々のスポーツ実施率の向上を目的とし、従業員向けにオフィスでの実施や、福祉ホームにて障害者向けの実施、アプリにて音声サービス提供などを行っている。

「ヨガを通してひとりでも多くの人を幸せに」というスローガンのもと、日本を元気にすることを目指している。



RADIX ラディックス株式会社



従業員が企画・運営する
スポーツサークルの補助

従業員が自主的・積極的に社内サークルの企画運営に取組めるような環境整備に取組んでおり、現在全ての社内サークルが従業員発起で設立、企画運営されているものである。公式戦の際には、役員や従業員の家族などが応援に参加するなど垣根を超えた交流を生み出している。



リアルワールドゲームス株式会社



階段昇降、位置情報ゲームによる
歩く機会の増加、懸垂運動の推進を実施

4階にあるオフィスまでエレベーターを使用せずに昇降することを推進している。
また、建物の最上階までは10階分の階段があるため、オフィスへ入る際に10階まで登ってから4階まで降りる活動も推進している。
社外では、現実世界を歩いてプレイする位置情報ゲームを利用して、楽しみながら歩く機会の増加を推進している。
さらに、事務所に設置した懸垂機器を用いて、上半身を鍛える活動を推進している。



株式会社リクルートオフィスサポート



従業員のアスリート活動を
支援するために制度を創設

東京2020パラリンピック競技大会出場を目指し、アスリート活動に取り組む従業員に対して「アスリート支援制度」を設けている。出場可能性や戦績など一定の条件を満たした者に、練習時間確保のための勤務時間や業務の調整、大会参加費や遠征費の補助などを行っている。
また、近隣で試合があるときは、広報のかけ声のもと、有志の従業員と応援にかけつけている。



株式会社リブワークス



社員の健康は会社の健康!

スポーツを通じて社員の健康を促進したいという思いから、社内スポーツ活動支援制度を設けてフットサルクラブ、ゴルフクラブが現在活動中。従業員だけでなく役員も積極的に参加し職位や年功、支店に関係なくクラブ活動を通じて心と体のコミュニケーション促進ができ、より良い企業風土づくりが出来ている。



リーフラス株式会社



毎朝の本社社員による会社周辺清掃を
兼ねたウォーキングを実施

現場の社員と比べると、運動の機会が少ない本社の社員は、健康増進のため、毎朝、会社周辺の清掃を兼ねてウォーキングを実施している。
毎朝行うことで運動習慣を身につけることができ、普段の生活の中でも階段を利用するなど、運動のきっかけをつくっている。
また、社員同士のコミュニケーションの場にもなっている。



株式会社LIXIL



ラジオ体操や全社ウォーキングイベントなど
運動習慣の推進や、運動関連の教育実施

従業員の運動習慣づくりとして、毎朝全社でラジオ体操を実施するとともに、年2回全従業員を対象とした「LIXILウォーキングラリー」を継続して開催している。
ウォーキングラリーは5,000歩/日と8,000歩/日の2コースとなっており、専用サイトを設け、参加者同士が励まし合いながら楽しく継続できる取組を実施している。
また、運動に関連したテーマで外部講師による健康教育を実施している。



リンテック株式会社



事業所対抗駅伝の実施・板橋区との
連携による区民スポーツ交流

国内全事業所及びグループ会社が参加する事業所対抗駅伝を年1回実施し、選抜チームを募り、民間主催の企業対抗駅伝に参加している。また、本社がある板橋区と連携し、区内の障害者と少年野球チームを東京ドームのプロ野球観戦に招待。さらに、同区が推進している「スポーツで笑顔が輝くまちへ」の施策に賛同して板橋 City マラソンに協賛し、地域のスポーツ振興に寄与している。



株式会社ルネサンス



積極的な健康づくりや部活動の支援など
多様な取組を継続的に推進

「健康経営宣言」のもと、従業員への積極的な健康づくり支援と組織的な働き方改革を推進している。
法人・スポーツクラブの会員に導入している健康アプリを従業員向けにも活用し、食事や運動、睡眠記録の入力により、日々の健康管理に役立てるほか、役員を含む全スタッフが参加し部署、チーム間で健康スコアを競うイベントも定期的に開催している。
また、各種スポーツイベントへの参加促進、社内の各部活動の支援など、多様な取組を継続的に推進している。

LAWSON

株式会社ローソン



「スポーツ大会」と「元気チャレンジ」を
毎年実施し、健康増進と運動を推奨

健康施策「元気チャレンジ！」の1つとして実施している
チーム対抗歩数チャレンジでは、アプリ上でランキングを
掲示し、週平均 8,000 歩以上歩いた場合にはPonta
ポイントを付与し、継続して取組める工夫をしている。

毎年種目を変えながら、全国各エリアで実施している
スポーツ大会(2019年はソフトボール大会)で、歩数チャ
レンジと運動し、歩数上位チームには特典がもらえるなど、
楽しく運動に参加できるようにしている。

wiz

株式会社Wiz



優勝目指して本気の大運動会を毎年開催!スポーツを
通した就活イベントやスポンサー支援なども積極的に実施

毎年社内運動会を開催。スポーツを通してコミュニケーショ
ンが図ることのできる社員に人気 No.1 のイベントになっ
ている。

また、「ジム de リフ」という毎月ジムに通うと一定額補助
される福利厚生制度や、スポーツを通じた就活イベントを設
けているほか、プロ卓球チーム「木下マイスター東京」、プロ
バスケットボールチーム「レバンガ北海道」のスポンサー支援
など様々な角度からスポーツ支援に積極的に取り組んでいる。

あなたの元気を未来につなぐ
Wakunaga

湧永製薬株式会社 東京支社

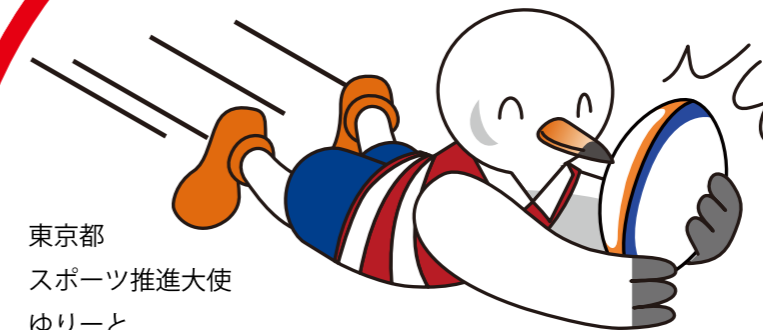


ハンドボールチームのワクナガレオリックを
中心に、スポーツと触れ合う場を提供。

選手は「一流のスポーツマンは一流の企業人であれ、社
会人であれ」をモットーに、日々トレーニングに励んでいる。

また、湧永満之記念体育館及びトレーニングルームなど
の施設は、社員の体力増進のため、全ての社員に開放し
ており、健康産業に携わる企業としてお客様に健康づくり
を提案するためには、社員自身が心身ともに健康であるこ
とが重要だと考え、社員のスポーツ活動を推奨している。

東京都スポーツ推進企業 認定マーク



東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと

TOKYO

東京都スポーツ推進企業

2019認定

令和元年度東京都スポーツ推進企業一覧(50音順)

東京都スポーツ推進殿堂入り企業

令和元年度東京都スポーツ推進モデル企業

1	株式会社アール・シー・ティー・ジャパン	64	株式会社オーエンス	127	ジェイレックス・コーポレーション株式会社
2	株式会社アールビーズ	65	大塚製菓株式会社	128	株式会社識学
3	株式会社IHIエスキューブ	66	株式会社オートバックスセブン	129	株式会社じげん
4	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	67	一般社団法人鬼ごっこ協会	130	株式会社STEAM Sports Laboratory
5	アキレス株式会社	68	株式会社オフィス24	131	株式会社ジップス
6	アサヒ飲料株式会社	69	オリンパステルモバイオマテリアル株式会社	132	清水建設株式会社
7	株式会社朝日新聞社	70	オントフ株式会社	133	株式会社シモン
8	朝日信用金庫	71	株式会社カープスジャパン	134	株式会社JALUX
9	朝日生命保険相互会社	72	花王株式会社	135	株式会社JALサンライト
10	株式会社アシックス	73	カルビー株式会社	136	株式会社JALSカイ
11	株式会社アスポ	74	関西ペイント株式会社 東京事業所	137	株式会社JALナビア
12	株式会社アスリートプランニング	75	管清工業株式会社	138	株式会社ジャルパック
13	株式会社アセトリード	76	株式会社キャプティ	139	出版健康保険組合
14	アデコ株式会社	77	株式会社キャリアコンサルティング	140	公立大学法 首都大学東京
15	株式会社アドックインターナショナル	78	株式会社キューオーエル倶楽部	141	株式会社ジューピターテレコム
16	アドバンスソフト株式会社	79	株式会社協栄	142	城北信用金庫
17	株式会社アドバンテッジリスクマネジメント	80	株式会社ぎょうせい	143	株式会社叙々苑
18	アビームコンサルティング株式会社	81	共同カイトック株式会社	144	SHIRO GYM
19	アフラック生命保険株式会社	82	株式会社協和	145	株式会社シンカーミクセル
20	アポロメディカルホールディングス株式会社	83	協和キリン株式会社	146	株式会社THINKフィットネス
21	株式会社あまの創健 東京営業所	84	株式会社きらぼし銀行	118	信号器材株式会社 東京本社
22	株式会社アミックグループ	85	錦城護謨株式会社 東京支社	148	新東京カイロプラクティック協同組合
23	株式会社アメディア	86	クワリード株式会社	149	株式会社スヴェンソンホールディングス
24	アルケア株式会社	87	株式会社久慈設計 東京支社	150	有限会社すこやか
25	アルフレッシュ株式会社	88	株式会社グッピーズ	151	株式会社スタートライン
26	株式会社アロー	89	株式会社クボタ 東京本社	152	株式会社スタイル・エッジ
27	株式会社ANSIN-LINK	90	株式会社蔵守	153	株式会社スパイス
28	株式会社イーウェル	91	株式会社Criacao	154	株式会社スポーツインダストリー
29	イーオフト株式会社	92	株式会社グリーンハウス	155	スポーツコミュニティ株式会社 東京支社
30	株式会社イーブックイニシアティブジャパン	93	株式会社グリーンハウスフーズ	156	株式会社スポーツビズ
31	イオンモール株式会社	94	京王観光株式会社	157	株式会社スポーツフィールド
32	いちご株式会社	95	計機健康保険組合	158	株式会社スマートスポーツエンターテイメント
33	いちよしビジネスサービス株式会社	96	株式会社KSK	159	株式会社住ゴム産業
34	出光ユニテック株式会社	97	KNT-CTホールディングス株式会社	160	住友生命保険相互会社
35	伊藤忠エネクス株式会社	98	医療法人社団湧泉会 山王リハビリクリニック	161	住友不動産エスフォルタ株式会社
36	伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	99	高栄警備保障株式会社	162	医療法人社団 せいおう会
37	伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	100	公益財団法人江東区健康スポーツ公社	163	セコム株式会社
38	株式会社イトー	101	広友サービス株式会社	164	セコム医療システム株式会社
39	株式会社イトーキ	102	広友物産株式会社	165	ゼット株式会社
40	INSIGHT LAB株式会社	103	株式会社光和	166	株式会社ゼットン
41	株式会社インテック	104	株式会社ゴールドウイン	167	株式会社セディナ
42	一般社団法人ウェルネスウェンズデー協会	105	コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社	168	株式会社ゼネラルパートナーズ
43	ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社	106	国際ソフトウェア株式会社	169	株式会社セノン
44	株式会社ウェルネスファームひょうたん島	107	医療法人社団 ころとからだの元氣プラザ	170	株式会社セブン銀行
45	ウェルネス・ブランド・コーポレーション	108	コナミススポーツ株式会社	171	株式会社セレスポ
46	株式会社ウサギオンライン	109	コニカミノルタ株式会社	172	株式会社ゼロインシャルイズ
47	一般社団法人A-wear協会	110	株式会社コロプラ	173	セトローレ株式会社
48	ANAテレマート株式会社	111	株式会社KOMPEITO	174	セントラルスポーツ株式会社
49	エーオンホールディングスジャパン株式会社	112	サーチファーム・ジャパン株式会社	175	セントラル警備保障株式会社
50	AGC株式会社	113	サイショウ.エクスプレス株式会社	176	全日本空輸株式会社
51	株式会社エコ・プラン	114	サトーホールディングス株式会社	177	株式会社ゼンリン
52	株式会社エスクリ	115	株式会社サニーサイドアップ	178	双信商事株式会社
53	SGホールディングス株式会社	116	株式会社佐沼建築システムデザイン	179	ソフトバンク株式会社
54	NOK株式会社	117	株式会社サンアメニティ	180	損害保険ジャパン日本興亜株式会社
55	NTTクラリティ株式会社	118	医療法人社団 三医会	181	SOMPOひまわり生命保険株式会社
56	株式会社エフピコ	119	サンシン電気株式会社	182	ダイヤモンドヘッド株式会社
57	MS&ADインターリスク総研株式会社	120	サントリーホールディングス株式会社	183	第一生命保険株式会社
58	株式会社エムステージ	121	株式会社CAC Holdings	184	株式会社第一テクノ
59	株式会社エムティーアイ	122	株式会社GFF	185	大樹生命保険株式会社
60	株式会社MPandC	123	JKホールディングス株式会社	186	大成温調株式会社
61	オイシックス・ラ・大地株式会社	124	株式会社ジェイック	187	株式会社ダイテックス
62	青梅信用金庫	125	株式会社JTB	188	大東建設不動産株式会社
63	株式会社OSGコーポレーション	126	株式会社JPホールディングス 東京本部	189	大東建託株式会社

190	大東建託パートナーズ株式会社	253	西松建設株式会社	316	株式会社ベルエアー
191	大同生命保険株式会社	254	株式会社ニチレイ	317	株式会社ベンチャーバンクホールディングス
192	大日本印刷株式会社	255	日建総業株式会社	318	ホグレル株式会社
193	株式会社太平洋エンジニアリング	256	日産化学株式会社	319	株式会社VOYAGE
194	太陽生命保険株式会社	257	日清食品ホールディングス株式会社	320	株式会社マッシュスタイルラボ
195	株式会社ダイレクトウェイヴ	258	日都産業株式会社	321	株式会社マッシュスポーツラボ
196	株式会社大和証券グループ本社	259	商工組合 日本医療機器協会	322	株式会社マッシュセルスラボ
197	株式会社タクト・マシン・サービス	260	日本化薬株式会社	323	株式会社マッシュデザインラボ
198	株式会社立飛ホールディングス	261	公益財団法人日本ケアフィット共育機構	324	株式会社マッシュビューティラボ
199	タツミ産業株式会社	262	日本航空株式会社	325	株式会社マッシュフーズ
200	TANAKAホールディングス株式会社	263	日本交通株式会社 赤羽営業所	326	株式会社マッシュホールディングス
201	株式会社タニタヘルスリンク	264	日本シグマックス株式会社	327	マニユライフ生命保険株式会社
202	株式会社丹青社	265	日本写真判定株式会社	328	株式会社丸井グループ
203	株式会社ChannelJ	266	公益財団法人日本スポーツ協会	329	株式会社マルハン
204	中外製薬株式会社	267	日本生命保険相互会社	330	ミサワホーム株式会社
205	通信機器産業健康保険組合	268	日本通運株式会社	331	ミズノ株式会社
206	都築電気株式会社	269	株式会社日本テレメッセージ	332	株式会社みずほフィナンシャルグループ
207	株式会社つなひろワールド	270	日本電気株式会社(NECグループ)	333	三井化学株式会社
208	DIC株式会社	271	一般社団法人日本ヘルスケアサプリメント協会	334	三井住友海上火災保険株式会社
209	T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	272	日本郵政株式会社	335	三井不動産株式会社
210	株式会社ティーガイア	273	日本郵船株式会社	336	三井不動産レジデンシャル株式会社
211	ティーベック株式会社	274	一般財団法人日本予防医学協会	337	公益財団法人三菱養和会
212	帝人株式会社	275	株式会社ニュー・オータニ	338	医療法人財団 健真会 総合東京病院
213	株式会社ティップネス	276	ねづクリニック	339	株式会社ムラウチドットコム
214	株式会社DIPDA JAPAN	277	株式会社ネットラーニング	340	一般財団法人 明治安田健康開発財団
215	デサントジャパン株式会社	278	野村不動産パートナーズ株式会社	341	公益財団法人 明治安田厚生事業団
216	株式会社デュアルタップ	279	野村不動産ライフ&スポーツ株式会社	342	明治安田生命保険相互会社
217	テルモ株式会社	280	野村ホールディングス株式会社	343	明和地所株式会社
218	株式会社TENTIAL	281	パーソルキャリア株式会社	344	株式会社メディアヴァ
219	株式会社電通	282	株式会社HIEROPHANT	345	株式会社メディカルネット
220	東亜ディーケーケー株式会社	283	株式会社バイタルエリア	346	株式会社モリサワ 東京本社
221	東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社	284	長谷川体育施設株式会社	347	矢崎総業株式会社
222	東急株式会社	285	株式会社長谷工コミュニティ	348	株式会社YAZ
223	東急スポーツシステム株式会社	286	株式会社パソナグループ	349	ヤスマ株式会社
224	株式会社東京アスレティッククラブ	287	パナソニックソリューションテクノロジー株式会社	350	ヤフー株式会社
225	東京海上日動火災保険株式会社	288	バリューアディッド・ジャパン株式会社	351	Futonto株式会社(旧 株式会社大和屋ふとん)
226	東京海上日動システムズ株式会社	289	株式会社バリューHR	352	ヤマトロジスティクス株式会社
227	東京海上日動リスクコンサルティング株式会社	290	株式会社バリュー・エージェンツ	353	山本光学株式会社
228	東京ガス株式会社	291	PHC株式会社	354	株式会社コカ
229	東京システムハウス株式会社	292	株式会社ピーエスシー	355	横河電機株式会社
230	株式会社東京ドームスポーツ	293	BSP社会保険労務士法人	356	横河レンタ・リース株式会社
231	東京都職員共済組合	294	株式会社ビジネス・ブレイン	357	株式会社ヨネイ
232	東京都鉄二健康保険組合	295	株式会社ビックカメラ	358	ヨネックス株式会社
233	公益財団法人東京都予防医学協会	296	株式会社ファモサライフ	359	株式会社読売広告社
234	東京西サトー製品販売株式会社	297	株式会社フィナンシャル・エージェンシー	360	ライトウェイプロダクツジャパン株式会社
235	東武鉄道株式会社	298	株式会社FINC Technologies	361	株式会社ライフィ
236	東洋製罐株式会社	299	株式会社フォーイト	362	ライフネット生命保険株式会社
237	株式会社トーションパートナーズ	300	株式会社フォーバル	363	株式会社LAVA International
238	株式会社ドクワートラスト	301	株式会社福しん	364	ラディックス株式会社
239	ドコモ・ヘルスケア株式会社	302	株式会社フジクラ	365	リアルワールドゲームス株式会社
240	戸田中央医科グループ医療法人社団青葉会	303	藤倉コンポジット株式会社	366	リーフラス株式会社
241	戸田中央医科グループ 医療法人社団時正会	304	株式会社フジサワ・コーポレーション	367	株式会社LIXIL
242	戸田中央医科グループ 医療法人社団七仁会	305	富士通エフ・アイ・ピー株式会社	368	株式会社リクルートオフィスサポート
243	戸田中央医科グループ 医療法人社団徳成会	306	富士ネットシステムズ株式会社	369	株式会社リブワークス
244	戸田中央医科グループ 医療法人社団松井病院	307	株式会社フュービック	370	リンテック株式会社
245	凸版印刷株式会社	308	フリービット株式会社	371	株式会社ルネサンス
246	トッパン・フォームズ株式会社	309	ブリヂストン健康保険組合	372	株式会社ローソン
247	トヨタ西東京カローラ株式会社	310	ブリヂストンスポーツ株式会社	373	株式会社Wiz
248	トヨタ モビリティ東京株式会社	311	有限会社プレミナ	374	湧永製薬株式会社 東京支社
249	株式会社トンボ	312	フロンティアコンストラクション&パートナーズ株式会社		
250	ナガセケンコー株式会社	313	文化シャッター株式会社		
251	株式会社ナスタ	314	平和不動産株式会社		
252	株式会社ニシ・スポーツ	315	株式会社ベネフィット・ワン		

令和元年度東京都スポーツ推進モデル企業選定委員会

令和元年度東京都スポーツ推進モデル企業選定委員会委員名簿

1	きむら かずひこ 木村 和彦	早稲田大学スポーツ科学学術院教授
2	はつせ ゆうすけ 初瀬 勇輔	一般社団法人日本パラリンピアンズ協会理事
3	まるやま ただし 丸山 正	公益財団法人日本レクリエーション協会専務理事
4	そめや まさかつ 染谷 政克	東京商工会議所サービス・交流部長
5	うえやま あきこ 上山 亜紀子	東京都オリンピック・パラリンピック準備局 パラリンピック部障害者スポーツ課長
6	ながみね みちこ 長嶺 路子	東京都福祉保健局保健政策部健康推進課長

委員からの主なコメント

- 取組が社内文化として定着している点が素晴らしい。
- 社員へのインセンティブの充実は、社内でのスポーツ実施の継続性を高める点でも参考になる。
- パラアスリートの支援について、他企業への波及を期待したい。
- 地域のつながりを大切にしている点が素晴らしい。
- 東京2020大会ボランティア休暇付与は評価したい。

令和元年度東京都スポーツ推進企業取組事例集

令和2年3月発行

印刷物規格表 第1類
印刷番号(31)83

- 発行** 東京都オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話:03(5320)7723 FAX:03(5388)1337
ホームページ <https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/>
- 編集** 株式会社コスモピア(令和元年度東京都スポーツ推進企業認定制度事務局)
〒102-0093 東京都千代田区平河町1-1-8
電話:03(6380)8560
ホームページ <http://www.cosmopia.jp/>
- 印刷** 正和商事株式会社
〒161-0032 東京都新宿区中落合一丁目6番8号
電話:03(3952)2154 FAX:03(3952)2158

